SOTEC

WinBook DN7 シリーズ

ユーザーズガイド

このたびは、ソーテックWinBook DN7シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では、WinBook DN7シリーズのご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使いかた、および、より有効に活用する方法を説明しています。
WinBook DN7シリーズを正しくお使いいただくためにも、必ず本書をお読みください。
読み終わったあとは、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管してください。

ご使用の前に「安全上のご注意」（☞3ページ）を必ずお読みください。

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

マーク	説明
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および、物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。
	SOTEC電子マニュアル(画面で見るマニュアル☞2ページ)に詳細が説明されていることを示しています。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋･家財･ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

製品の表記について

■ イラストや画面表示に関して

お届けした製品は、お客様が希望されたB.T.O.の構成で出荷されています。したがって、本書で紹介している製品イラストおよび画面表示は、実物と異なる場合があります。お客様がB.T.O.された製品仕様に置き換えてお読みください。

本書中に出てくるホームページの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

■ 機能の区別による表記

ワイヤレスLAN搭載モデル
ワイヤレスLAN(無線によるネットワークの接続が可能)の機能を搭載したモデル

■ Microsoft Windows Vistaの表記について

本書では、Microsoft Windows Vista Home Premium Edition日本語版、およびMicrosoft Windows Vista Home Basic Edition日本語版を、Windows VistaまたはWindowsと省略して表記しています。
Home Basic以外のEditionには、背景を透かして表示させるWindows Aeroという機能がありますが、本書ではこの機能をOFFにした画面で説明しています。

WindowsのEditionの違いによって、操作が異なる場合は、以下のマークを付けて説明しています。

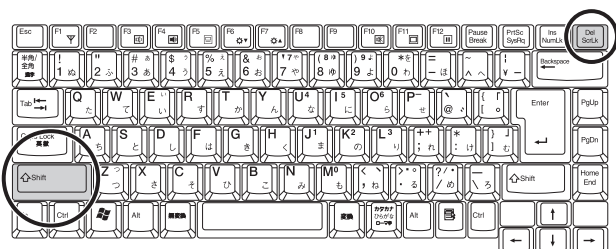
Home Basicモデル
Windows Vista Home Basic Editionをインストールしているモデル

Home Premiumモデル
Windows Vista Home Premium Editionをインストールしているモデル

操作の表記について

■ メニューを選択する操作

つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。
たとえば、スタートボタンから「ペイント」のプログラムまでを選択する動作を、
[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ペイント]を選択します。
と表記しています。

■ 複数のキーを同時に押す操作

※製品によりキーボードの形状が異なることがあります。

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「＋」を使って省略しています。
たとえば、上図のように、Shiftキーを押しながら、Deleteキーを押す動作を、

Shift＋**Delete**

と表記しています。

■ キー表記とキーボードの対応表

キーボード上の各キーは、次のように表記しています。

本書の表記	実際のキー
Esc	Esc
Tab	Tab
Ctrl	Ctrl
Shift	Shift
Alt	Alt
Space	
Enter	Enter
BackSpace	Backspace
Insert	Ins NumLk
Delete	Del ScrLk
Home	Home End
End	Home End
↑↓←→	↑↓←→
PageUp	PgUp
PageDown	PgDn
F1 F2 ···	F1 F2 ···
変換	変換
半角/全角	半角/全角 漢字
NumLk	Ins NumLk

目　次

はじめに

本書の読みかた
安全上のご注意 ···· 3
法規について ···· 7

セットアップ

セットアップを始める ···· 8
Windows Vistaのセットアップ ···· 10

使用する

Windows Vistaの操作について ···· 14
電源のON/OFF ···· 16
各部の名前と機能 ···· 18
ACアダプタの接続とバッテリの充電 ···· 24
タッチパッドを使ってみよう ···· 27
キーボードを使ってみよう ···· 28
CD-ROMやDVDなどの光ディスクを使ってみよう ···· 32
表示画面の設定を変えてみよう ···· 34
ワイヤレスLANを利用する ワイヤレスLAN搭載モデルのみ ···· 36

周辺機器を使用する

周辺機器を取り付ける前に ···· 40
使用できる周辺機器 ···· 42
AV機器と接続する ···· 44
USB対応の周辺機器を使う ···· 46
メモリーカードを使う ···· 47
ExpressCardを使う ···· 49
メモリの増設 ···· 51
その他のモジュールの交換 ···· 54
外部ディスプレイを接続する ···· 56

困ったときには

「おかしいな？」と思ったら ···· 57
パソコンで調べる ···· 58
困ったときのチェックリスト ···· 59
よくある質問集 ···· 60

リカバリ

リカバリの準備をする ···· 64
リカバリを実行する ···· 70
パソコンの環境を元に戻す ···· 73

付　録

BIOSを設定する ···· 80
廃棄について ···· 81
索　引 ···· 85

■ ダイアログの表示を省略

Windows Vistaでは、セキュリティ上の観点から、一部設定で操作の許可を求めるダイアログが表示されます。
本書では、これらダイアログの表示を省略して説明しています。
表示されるダイアログは、使用しているユーザーアカウントの権限によって異なります。ダイアログが表示された場合は、次のように操作してください。

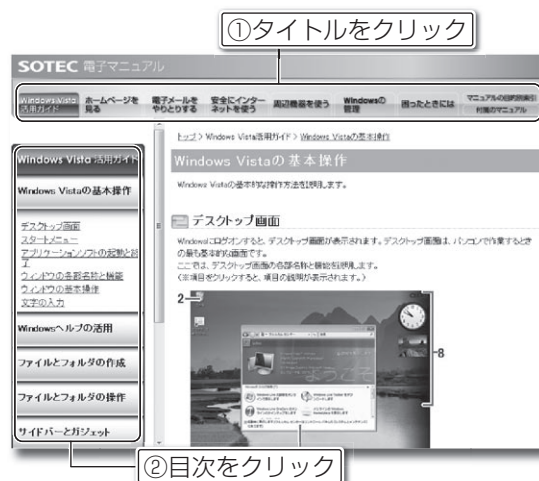
・アカウントの種類が「管理者」の場合
　［続行］ボタンをクリックします。

・アカウントの種類が「標準ユーザー」の場合
　アカウントの一覧が表示されます。「管理者」のアカウントにパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。

SOTEC電子マニュアルについて

SOTEC電子マニュアルでは、本書で説明しきれないWindows Vistaの基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの設定方法などを説明しています。必要に応じて参照してください。
SOTEC電子マニュアルはデスクトップ上のアイコンから簡単に起動できます。

1. **デスクトップ上にある「SOTEC電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックします。**
電子マニュアルが起動します。

2. **調べたい内容を画面上のタイトル一覧からクリックし、次に画面左の目次をクリックします。**
内容が画面右に表示されます。

・SOTEC電子マニュアルは、株式会社ソーテックの著作物です。
・SOTEC電子マニュアルの内容は、予告なしに変更される場合があります。また、SOTEC電子マニュアルを運用した結果については、一切の責任を負わないものとします。
・SOTEC電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。
・SOTEC電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にSOTEC電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。
・SOTEC電子マニュアルは、本製品以外での動作は保障いたしかねます。

安全上のご注意

本書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⊘ 記号は禁止の行為を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」という意味です。

● 記号は規制または指示の行為を示します。図の中に具体的な指示内容が描かれています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」という意味です。

⚠ 警告（本機・ACアダプタ）

水場使用禁止

●洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●付属のACアダプタ以外は使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●電源が100～240Vの範囲内であることを確認して使用してください。
100～240Vを超える電源を使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

●絶対に分解・改造をしないでください。
火災・感電の原因となります。また、無償修理の対象外となります。

電源プラグを抜く

●ACアダプタから何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは、直ちに電源プラグを抜いてください。
そのままご使用になると、火災・感電の原因となります。

●長時間使用する場合は、本体の底部が発熱しますので、膝の上に置いて使用しないでください。
（発熱することは異常ではありません。）

⚠ 注意（本機・ACアダプタ）

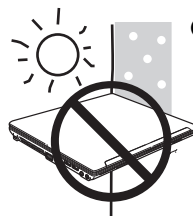
●電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
故障の原因となります。

●振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。
故障による火災・感電の原因となります。

●ディスプレイを閉じるときは、キーボードとの間にボールペンなどの異物がないかどうかご確認ください。
異物を挟んだまま、ディスプレイを閉じると、ディスプレイを破損する恐れがあります。

●本体を持ち運ぶときは、ディスプレイを閉じてください。
ディスプレイを持ってぶらさげた状態で持ち運ぶと、ディスプレイに強い力が加わり、破損する恐れがあります。

●タコ足配線をしないでください。
コンセントが加熱し、火災・感電の原因となります。

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
漏電・火災の原因となります。

●熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、温度湿度条件を超える範囲では使用・保存しないでください。故障の原因となります。

●タッチパッドの表面をペン先などの尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。
故障の原因となります。

●タッチパッドは軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を痛める原因となります。

●雷が近いときは、すみやかに電源をOFFにし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
また、モジュラーケーブルやLANケーブルなど、接続されているケーブル類も抜いてください。
故障の原因となります。

●電源ケーブルの上にものをのせないでください。
電源ケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。

⚠ 警告（バッテリ）

●付属のバッテリ以外は使用しないでください。
また、付属のバッテリを本製品以外に使用しないでください。発熱･発火･破裂の原因になります。

●バッテリに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

●バッテリ充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。そのまま充電を続けると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

●バッテリは、危険を防止するための保護装置が組み込まれています。分解･改造などしないでください。保護装置が壊れ、発熱･発火･破裂の恐れがあります。

●バッテリを火の中に入れないでください。破裂の恐れがあります。

●バッテリから液が漏れて、液が目に入ったときは、障害を起こす恐れがあるので、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

●バッテリが漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液に引火して、発火･破裂の恐れがあります。

⚠ 注意（バッテリ）

●バッテリから漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚がかぶれる恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗ってください。

●バッテリを、水や海水などにつけて、濡らさないでください。バッテリの破損や性能･寿命を低下させる原因となります。

●バッテリを使う前に、サビ･異臭･発熱･その他異常と思われるときは、使用しないでください。ソーテックカスタマセンタにお問い合わせください。

●バッテリは火中に投じたり、加熱･分解･ショート(+と−の端子を針金などで接続させること)はしないでください。ケガの原因となります。

●バッテリを小児が使う場合、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。また、使用途中でも、取扱説明書のとおり使用しているかご確認ください。

●バッテリは乳幼児の手の届かない所へ保管してください。

二次電池を安全に安心してご使用して頂くためには、（社）電子情報技術産業協会の"バッテリ関連Q&A集"の内容を見ながらのご使用をお勧めいたします。
SOTECオンラインサポート（http://support.sotec.jp/）の、「［お知らせ］ノートPCリチウムイオン電池安全利用について（JEITA）」をご覧ください。

⚠ 取り扱い上の注意

たたいたり
引っかいたりしない

●液晶ディスプレイは先の尖ったものでたたいたり、引っかいたりしないでください。
破損する恐れがあります。

●本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。

動作中に
移動させない

●ハードディスクが動作中のときは移動させないでください。
故障の原因となります。

●本製品の付属物は大切に保存してください。

●ハードディスクに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

・カラー液晶ディスプレイおよびバッテリは消耗品です。
・カラー液晶ディスプレイは非点灯、常時点灯などの画素が存在することがありますが故障ではありません。
・カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが故障ではありません。
・使用周囲温度が低いとき、また本製品自体が冷えきっているときは、電源をONにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。この場合は、一度本体の電源をOFFにし、しばらく常温(10～35℃)の環境に放置した後、お使いください。

法規について

■ PCリサイクルについて

このマークが表示されている対象製品は、当社が無償で回収および再資源化します。
詳細は当社Webサイト(http://www.sotec.co.jp/)を参照してください。

■ PCグリーンラベル制度について

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)により策定された「PCグリーンラベル制度」に合格いたしました。
「PCグリーンラベル制度」とは、お客様が環境に配慮したパソコンをご購入になる際、商品選択を容易にするために、基準をクリアしたパソコンに「PCグリーンラベルロゴマーク」を表示する制度で、以下の3つのコンセプトから構成されています。

・環境(含3R※1)に配慮した設計・製造がなされている
・使用済み後も、引取り・リユース/リサイクル・適正処理がなされている
・環境に関する適切な情報開示がなされている

※1:3R=リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)

■ グリーン購入ネットワーク(GPN)について

本製品はグリーン購入ネットワーク(GPN)に適合しています。

■ 輸出および海外でのご使用に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。
必要な許可を取得せずに本製品を輸出すると、同法により罰せられます。
輸出の許可の要否については、ご購入いただいた販売店、または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

■ VCCIの基準に基づくクラスB情報処理装置です

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。
この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとした、オフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。
このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■ 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
(社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

■ 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

セットアップを始める

梱包箱を開けたら、まずは付属のクイックスタート・ガイドをお読みになり、付属品を確認してください。設置場所を確認し、機器の接続を完了したら、次にWindows Vistaのセットアップに進みます。

セットアップの手順

次の手順で機器のセットアップをおこないます。

付属品の確認
(☞付属のクイックスタート・ガイド参照)

バッテリパックとACアダプタの取り付け(☞8ページ)

置き場所を決める(☞9ページ)

Windows Vistaのセットアップ(☞10ページ)

これでセットアップは終了です。

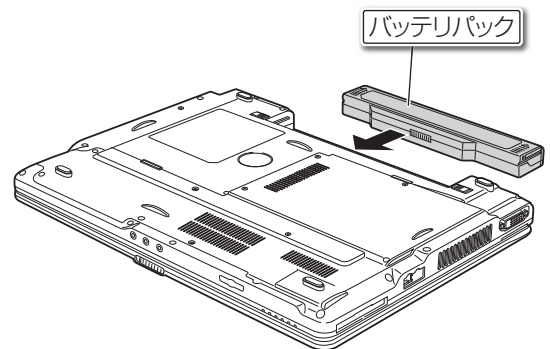
セットアップ終了後、必要に応じて、次の作業をおこなってください。
・旧パソコンからのデータ・設定の転送
・周辺機器の接続
・ソフトウェアのインストール
・インターネットの接続設定
・電子メールの設定

SOTEC電子マニュアルでは、次の内容について説明しています。
・旧パソコンからのデータ・設定の転送
・インターネットの接続設定
・電子メールの設定

バッテリパックとACアダプタの取り付け

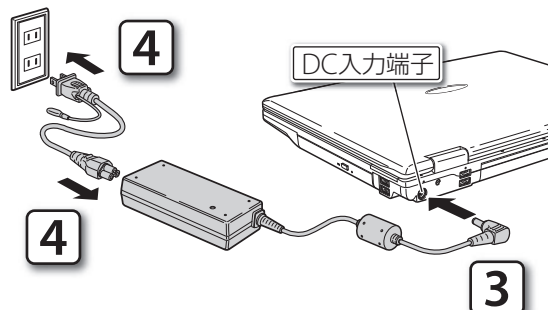
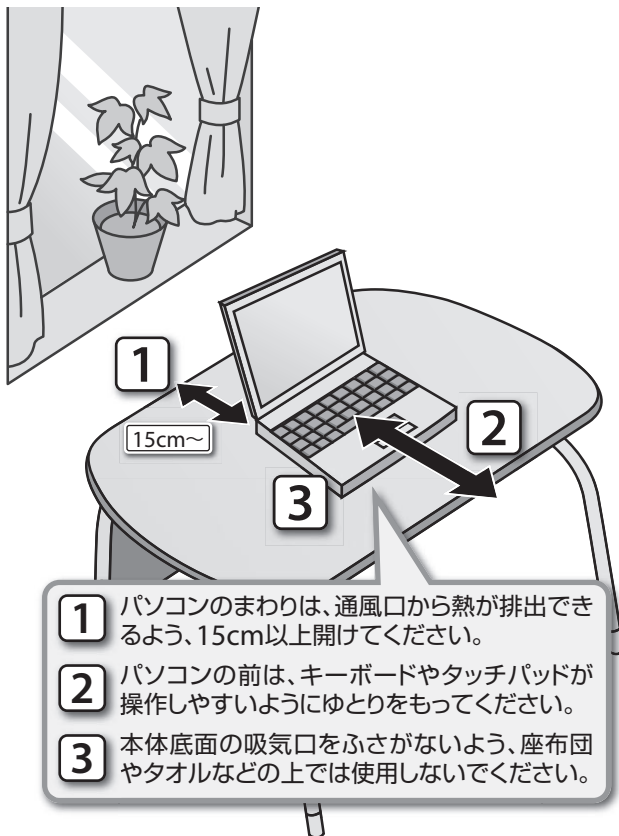
Windows Vistaのセットアップの前に、バッテリパックとACアダプタを取り付けます。
スキャナやプリンタなど、すでに周辺機器をお持ちの場合でも、Windows Vistaのセットアップが終了するまでは接続しないでください。

1. **ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返して、静かに置きます。**

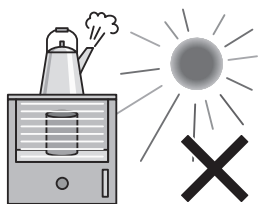
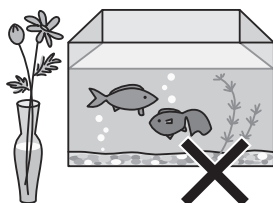
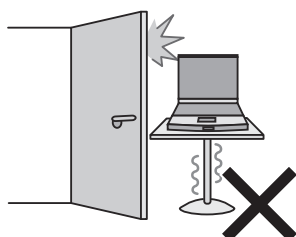
2. **バッテリパックを矢印の方向に動かしながら取り付けます。**

3. **ACアダプタのプラグを、本体のDC入力端子に差し込みます。**

4. **電源ケーブルをACアダプタと電源コンセントに接続します。**

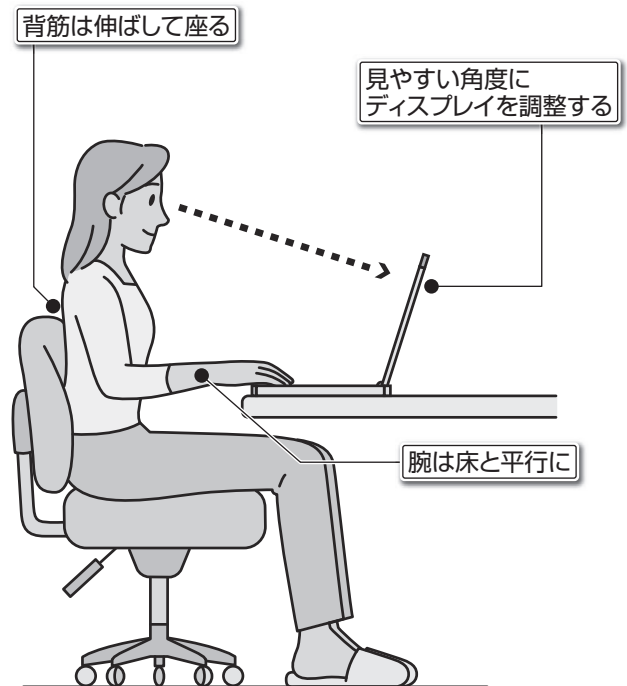
置き場所を決める

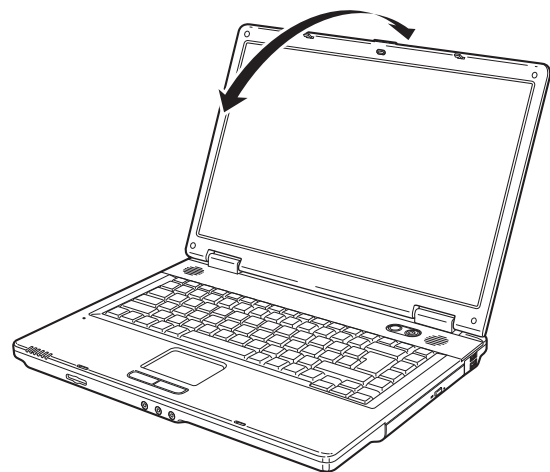
1. パソコンのまわりは、通風口から熱が排出できるよう、15cm以上開けてください。
2. パソコンの前は、キーボードやタッチパッドが操作しやすいようにゆとりをもってください。
3. 本体底面の吸気口をふさがないよう、座布団やタオルなどの上では使用しないでください。

■ 置いてはいけない場所

「安全上のご注意」（☞3ページ）もお読みになり、置き場所を選んでください。次のような環境には置かないでください。

・直射日光のあたる場所、ストーブなど熱源の近く

・水がかかりそうな場所

・不安定な場所、物がぶつかりそうな場所

・本体および電源コードの上には重いものをのせたり、通風孔を塞いだりしないでください。

正しい姿勢について

次のように正しい姿勢で、パソコンの前に座ってください。

■ ディスプレイの角度調整について

ディスプレイは、見やすい角度に調整できます。

Windows Vistaのセットアップ

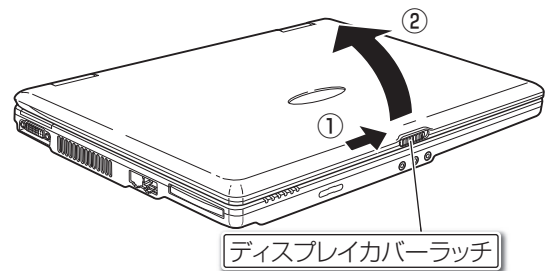
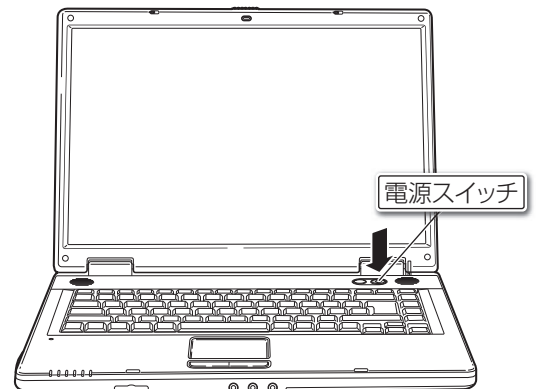
必要な機器を接続した後、Windows Vistaをセットアップしましょう。
Windows Vistaのセットアップが終了すれば、本機のセットアップは完了です。

セットアップの準備をする

Windows Vistaのセットアップ中は、画面の切り替えに少し時間がかかることがあります。「しばらくお待ちください」といったメッセージが表示されたり、マウスカーソル（マウスポインタ）が待機中を知らせる形になっているときは、キーボードのキーやタッチパッドのボタンを何度も押さないでください。

・操作の途中で電源を切らない！
Windowsのセットアップには、少し時間がかかります。Windowsのセットアップ中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。セットアップが終わる前に電源をOFFにすると、故障の原因となります。

・分からないことがあったら・・・
セットアップの途中で分からないことがあれば、ヘルプで調べることができます。F1キーを押すとヘルプを参照できます。

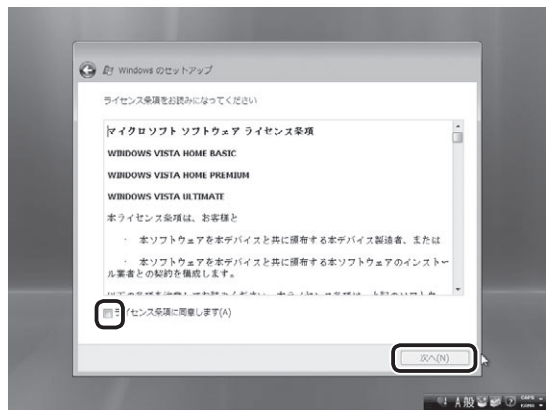
1. **手前のディスプレイカバーラッチを矢印の方向へスライドして（①）、見やすい角度までディスプレイカバーを開きます（②）。**

2. **電源スイッチを押します。**

本機の電源をONにしてから、しばらくの間は、画面の表示がいろいろ変化します。手順3の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

タッチパッドを一度も使ったことがない方は、「タッチパッドを使ってみよう」（☞27ページ）を参照してください。

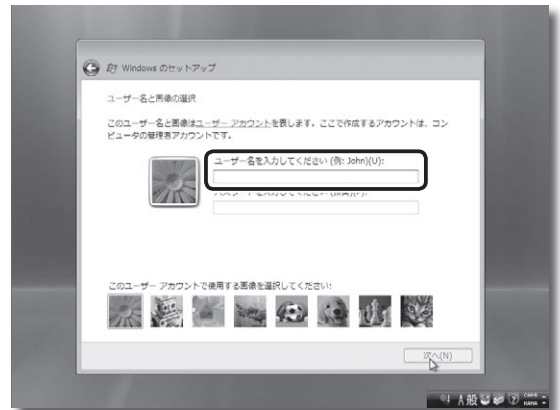
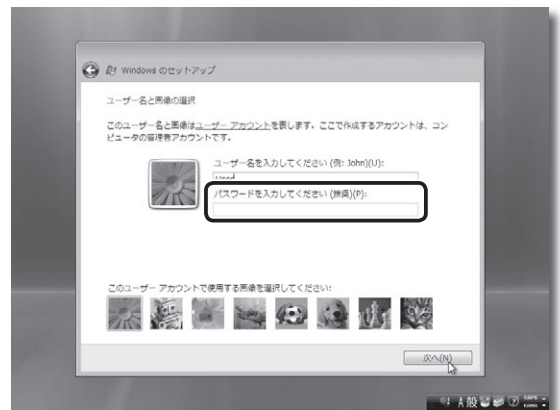
3. **次のように設定してください。**
「国または地域」：日本
「時刻と通貨の形式」：日本語（日本）
「キーボードレイアウト」：Microsoft IME
確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

画面はWindows Vista Home Premiumで説明していますが、セットアップの手順はWindows Vista Home Basicと同じ流れになります。

次の画面が表示されます。

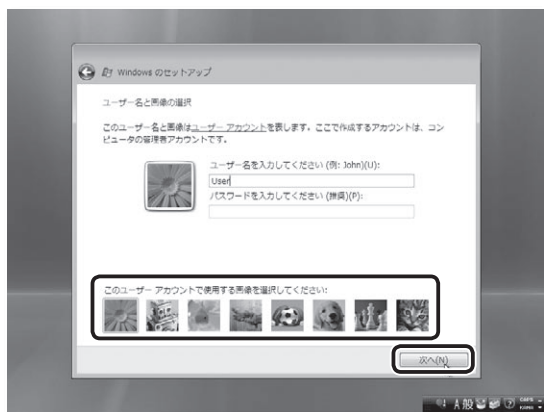
4. **ライセンス条項をお読みの上、「ライセンス条項に同意します」をクリックしてチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。**

ライセンス条項に同意しなければ、Windowsのセットアップを続けることはできません。

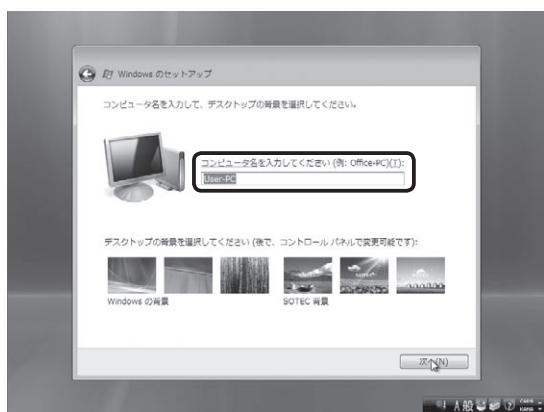
次の画面が表示されます。

5. **「ユーザー名を入力してください」にユーザー名を任意で入力します。**

6. **必要に応じて、「パスワードを入力してください」に任意のパスワードを入力します。**

- セキュリティ上の観点から、パスワードを設定しておくことをおすすめします。
- パスワードを設定しない場合は、手順8に進みます。

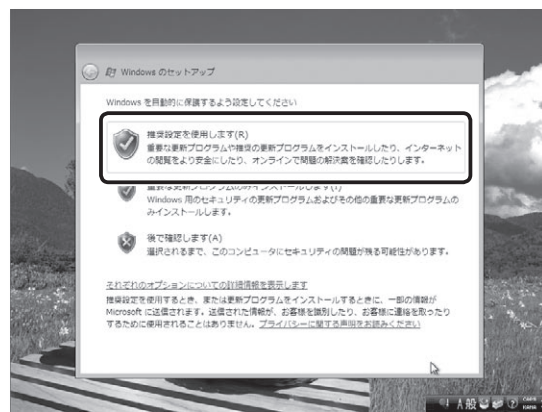
7. **パスワードを入力した場合、「パスワードをもう一度入力してください」の欄が表示されるので、手順6で入力したパスワードを再度入力します。**

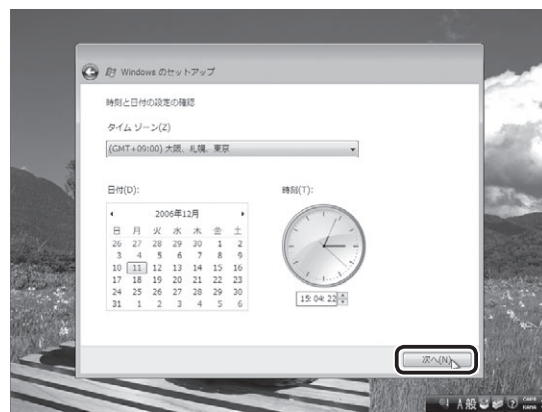
「パスワードのヒントを入力してください」には、万一パスワードを忘れたときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力してください。

8. 「このユーザーアカウントで使用する画像を選択してください」からお好みの画像を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

次の画面が表示されます。

9. 「コンピュータ名を入力してください」に任意で本機の名称を入力します。

10. 「デスクトップの背景を選択してください」からお好みの壁紙を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

次の画面が表示されます。

11. 「推奨設定を使用します」をクリックします。

次の画面が表示されます。

12. 現在の日付、および時刻を正しく設定して、[次へ]ボタンをクリックします。

次の画面が表示されます。

13. 本機がネットワークに接続されている場合、接続環境にあわせて接続場所を選択します。

不明な場合は「公共の場所」を選択し、Windows Vistaのセットアップの終了後に設定してください。

14. [開始]ボタンをクリックします。

「SOTECからの特典」欄でインターネットへの接続方法が設定できますが、ここでは画面をスクロールさせ「いいえ、後で設定します」を選択してください。
インターネットへの接続は、セットアップ終了後に設定することをおすすめします。

しばらくするとデスクトップ画面が表示されます。

パスワードを設定している場合は、パスワードの入力を求める画面が表示されます。
ユーザー名の下にある入力欄に手順6で設定したパスワードを入力して、➡をクリックします。

以上で、Windows Vistaのセットアップは完了です。

Windows Vistaの操作について

Windowsのセットアップが終了すると、Windows Vistaが起動します。ここでは、Windows Vistaのデスクトップ画面がどのようになっているかを説明しています。

①[スタート]ボタン
クリックすると、ソフトウェアの一覧が表示されたメニュー（スタートメニュー)が表示されます。

②ごみ箱
削除したファイルやフォルダが一時的に保管される場所です。ごみ箱に削除したファイルやフォルダを元に戻したり、ごみ箱の中のファイルやフォルダを完全に消去することができます。

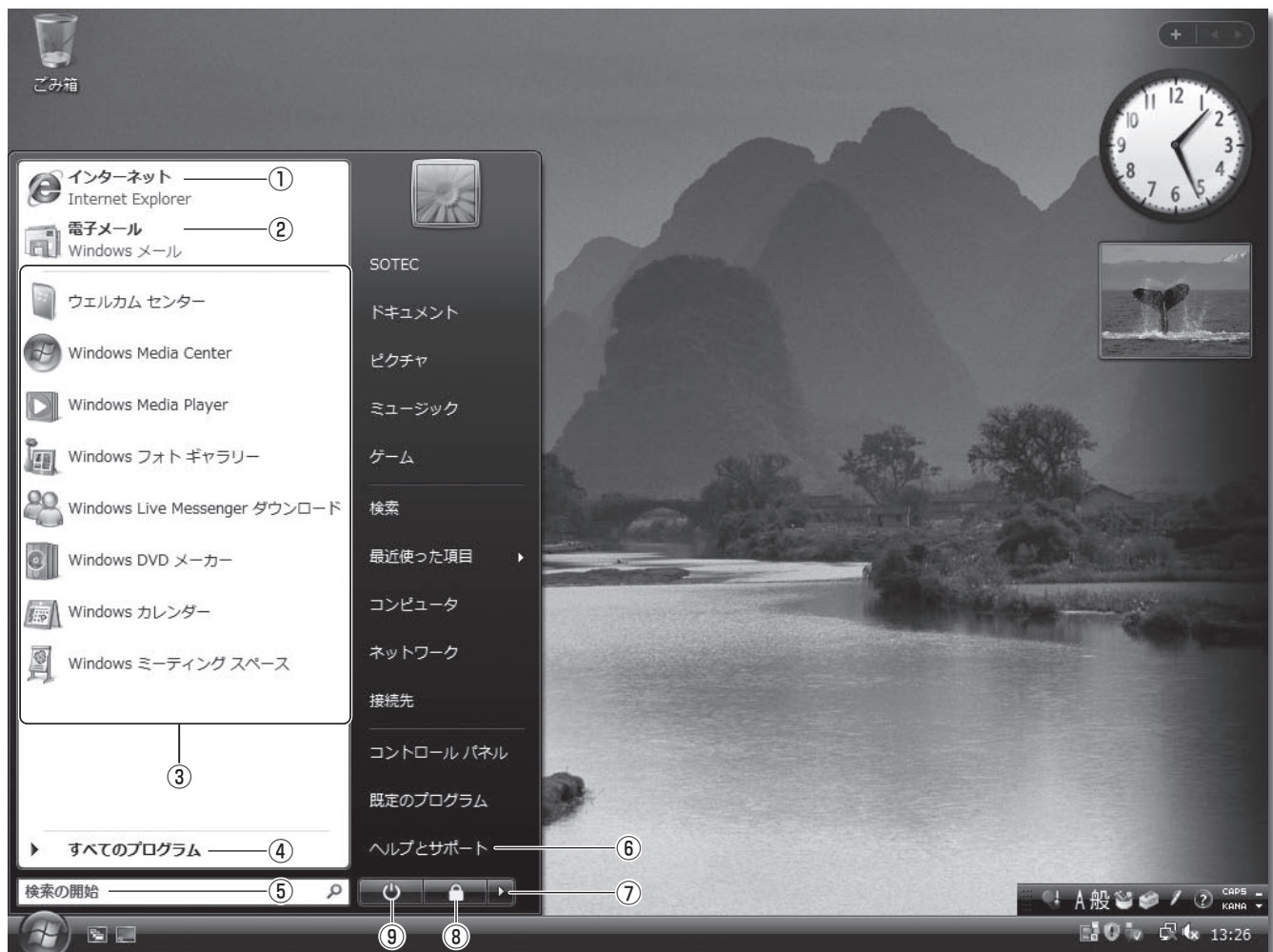
③クイック起動ツールバー
よく使用するソフトウェアなどを登録することで、スタートメニューを開かずに、すぐにソフトウェアを起動できます。

④タスクバー
起動中のソフトウェアやフォルダを表示する領域です。

⑤ウィンドウ
起動中のソフトウェアやフォルダの表示領域です。デスクトップ上に複数のウィンドウを表示できます。

⑥通知領域
Windows Vistaの起動と同時に自動起動されたソフトウェア(常駐プログラムなどと呼ばれます)が表示されます。

⑦言語バー
Windows Vistaの日本語入力システム「Microsoft IME」です。全角/半角文字の切り替えなどを操作します。

⑧サイドバー
時計やカレンダーなどの簡易なソフトウェア(ガジェットと呼ばれます)を表示する領域です。

①インターネット
　クリックすると、Webページの閲覧に使用する「Internet Explorer」が起動します。

②電子メール
　クリックすると、電子メールをやり取りできる「Windows メール」が起動します。

③最近使用したプログラム一覧
　最近使用したソフトウェアの一覧が表示されます。

④すべてのプログラム
　クリックすると、ソフトウェアの起動メニューが一覧で表示されます。

⑤検索の開始（検索ボックス）
　入力した文字に関連するファイルおよびWebページを、本機のハードディスクおよびインターネット上から検索します。

⑥ヘルプとサポート
　クリックすると「Windowsヘルプとサポート」が起動します。Windowsで分からないことがあったときに使用します。

⑦終了オプションボタン
　クリックすると、終了メニューが表示されます。
　終了メニューの操作方法については、「電源のON/OFF」（☞16ページ）をご参照ください。

⑧ロックボタン
　クリックすると、Windowsがロック状態になります。パスワードを設定している場合、再開始をするにはパスワードの入力が必要になります。

⑨電源ボタン
　本機の電源をOFFにします。クリックしたときの動作はスリープ、シャットダウンのいずれかを選択できます。（☞17ページ）初期設定はスリープ状態です。

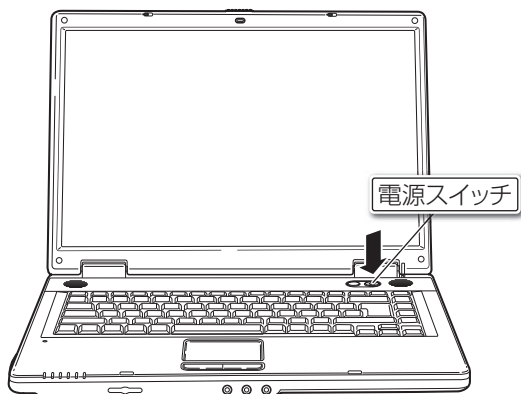
Windows Vistaの基本的な操作方法については、SOTEC電子マニュアルを参照してください。

電源のON/OFF

電源をON/OFFする方法を説明します。
電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

電源のON

本機の電源をONにします。Windowsのセットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows Vistaのデスクトップ画面が表示されます。

1. 電源スイッチを押します。

ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。
パスワードを入力して、→をクリックします。

しばらくすると、Windows Vistaのデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ シャットダウン

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. [スタート]ボタン→[終了オプション]ボタンを選択します。

「終了オプション」メニューが表示されます。

「終了オプション」の操作で終了せず、いきなり電源スイッチを押して電源をOFFにする動作を繰り返すと、Windows Vistaのシステムが壊れて、Windows Vistaの再セットアップが必要になることがあります。電源をOFFにするときは正しい手順で操作してください。

2. 「シャットダウン」を選択します。

本機の電源が完全にOFFになります。
次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。

「終了」メニューのその他の項目

「ロック」　：作業状態を保持したまま、Windowsを使用できない状態にします。一時的に離席するときなどに使用します。
「ログオフ」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は無効になります。
「ユーザーの切り替え」
：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は保持されます。

ユーザーアカウントの作成方法については、SOTEC電子マニュアルを参照してください。

■ スリープ

作業を中断して、本機の使用をすぐに再開できる「スリープ」機能があります。
[スタート]ボタン→[終了オプション]ボタンを選択し、[スリープ]を選択するとスリープ状態に入ります。
元の状態に戻すには、電源スイッチを押します。

スリープとは？

スリープとは、直前の作業状態をメモリとハードディスクに保存した状態で、Windowsを終了することです。Windows終了後はメモリにだけ通電し続けます。スリープの1番の利点は、起動時間の短縮です。スリープ状態から本機の電源スイッチを押すと、5秒程度でログオン画面が表示されます。

■ 再起動

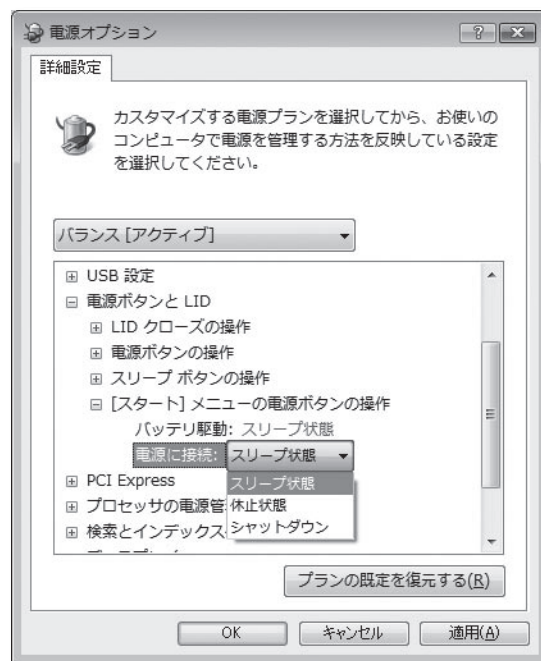
デバイスドライバのインストールが終了したあとや、Windowsの動作が不安定（画面が乱れたり、画面が動かない）になったときは、Windowsを再起動させます。
[スタート]ボタン→[終了オプション]ボタンを選択し、[再起動]を選択すると、再起動が実行されます。

アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Ctrl＋Alt＋Deleteキーを同時に押して「タスクマネージャの起動」を選択して、特定のアプリケーションソフトを終了させることができます。

「電源ボタン」の動作を変更する

[スタート]メニューの[電源]ボタンをクリックしたときの動作は、変更することができます。
ここでは、動作を変更する手順について説明します。
初期設定ではスリープ状態に設定されています。

1. **[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[モバイルコンピュータ]→[電源オプション]をクリックします。**

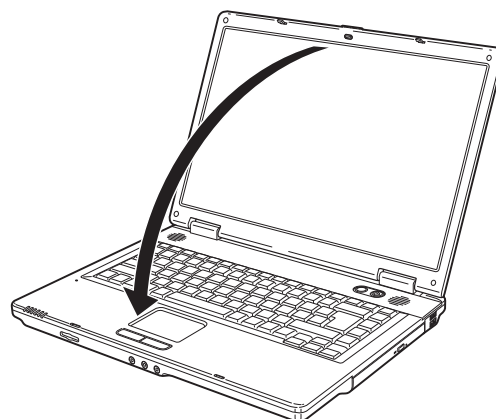
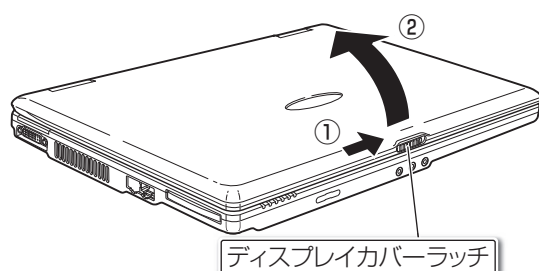
2. **現在選択されているプラン（初期設定は「バランス」）の、[プラン設定の変更]をクリックして、[詳細な電源設定の変更]をクリックします。**
「電源オプション」が表示されます。

3. **[電源ボタンとLID]→[[スタート]メニューの電源ボタンの操作]の＋をクリックして－にします。**

4. **[電源に接続]を選択（バッテリ使用時は[バッテリ駆動]を選択）し、▼をクリックして、電源ボタンの動作の状態を選択します。**

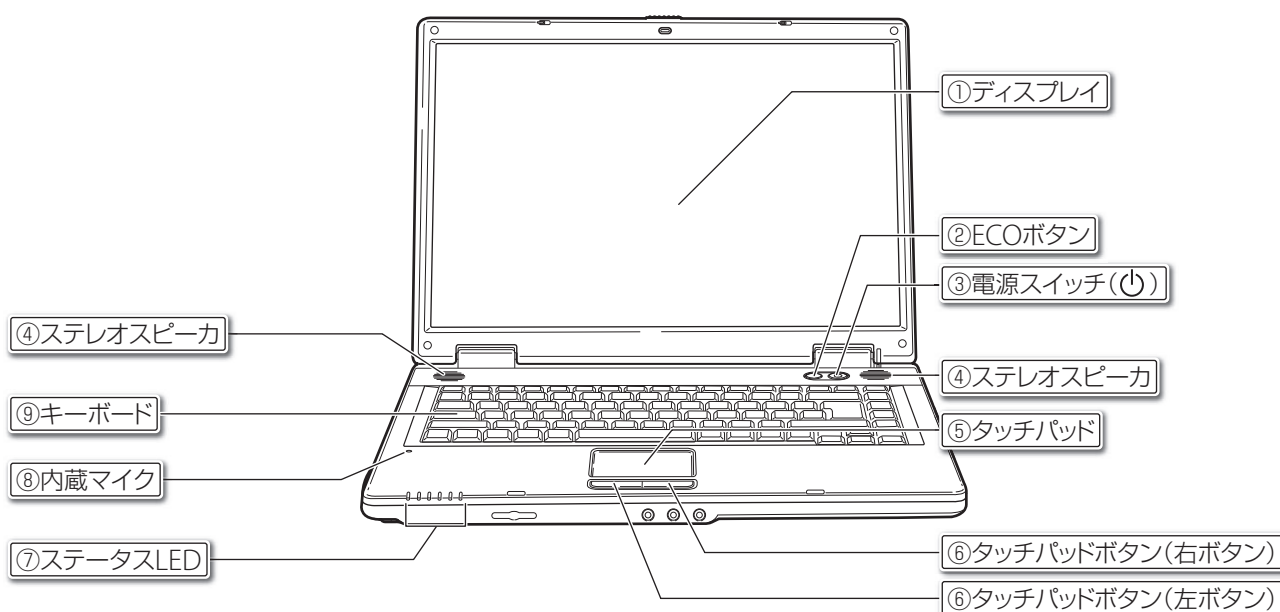
5. **[OK]ボタンをクリックします。**

各部の名前と機能

本体各部の名前とその機能について説明します。
なお、別のページで詳しく説明している部分もありますので、参照ページもあわせてお読みください。

ディスプレイカバーの開け閉め

手前のディスプレイカバーラッチを矢印の方向へスライドして(①)、見やすい角度までディスプレイカバーを開きます(②)。

ディスプレイカバーを閉じるときは、ディスプレイカバーを手前に倒します。

本体前面(まえ)

①ディスプレイ
文字やグラフィックが表示されます。
省電力機能によりパソコンが動作していなければ、自動的にディスプレイの表示が消えるように設定できます。

②ECOボタン
本機をバッテリで起動しているときに、バッテリの消費電力を抑えます。

ACアダプタから電源を供給しているときは、このボタンは作動しません。

③電源スイッチ(⏻)
電源OFF時に押すと、本機の電源をONします。
(☞16ページ)
電源ON時に押すと、設定した動作を実行します。初期設定ではスリープ状態に設定されています。
設定は[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[モバイルコンピュータ]→[電源オプション]→[電源ボタンの動作の変更]で選択できます。

- **HDD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。**
- **電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。**

④ステレオスピーカ
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が、ステレオで出力されます。

音量はキーボードを使って操作できます。Fnキーを押しながらF3キーを押すことで音量を下げることができます。Fnキーを押しながらF4キーを押すことで音量を上げることができます。

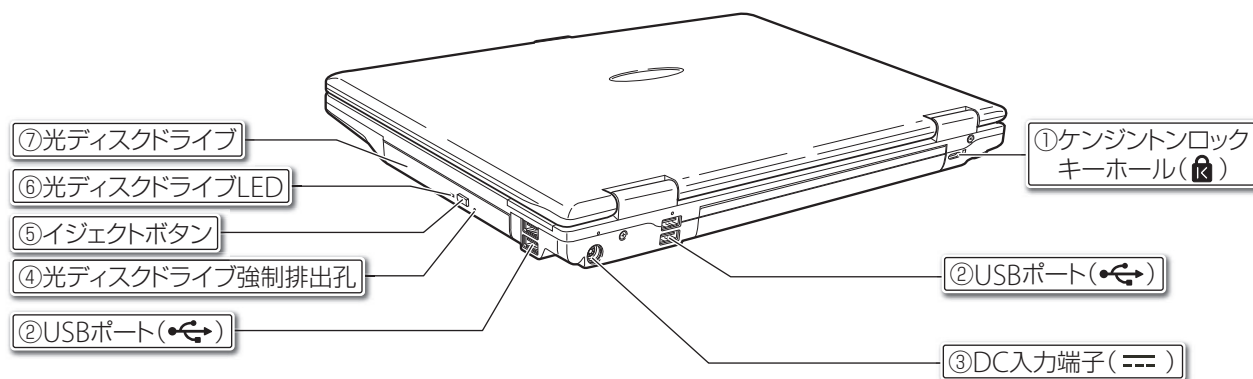
⑤タッチパッド
指を軽くのせて動かすと、ディスプレイ上のマウスポインタが移動します。(☞27ページ)

⑥タッチパッドボタン(右ボタン・左ボタン)
それぞれ、マウスの右ボタン、左ボタンに対応しています。(☞27ページ)

⑦ステータスLED
パソコンの動作状態が表示されます。(☞23ページ)

⑧内蔵マイク
本機に音声を入力します。

⑨キーボード
キーを押して文字を入力したり、コマンド(命令)を送ったりします。(☞28～31ページ)

右側面＆背面

①ケンジントンロックキーホール( )
盗難防止用のロックに使用する取り付け穴です。

②USBポート( )
USB2.0対応の周辺機器を接続します。USB1.1対応の周辺機器も接続できます。ただし、転送速度などはUSB1.1規格（Full-Speed）に基づきます。（☞46ページ）

③DC入力端子( )
付属のACアダプタを接続します。（☞24ページ）

注　意

・付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。
・ACアダプタの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプタが発熱し、火災を起こす恐れがあります。

④光ディスクドライブ強制排出孔
イジェクトボタンを押しても光ディスクドライブのトレイが出てこない場合に使用します。この排出孔に針金などを押し込むと、光ディスクドライブのトレイを強制的に排出させることができます。（☞33ページ）

注　意

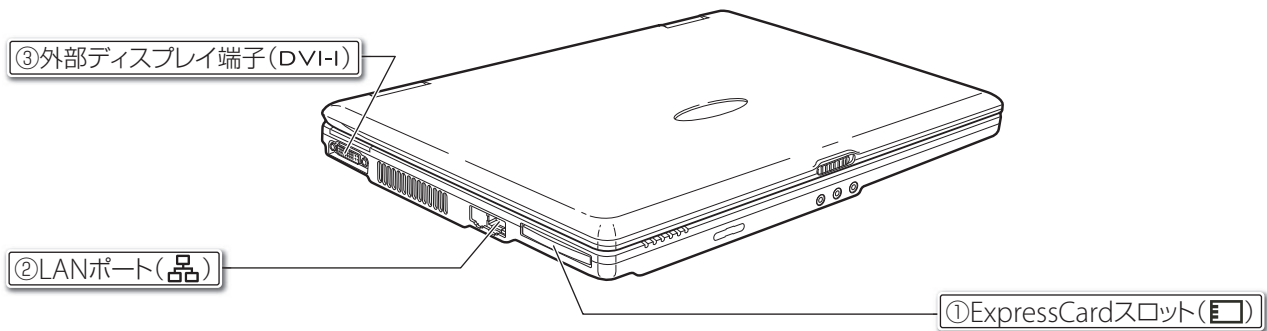
光ディスクドライブが正常に動作している場合は使用しないでください。故障の原因となります。

⑤イジェクトボタン
光ディスクドライブにディスクを入れるとき、または取り出すときに押すボタンです。（☞33ページ）

⑥光ディスクドライブLED
光ディスクドライブのアクセス中に点灯します。

⑦光ディスクドライブ
光ディスクドライブが読み込み可能なディスクを入れます。（☞32 ～ 33ページ）

光ディスクドライブの仕様は、製品の構成によって異なります。

左側面

①ExpressCardスロット

ExpressCard/34およびExpressCard/54規格に準拠したExpressCardを差し込みます。
(☞49 ～ 50ページ)

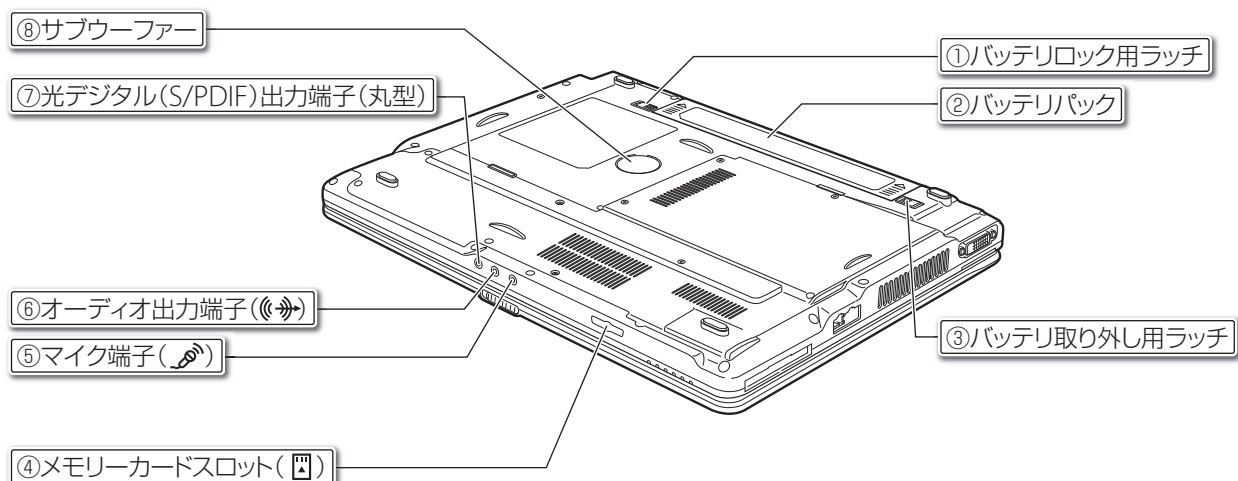
②LANポート

10BASE-T/100BASE-TXのLAN接続ができます。

本機のLANポートに接続できるケーブルは**10BASE-T/100BASE-TX**規格のイーサネットケーブルだけです。それ以外の規格のケーブルは使用しないでください。特に**ISDN**ケーブル、モジュラーケーブルは、絶対に**LAN**ポートへ接続しないでください。故障の原因となります。

③外部ディスプレイ端子(DVI-I)

DVI-D/DVI-A/DVI-I対応の外部ディスプレイを接続します。
(☞56ページ)

底　面

①バッテリロック用ラッチ
バッテリを固定するためのラッチです。バッテリを取り外すときに解除します。(☞26ページ)

②バッテリパック
電源コンセントが無い場所でパソコンを動作させるためのバッテリです。(☞26ページ)

③バッテリ取り外し用ラッチ
バッテリパックを取り外すときに、指でスライドしながら取り外します。(☞26ページ)

④メモリーカードスロット( )
以下のメモリーカードを差し込みます。
(☞47 ~ 48ページ)
・メモリースティック
・メモリースティックPRO
・SDメモリーカード
・MMC

・メモリーカードには、それぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
・「miniSDカード」または「メモリースティックデュオ」など、一覧に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

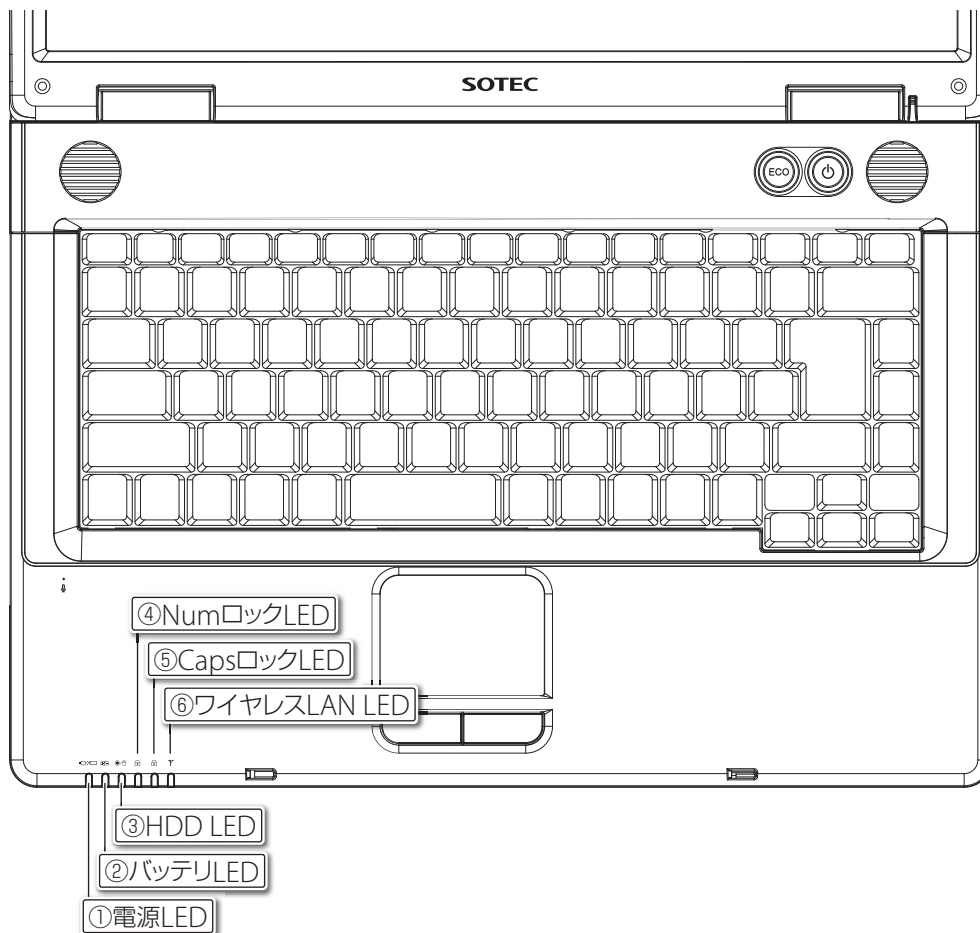
⑤マイク端子( )
マイクロホンを接続します。マイクロホンからの音声を本機に取り込みます。(☞44ページ)

⑥オーディオ出力端子( )
ライン入力端子を持つオーディオ機器およびヘッドホンを接続します。(☞44ページ)

⑦ 光デジタル(S/PDIF)出力端子(丸型)
光デジタル入力端子を持つオーディオ機器を接続します。(☞45ページ)

光デジタル入力端子を持つ機器と普通のヘッドホンを同時に接続することはできません。

⑧サブウーファー
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声のうち、重低音が出力されます。

ステータスLEDについて

①電源LED(/)
電源が入っている状態を表示します。(☞24ページ)

②バッテリLED( )
バッテリの充電状態を表示します。
(☞24ページ)

③HDD(エイチディーディー)LED(/)
ハードディスクドライブまたは光ディスクドライブのアクセス中に点灯します。

注意

- **HDD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。**
- **電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。**

④Num(ニューメリック)ロックLED( )
NumLkキーがロック状態のときに点灯します。

⑤Caps(キャップス)ロックLED( )
CapsLockキーがロック状態のときに点灯します。
ロック状態時は、Shiftキーを押さずアルファベットを大文字で入力できます。

⑥ワイヤレスLAN LED( )
ワイヤレスLAN搭載モデルのみ
ワイヤレスLANの機能が作動すると点灯します。
(☞37ページ)

はじめに
セットアップ
使用する
周辺機器を使用する
困ったときには
リカバリ
付録

ACアダプタの接続とバッテリの充電

本機の電源は、付属のACアダプタを使ってACコンセントからとる方法と、バッテリパックを使う方法の2通りあります。

初めて使うときは

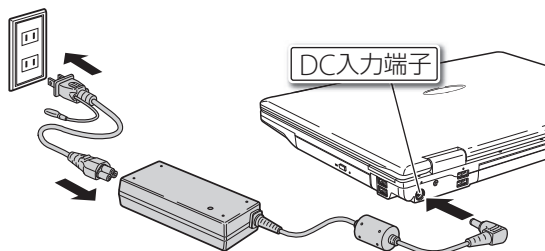
バッテリは十分に充電されていない状態で出荷されています。本機を初めてお使いになるときは、バッテリパックを本機に取り付けてから、ACアダプタを接続してください。バッテリパックの充電が始まります。

警　告

- **弊社純正のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプタの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプタが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**

バッテリパックの充電中も本製品を使用できます。

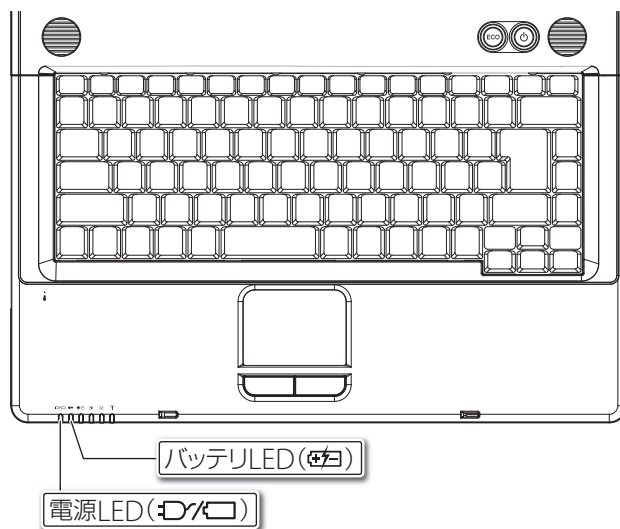
■ ACアダプタの接続とバッテリの充電

1. ACアダプタのプラグを、本機のDC入力端子に差し込みます。

2. 電源ケーブルをACアダプタと電源コンセントに接続します。

バッテリLED()が点灯し、バッテリパックの充電が始まります。

本製品に付属のACアダプタは、100V～240Vに対応しており、自動的に切り替わりますので、海外でも使用できます。
ただし、海外の電源コンセントは、日本と形状が異なる場合がありますので注意してください。

バッテリのみで使用するときは、ACアダプタを取り外してください。
AC電源で使用するときは、このままACアダプタを接続してください。

■ ステータスLEDの表示

電源LED()

状　態	内　容
点灯	本機の電源がONの状態です。
点滅	本機がスリープの状態です。(☞25ページ)

バッテリLED()

状　態	内　容
点灯(緑)	本機の電源がONで、バッテリが十分にある状態です。
点灯(橙)	バッテリが充電中の状態です。
消灯	次のいずれかの状態です。 ・電源がOFFでACアダプタが接続されていない ・バッテリが装着されていない

注　意

- **バッテリパックは、バッテリ動作中に交換することはできません。**
  必ず「バッテリパックの交換」(☞26ページ)の説明に従って交換してください。
- **バッテリの残量が少ない状態でソフトウェアの操作を続けると、データやソフトウェアが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。**
  バッテリの残量がすべて無くなると、ソフトウェアの使用中でも電源がOFFになります。バッテリの警告音が鳴ったらすぐにデータを保存してください。

■ スリープと休止状態の違い

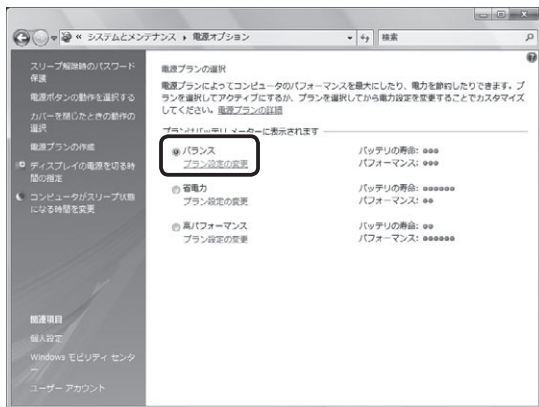
・スリープ
ソフトウェアなどの動作状態をメモリに保存し、パソコンの電源をOFFにする機能です。次回、電源をONにすると、電源をOFFにする直前の状態でパソコンが起動します。
使用中のソフトウェアを終了せずに電源をOFFにできるので、ソフトウェアを再起動する必要がありません。
ただし、スリープの状態では、少量の電力が消費されているため、バッテリだけで使用しているときに、長時間スリープの状態にしておくことはお勧めできません。

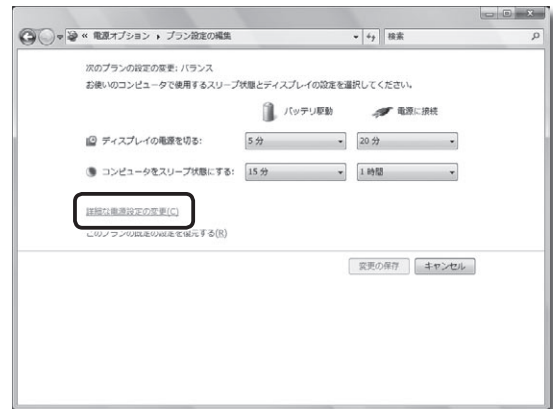
・休止状態
スリープと同様にソフトウェアなどの動作状態を保存し、パソコンの電源をOFFにする機能ですが、スリープとは違い、動作状態をメモリではなく固定ディスクに保存するため、電力を消費しません。

バッテリ残量低下時の終了動作の設定

バッテリ残量が低下したときや無くなったときに、パソコンをどのような状態で電源をOFFにするかを設定できます。

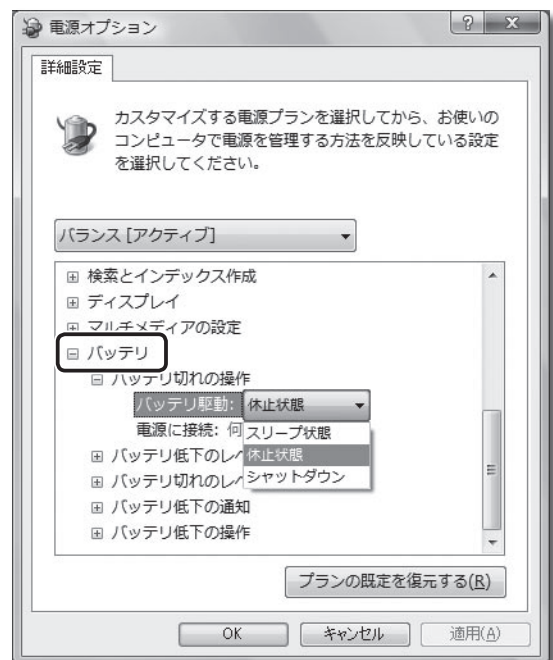
1. **[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[モバイルコンピュータ]→[電源オプション]を選択します。**
【電源オプション】ウィンドウが表示されます。

2. **「バランス」、「省電力」、「高パフォーマンス」の項目から、いずれかチェックの入っている項目の「プラン設定の変更」を選択します。**

【プラン設定の編集】ウィンドウが表示されます。

3. **「詳細な電源設定の変更」を選択します。**

【電源オプション】ダイアログが表示されます。

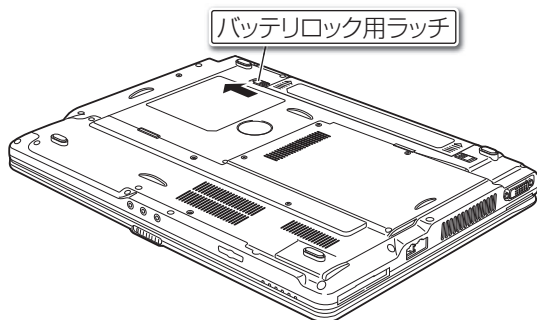
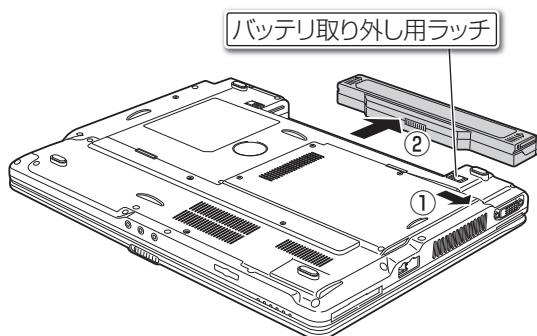
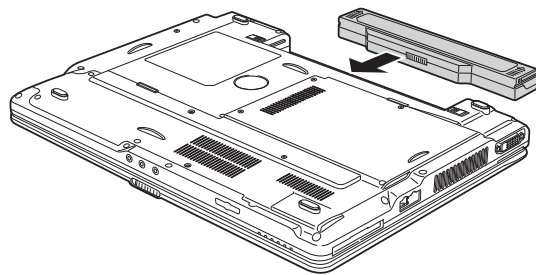
4. **詳細設定の一覧から「バッテリ」を選択し、バッテリ残量が低下したときや無くなったときに、どのような状態で電源をOFFにするかを設定します。**

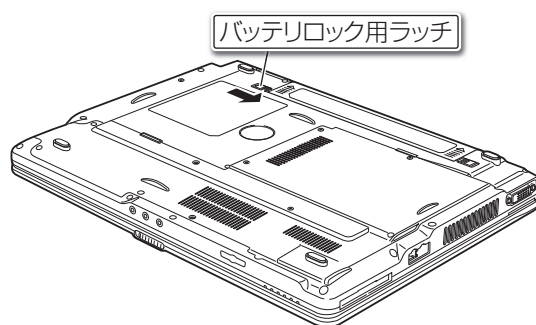
はじめに
セットアップ
使用する
周辺機器を使用する
困ったときには
リカバリ
付録

バッテリパックの交換

バッテリパックは、電源がOFFの状態で交換します。
交換前に、バッテリLEDが消灯していることを確かめてください。

- 弊社純正のバッテリパック以外のバッテリは絶対に使用しないでください。また、バッテリパックの分解や破壊、火中への投入、加熱、端子の短絡なども絶対におこなわないでください。爆発や火災を起こす恐れがあります。
- バッテリパックの取り扱いについては「安全上のご注意」（☞5ページ）も必ずお読みください。
- スリープ状態でバッテリパックの交換をおこなうと、データが破損する恐れがあります。

1. ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返して、静かに置きます。

2. バッテリロック用ラッチを矢印の方向にスライドして、ロックを解除します。

3. バッテリ取り外し用ラッチを矢印の方向に指でスライドさせながら（①）、バッテリパックを取り外します（②）。

4. 交換用のバッテリパックを矢印の方向に動かしながら取り付けます。

バッテリ取り外し用ラッチがロックされるまで、確実にはめ込んでください。

5. バッテリロック用ラッチを矢印の方向にスライドして、ロックします。

タッチパッドを使ってみよう

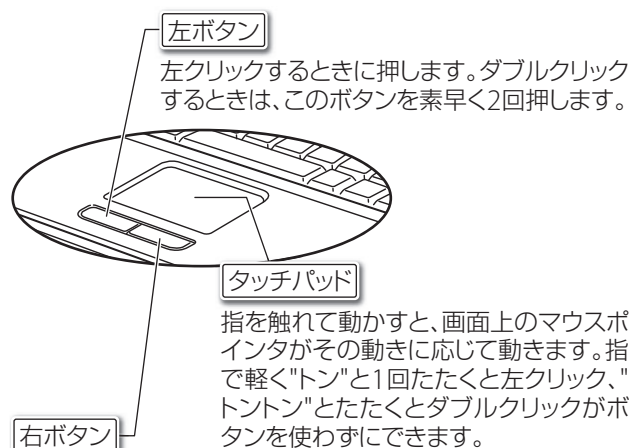
Windowsでは、文字の入力以外、ほとんどの操作をタッチパッドでおこないます。ここでは、タッチパッドの基本操作を説明します。

タッチパッドの名前とはたらき

タッチパッド各部の名前とはたらきは次のようになっています。

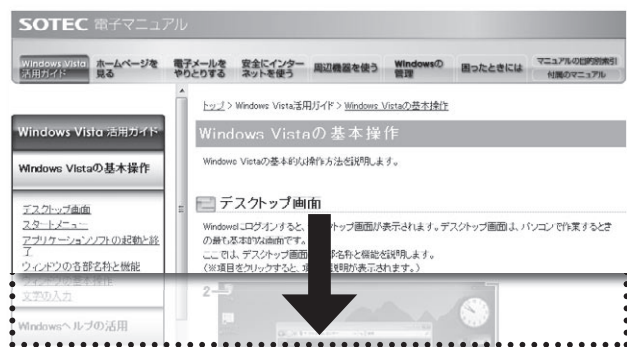
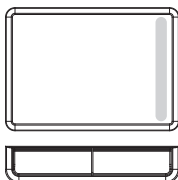
左ボタン
左クリックするときに押します。ダブルクリックするときは、このボタンを素早く2回押します。

タッチパッド
指を触れて動かすと、画面上のマウスポインタがその動きに応じて動きます。指で軽く"トン"と1回たたくと左クリック、"トントン"とたたくとダブルクリックがボタンを使わずにできます。

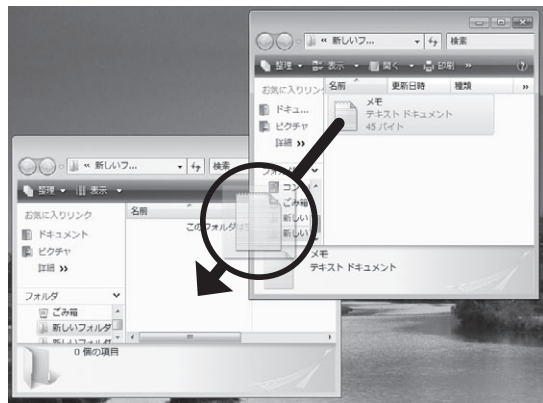
右ボタン
右クリックするときに押します。
Windowsでは、右クリックするとショートカットメニューが表示されます。

注　意

- タッチパッドをペン先などの先の尖ったもので触れないでください。故障の原因となります。
- 2本以上の指や手袋をした指、また、濡れた指などで操作しないでください。正常に動作しません。また、指先の皮脂や汚れによっても正常に動作しない場合があります。そのときは、十分に汚れを取り除いてからご使用ください。
- マウスポインタはタッチパッドを軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を傷める原因となります。

スクロールの操作

縦に長いホームページなどをスクロールさせて見るときは、タッチパッドの右端を上下になぞります。

ドラッグアンドドロップの操作

ファイルの移動（コピー）はドラッグアンドドロップという操作でおこないます。

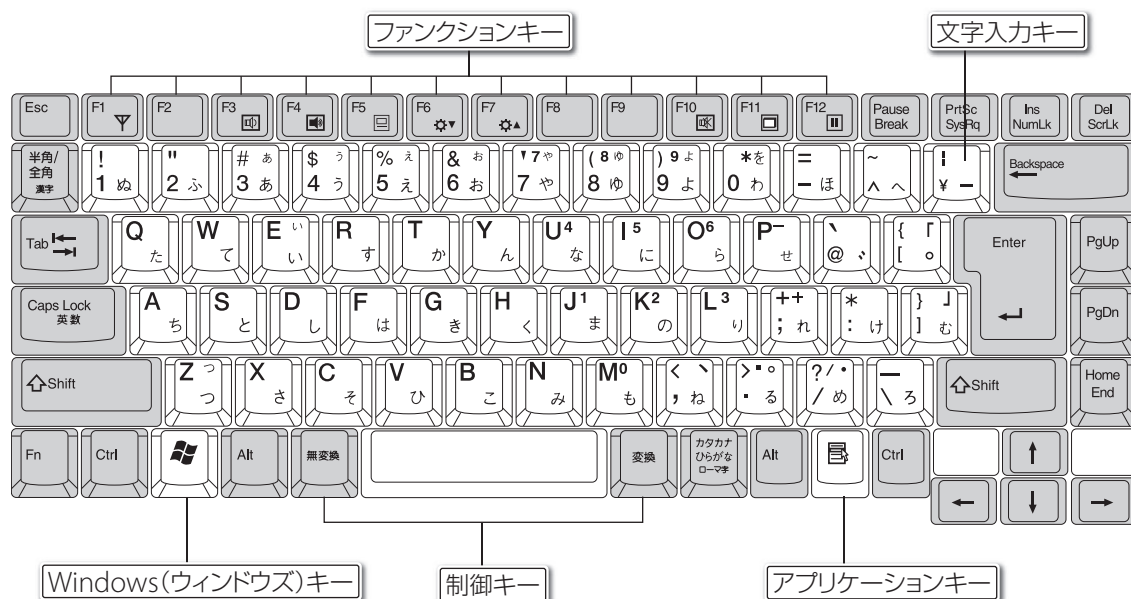
1. **移動したいアイコンを選択し、左ボタンを押したまま、タッチパッドをなぞってアイコンを移動したい場所まで動かします（ドラッグします）。**

2. **タッチパッドのボタンを離します（ドロップします）。**

選択したファイルが移動（またはコピー）されます。

キーボードを使ってみよう

キーボードは、文字や記号を入力したりパソコンへ指示をする役目をもっています。ここでは、キーボードの各キーの名前や機能について説明します。

キーボードの各部の役割

キーはその機能によって、役割が大きく分かれます。
本書では便宜上、色分けをして説明しています。実際のキーボードは色分けされていません。

■ Windowsキー

単独で押すとWindowsの「スタート」メニューを表示します。次のキーと合わせて押すと、Windowsの代表となる機能がすぐに使えます。

Windows+F1	Windowsの「Windowsヘルプとサポート」を表示
Windows+M	ウィンドウの最小化
Windows+T	タスクバーに表示されているボタンの切り替え
Windows+R	【ファイル名を指定して実行】ダイアログを表示
Windows+E	【コンピュータ】ウィンドウを表示
Windows+F	ファイルとフォルダ検索画面を起動
Windows+Pause	【システム】ダイアログを表示

HomePremiumモデル

Windows Aero機能を使用すると、Windows+Tabキーの操作で、Windowsフリップ3Dによるソフトウェアの切り替えができます。

■ アプリケーションキー

タッチパッドの右ボタンに相当します。使用するアプリケーションによって動作が異なります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

■ 制御キー(灰色の部分)

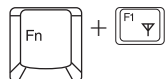
文字入力キーと組み合わせて使うキー、入力位置を決めるキー、パソコンに対してコマンド(命令)を送るキーなどです。これらのキーだけを使って文字を直接入力することはできません。

■ 文字入力キー

主に、アルファベットやひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。1つのキーに2つ以上の文字が割り当てられており、CapsLock Shift NumLk ひらがな カタカナの各キーと組み合わせて、目的の文字が入力できます。

ファンクションキー

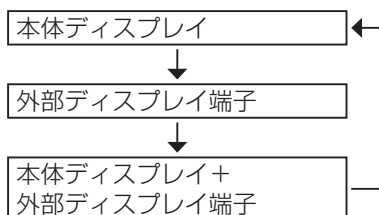
制御キーの一つである[Fn]キーとファンクションキーの組み合わせにより、画面の輝度を変えたり、省電力機能を作動させたりできます。

■ ワイヤレスLAN機能を実行する
ワイヤレスLAN搭載モデルのみ

[Fn]キーを押しながら[F1]キーを押すと、ワイヤレスLAN機能がONになります。(☞36 ～ 39ページ)
もう一度押すとOFFに戻ります。

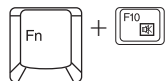
■ スピーカの音量を調整する

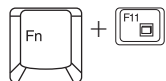
[Fn]キーを押しながら[F3]キーを押すごとに音量が下がり、[F4]キーを押すごとに音量が上がります。

■ 本体ディスプレイ表示か外部ディスプレイ表示かを切り替える

[Fn]キーを押しながら[F5]キーを1回押すごとに、次の順で、映像の表示先が切り替わります。

■ 輝度を調整する

[Fn]キーを押しながら[F6]キーを押すごとに、ディスプレイの輝度が下がり、[F7]キーを押すごとにディスプレイの輝度が高くなります。

■ スピーカの音を消す(ミュート)

[Fn]キーを押しながら[F10]キーを押すと、スピーカの音が消えます。もう一度[Fn]キーを押しながら[F10]キーを押すと元に戻ります。

■ 液晶ディスプレイをON/OFFする

[Fn]キーを押しながら[F11]キーを押すと、液晶ディスプレイの電源がOFFになります。もう一度押すとONになります。

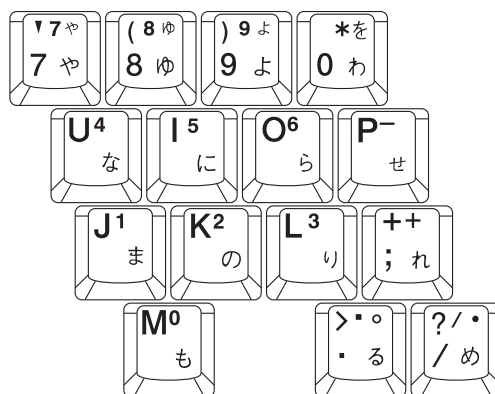
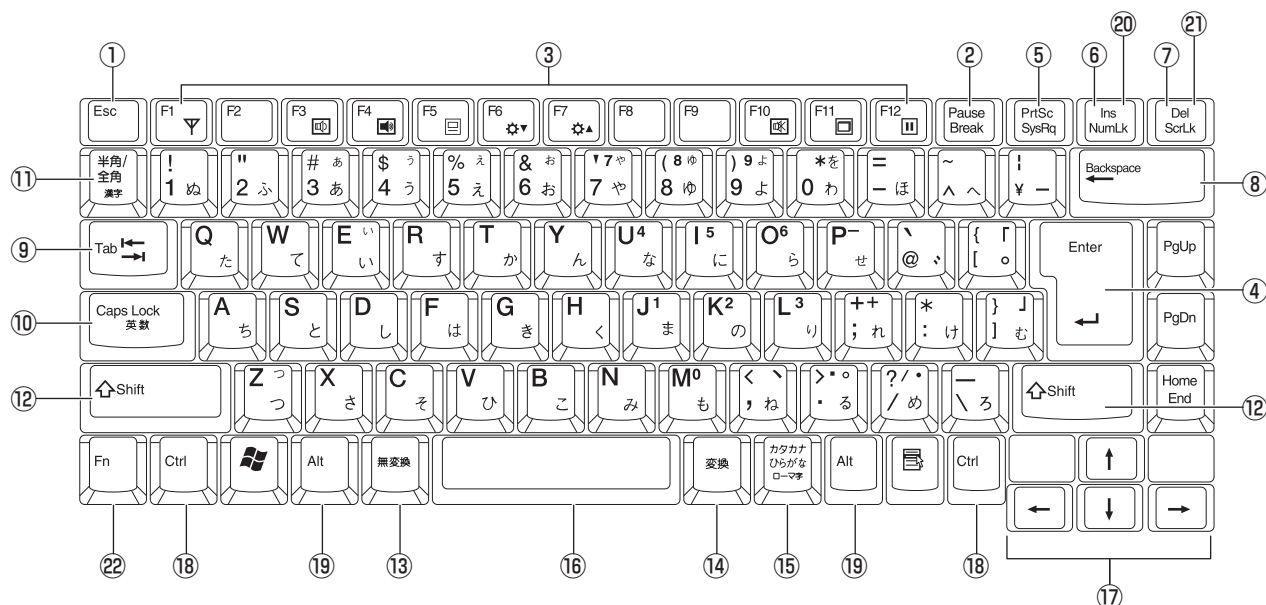
■ 省電力機能を実行する

[Fn]キーを押しながら[F12]キーを押すと、スリープ状態に入ります。
(☞25ページ)
スリープ状態から復帰する場合は、電源スイッチ(☞19ページ)を押します。

[Fn]＋[F12]を押したときの動作は、【電源オプション】の【システム設定】画面([コントロールパネル]→[モバイルコンピュータ]→[電源オプション]→[電源ボタンの動作の変更]を選択して表示させます)で休止状態に変更できます。

テンキーを使って数字を入力する

通常、数字は英数モードのときにファンクションキーの下に並んでいるキーで入力することができますが、[Fn]＋[NumLk]キーを押すことで、キーボードの図の部分でも数字を入力できるようになります。文字よりも数字の入力のほうが多いという場合などは、電卓のテンキーのように使うことができます。

はじめに
セットアップ
使用する
周辺機器を使用する
困ったときには
リカバリ
付　録

各キーの機能

■ 中止や中断させるコマンド(命令)を送る

①Esc(エスケープ)キー
設定を取り消したり、実行を中止します。

②Pause/Break(ポーズ/ブレーク)キー
ソフトウェアによっては動作が割り当てられており、実行されている命令を中断したり、ブレーク信号を送ります。

■ 設定されている機能を呼び出す

③ファンクションキー
F1からF12キーまでの12個のキーにそれぞれ別の機能やコマンド(命令)が割り付けられています。キーを押したときの動作はソフトウェアにより異なります。

■ コマンド(命令)や設定された機能を決定する

④Enter(エンター)キー
あるコマンド(命令)の実行を決定したり、設定された機能を確定させせます。文字を入力しているときは、このキーで改行できます。

■ 画面のハードコピーをとる

⑤PrtSc(プリントスクリーン)キー
表示されている画面を取り込んでクリップボードに転送します。

■ 文字を編集する

⑥Ins(インサート)キー【ロックされます】
文字入力のモードを切り替えます。1回押すごとに、カーソル位置にある文字の間に入れる「インサートモード」と、カーソル位置の文字に上書きする「オーバーライトモード」が切り替わります。

⑦Del(デリート)キー
カーソル位置から右側の文字を削除します。カーソル位置は変わりません。

⑧Backspace(バックスペース)キー
カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

⑨Tab(タブ)キー
文字を入力しているときに押すと、タブが入りカーソルが右に移動します。Shiftキーと同時に押すと、一つ前のタブ位置まで戻ります。
表計算やデータベースなどのアプリケーションでは、次の項目への移動などに使われます。

■ 文字入力キーと組み合わせて、文字を入力する

⑩CapsLock(キャップスロック)・英数キー【ロックされます】
アルファベットを入力するときの文字種を切り替えます。Shiftキーと同時に1回押すごとに、「大文字モード」と「小文字モード」が切り替わります。ひらがな/カタカナモードから、アルファベットや数字を入力する英数モードに切り替えるときにも使います。
(☞31ページ「メモ」)

⑪半角/全角キー【ロックされます】
文字を入力しているときの文字種を切り替えます。WindowsのE本語入力システムMicrosoft IMEでは、1回押すごとに「日本語入力モード」がオン/オフになります。

⑫Shift(シフト)キー
ほかのキーと同時に押して別の機能を実行したり、実行方法を変えたりすることができます。たとえば、「大文字モード」で文字を入力しているときに、アルファベットキーと同時に押すと、小文字で入力することができます。

■ 空白を入れたり、漢字に変換する

⑬無変換キー
日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換したくない場合に押すと、入力モードが変わります。

⑭変換キー
日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換します。

⑮カタカナ/ひらがなキー【ロックされます】
「カタカナモード」と「ひらがなモード」を切り替えます。「カタカナモード」のときはこのキーだけ押すと「ひらがなモード」に、「ひらがなモード」のときは[Shift]キーと同時に押すと「カタカナモード」に切り替わります。[Ctrl]+[Shift]キーと同時に押すと、カナキー入力のオン/オフを切り替えることができます。

⑯スペースキー
文字を入力しているときに押すと、スペース(空白)が入ります。

■ カーソルを動かす

⑰カーソルキー
キーに表記されている矢印の方向に、カーソルが移動します。

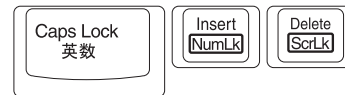
■ ほかのキーと組み合わせて機能を実行する

⑱Ctrl(コントロール)キー
文字入力キーや、ほかの制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑲Alt(オルト)キー
オルタネートキーともいい、文字入力キーや、他の制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑳NumLk(ニューメリックロック)キー
【ロックされます】
ロックすると、テンキーを数字を入力するための専用キーとして動作させます。ロックを外すと、テンキーを特定の動作キーとして動作させます。
(☞29ページ「テンキーを使って数字を入力する」)

㉑ScrLk(スクロールロック)キー
【ロックされます】
使用しているソフトウェアにより動作は異なりますが、通常はカーソルキーの動きを変えることができます。

キーには、1回押すごとに状態が固定されてロック状態になるキーと、固定されずに押したときだけ機能するキーの2通りがあります。
ロックされるキーの中でも下の3種類のキーは、ロック状態になるとキーボード上のステータスLEDが点灯します。

㉒Fn(エフエヌ)キー
他のキーと組み合わせて、画面の輝度を変えたり、省電力機能を働かせたりできます。(☞29ページ)

CD-ROMやDVDなどの光ディスクを使ってみよう

ここでは、CD-ROMやDVDなどの光ディスクを使う方法について説明します。

使用できる光ディスク

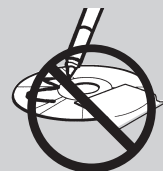
光ディスクドライブでは、CD-ROM、DVDなどの光ディスクが使用できます。

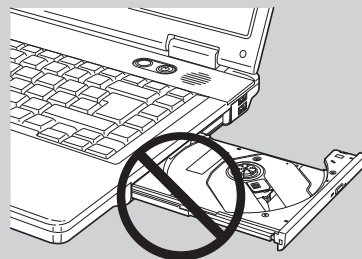
- ・お届けした製品は、お客様が希望されたB.T.O.の構成で出荷されています。したがって、本機の光ディスクドライブによっては、使用できる光ディスクの種類が異なります。
- ・書き込み可能な光ディスク(CD-R、CD-RW、DVD-Rなど)は、書き込み専用のソフトウェアが必要です。

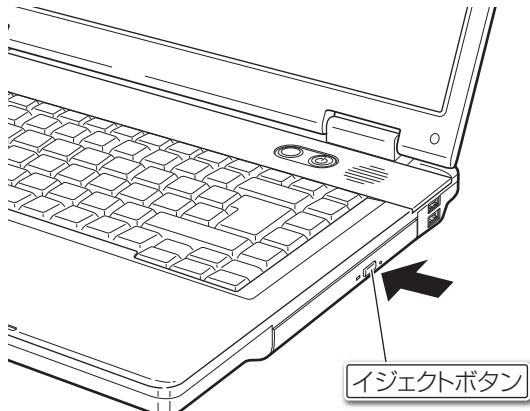
光ディスクを使うときの注意

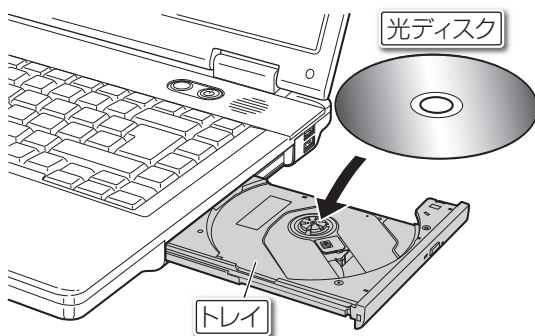
光ディスクドライブや、CD-ROMおよびDVDなどの光ディスクの取り扱いにあたっては次の点に十分注意してください。また、光ディスクを使わない場合は、パソコンの電源をOFFにする前にドライブから取り出して、適切な場所に保管してください。

清掃するときは、レコード用クリーナーやベンジン、シンナーではなく、必ずCDやDVD専用のクリーナーを使ってください。また、レンズクリーナーは乾式のものを使用してください。湿式は汚れを増長させますので絶対に使わないでください。

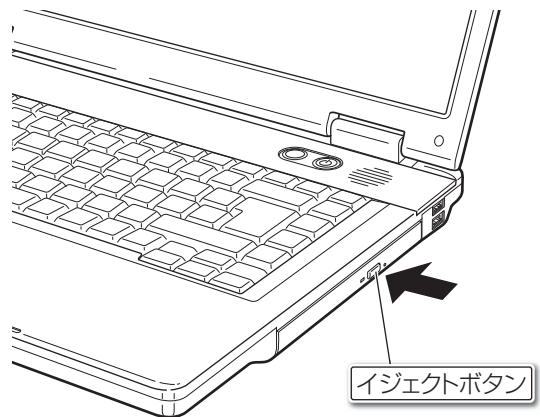
記録面にラベルを貼ったり、ペンなどで字を書かないでください。

強い衝撃を与えたり表面に傷を付けないでください。また、ゴミやホコリの多い場所に置かないでください。読み込みエラーの原因となります。

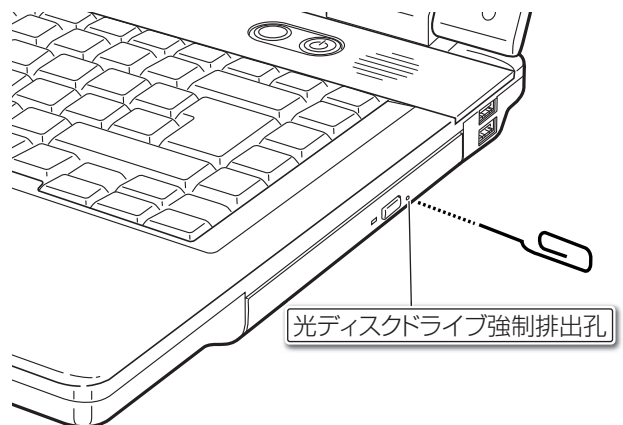
トレイを開けたままにしておかないでください。内部にゴミやホコリが入り込んで故障の原因となります。

光ディスクの出し入れ

1. **イジェクトボタンを押します。**
トレイが出てきます。

本機の光ディスクドライブは、本機の電源がONになっていないと動作しません。

2. **光ディスクの記録面をトレイ側に向けて、トレイにセットします。**

光ディスクはトレイの中心部で固定します。「カチッ」という音がするまで確実に光ディスクをトレイにセットしてください。

3. **トレイを押し込み、光ディスクドライブを閉じます。**

4. **光ディスクを取り出すときは、再度イジェクトボタンを押します。**
トレイが出てくるので、光ディスクを取り出します。

■ トレイが出てこない場合は・・・

イジェクトボタンを押してもトレイが出てこない場合、光ディスクドライブ強制排出孔に、針金など(太さ1mm前後)を押し込んでください。トレイを手動で取り出すことができます。

表示画面の設定を変えてみよう

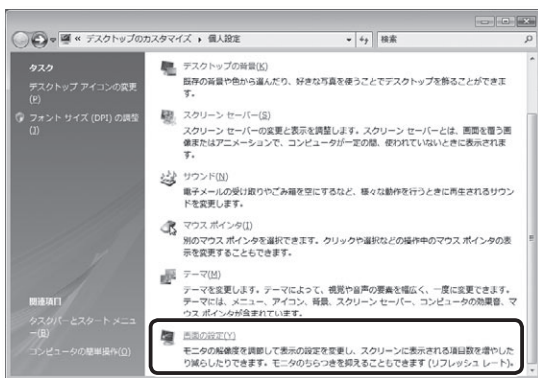
ディスプレイの解像度を変更して、より広い領域でWindowsを表示したり、フォントの大きさを変更して、文字をより見やすく表示できます。ここでは解像度や色数といった、画面の設定の変更方法について説明します。

解像度や色数の変更

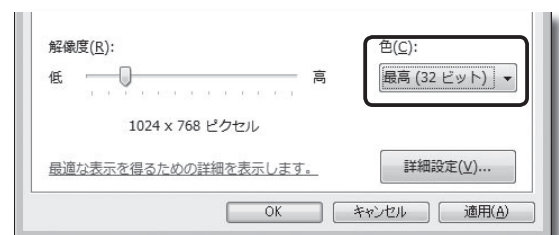
画面の解像度、色数、フォントサイズは、【画面の設定】ダイアログから調整できます。

1. **デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、[個人設定]を選択します。**

【個人設定】ダイアログが表示されます。

2. **[画面の設定]を選択します。**

【画面の設定】ダイアログが表示されます。

3. **を左右にスライドさせ、画面の解像度を選択します。**

4. **最高 (32 ビット) ボタンをクリックし、画面の色(表示する色数)を選択します。**

5. **[適用]ボタンをクリックします。**

変更を確認するダイアログボックスが表示されます。

6. **[OK]ボタンをクリックします。**

壁紙の変更

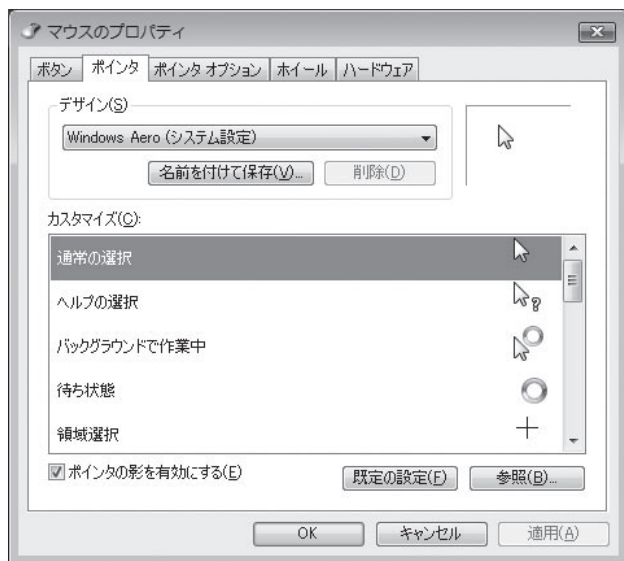
【個人設定】ダイアログから[デスクトップの背景]を選択すると、デスクトップの背景(壁紙)を変更できます。
背景は、Windowsにあらかじめ用意されているものから選択したり、自分で用意した画像に変更することができます。

デザインの変更

【個人設定】ダイアログから[ウィンドウの色とデザイン]を選択すると、デスクトップのデザインを変更できます。「Windows クラシック」を選択するとWindows 2000やWindows Meのようなデザインに変更できます。

[詳細設定]ボタンをクリックすると、ウィンドウのタイトルバーに表示させるフォントサイズを変更できます。

マウスポインタの変更

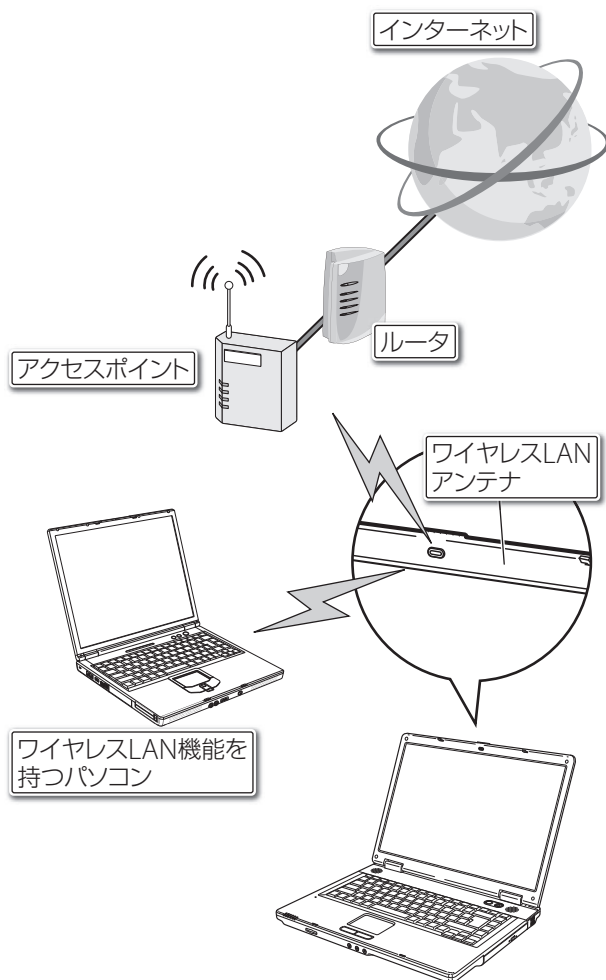
【個人設定】ダイアログから[マウスポインタ]を選択すると、マウスポインタの形状や、ダブルクリックするタイミングなどを変更できます。

ワイヤレスLANを利用する ワイヤレスLAN搭載モデルのみ

本機には、「IEEE802.11a/b/g/n」規格に準拠したワイヤレスLANモジュールが内蔵されており、他のパソコンと無線通信ができます。

ワイヤレスLANとは

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデータをやり取りするLANのことです。
「アクセスポイント」と呼ばれる別売の中継機器や、ワイヤレスLAN機能を持つ他のパソコンと無線通信でデータをやり取りできます。

■ インターネットにも接続可能

市販のルータにアクセスポイントを接続して、本機にケーブルを接続することなく、ワイヤレスLANでインターネットに接続できます。

- ワイヤレスLAN機能は、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11aおよびIEEE802.11n方式に準拠しています。それ以外の方式およびBluetooth方式対応の通信機器とは通信できません。
- 電波障害によるノイズの発生など他の機器に影響を与える場合や、ワイヤレスLANの機能を使わないときは、ワイヤレスLAN機能をOFFにしてください。
- 無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。
- IEEE802.11a方式は電波法により、使用が屋内に限定されます。

セキュリティに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

■ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANの仕様

ワイヤレスLANモジュールの仕様です。
※通信速度、通信距離は使用状況、電波環境、接続機器、使用のアプリケーションなどにより異なります。
※通信速度は規格による速度（理論値）であり、実際のデータ転送速度とは異なります。
※IEEE802.11nは、2007年6月現在、正式に標準化されておりません。2007年中に正式承認される予定です。

規　格	IEEE802.11n準拠（2.4GHz/5GHz帯） IEEE802.11b/g準拠（2.4GHz帯） IEEE802.11a準拠（5GHz帯）
最大通信速度	100Mbps（IEEE802.11n） 54Mbps（IEEE802.11g、IEEE802.11a） 11Mbps（IEEE802.11b）

※通信中にレーダー波（気象レーダーなど）を検出した場合、チャンネルの自動変更のため通信が中断される場合があります。

ワイヤレスLANに接続する

■ 自動認識での設定

1. **Fn＋F1を押しワイヤレスLANの機能をONにします。**
ワイヤレスLANの機能が働くと、ワイヤレスLAN LED（☞23ページ）が点灯します。

接続可能なワイヤレスLANが検出されると、通知領域にメッセージが表示されます。

2. **通知領域に表示された［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンをクリックし、表示されたポップアップウィンドウの「ネットワークに接続」をクリックします。**

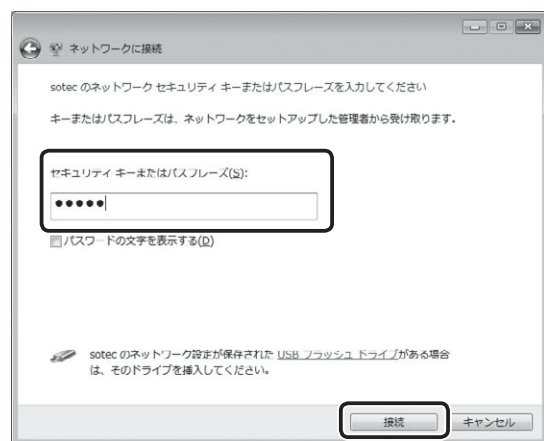
【ネットワークに接続】ウィンドウが表示されます。

ワイヤレスLANの機能が作動していないときは、「現在どのネットワークにも接続していません」と表示されます。

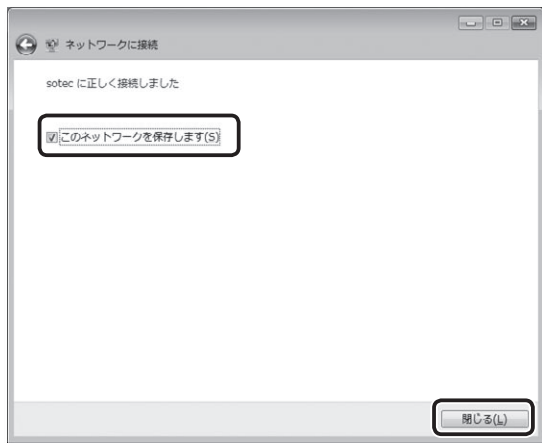
3. **ネットワーク一覧から接続するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、［接続］ボタンをクリックします。**

セキュリティキーまたはパスフレーズの入力画面が表示されます。

・一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合はをクリックします。
・ワイヤレスLANが［Wireless Provisioning Services］をサポートしている場合は、ワイヤレスLAN接続に使用する追加ファイルをダウンロード、のメッセージが表示されます。
［ダウンロード］のボタンをクリックして追加ファイルをダウンロードします。
・セキュリティに保護されていないワイヤレスLANに接続する場合、警告メッセージが表示されます。
そのまま接続する場合は、［接続］ボタンをクリックします。セキュリティを設定する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックして終了させ、セキュリティの設定後、再度ワイヤレスLANの接続をおこないます。

4. **「セキュリティキーまたはパスフレーズ」を入力して、［接続］ボタンをクリックします。**

本機がワイヤレスLANに接続されます。

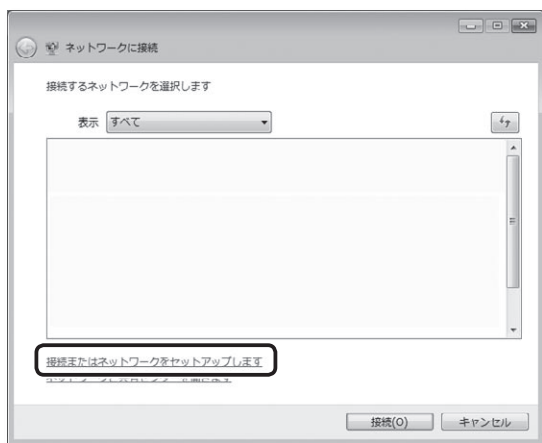
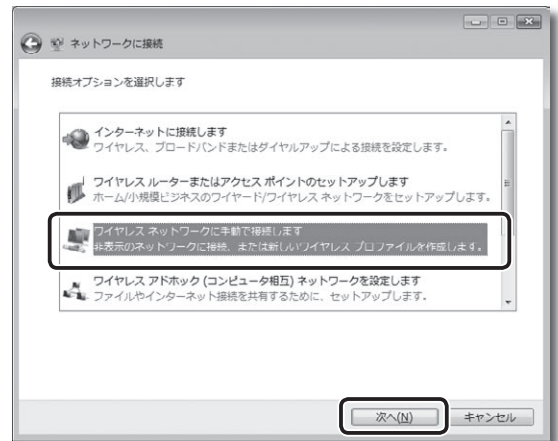
「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、入力したパスワードが見えるようになります。

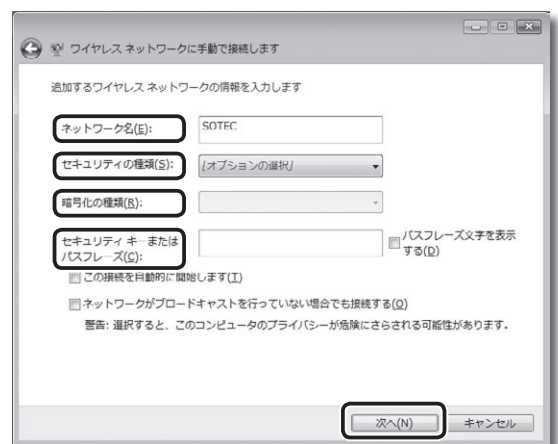
5. 「このネットワークを保存します」にチェックを入れて、[閉じる]ボタンをクリックします。

・ご使用のワイヤレスLANがセキュリティにより保護されていて、セキュリティキーまたはパスフレーズが自動的に取得される設定になっている場合は、セキュリティキーまたはパスフレーズの入力画面は表示されず、そのままワイヤレスLANに接続されます。
・別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

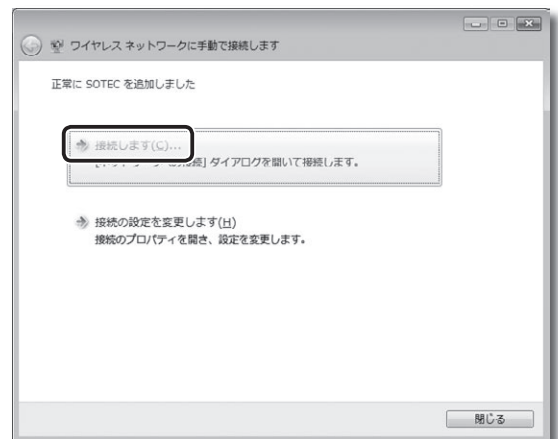
■ 手動での設定

1. 「自動認識での設定」（☞37ページ）の手順1、2を実行します。

【ネットワークに接続】ウィンドウが表示されます。

2. 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックします。

3. 「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ウィンドウが表示されます。

4. 「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」を設定して、[次へ]ボタンをクリックします。

「パスフレーズ文字を表示する」にチェックを入れると、入力したパスワードが見えるようになります。

5. 「接続します」をクリックします。

6. **「自動認識での設定」(☞37 ～ 38ページ)の手順3 ～ 5を実行します。**

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ ワイヤレスLAN接続を終了する

Fn+F1キーを押し、ワイヤレスLANの機能をOFFにします。

本機がワイヤレスLANから切断され、ワイヤレスLAN LEDが消灯します。

周辺機器を取り付ける前に

本機では、プリンタやスキャナなどさまざまな周辺機器を接続して使用することができます。ここでは、これらの周辺機器を取り付ける前に、確認したり、作業しなければならないことを説明します。

電源をOFFにする

ケーブル類や、周辺機器を取り付けるときは、本機の電源をOFF(シャットダウン)にし、電源ケーブルをACコンセントから取り外します。

電源ケーブルが接続されたまま周辺機器を取り付けると、本機を壊したり、感電する恐れがあります。

次の機器は、パソコンの電源をONにしたまま、取り付けや取り外しができます。
・USB対応の機器
・IEEE1394対応の機器
・ExpressCard対応の機器

1. 本機の電源をOFFにします。
「電源のON/OFF」(☞16ページ)を参照して、本機の電源をOFF(シャットダウン)にします。

2. 本機の電源ケーブルを、コンセントから取り外します。

3. 周辺機器を取り付けます。

本体内部の機器を取り付けたり、取り外したりするときは、金属のへりでけがをしないよう、手袋をして作業をするなど十分に気を付けてください。

取り付け時の注意事項

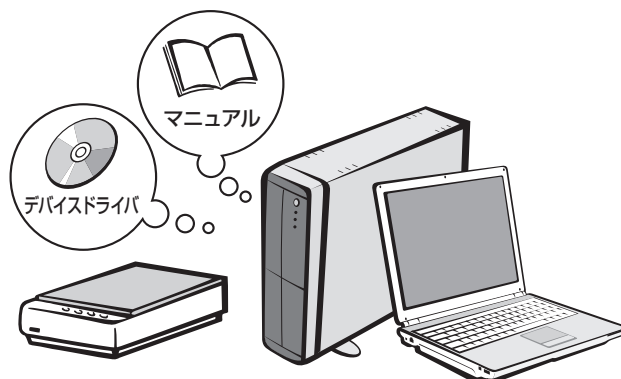
■ 体の静電気を取り除いてください

基板がむき出しになっているメモリなどは、静電気に弱く、帯電した手で触ると壊れてしまう恐れがあります。ドアのノブなど、身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてから、これらの機器を取り付けてください。

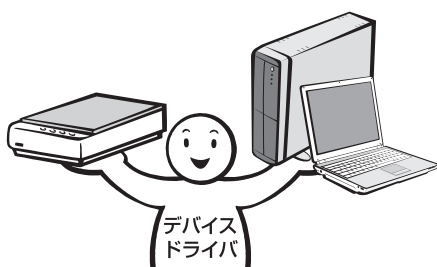
■ ユーザーズガイドをよく読んでください

オプションカードなどは、取り外しや取り付けを間違うと、機器を壊してしまう恐れがあります。本書をよく読んでから、周辺機器を取り付けてください。

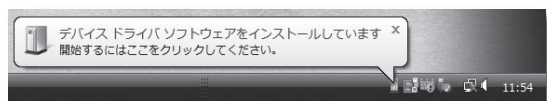
■ 周辺機器に付属のマニュアルをよく読んでください

周辺機器に付属のマニュアルには、取り付け方法や、取り付けたあとに必要となるソフトウェアやハードウェアの設定方法が詳しく書かれています。周辺機器のマニュアルをよく読み、必要な機器、および必要な設定ファイル(デバイスドライバなど)を理解し、これから始める接続作業に備えてから、周辺機器を取り付けてください。

プラグアンドプレイについて

Windowsには、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使用できる状態に設定する「プラグアンドプレイ」という機能があります。プラグアンドプレイを実現するには、周辺機器に対応したデバイスドライバがWindows側で用意されている必要があります。用意されていない場合は、Windowsのウィザード機能を使って、デバイスドライバをWindowsにインストールします。

周辺機器を使うときは、「デバイスドライバ」と呼ばれる周辺機器をコントロールするソフトウェアが必要です。デバイスドライバは、あらかじめ本機のWindows側で用意されている場合と、周辺機器に付属している場合（CD-ROMディスクなどで提供されています）があります。周辺機器メーカのホームページから入手することもできます。

■ デバイスドライバがWindowsにある場合

周辺機器に対応したデバイスドライバが、すでにWindows側で用意されている場合は、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使える状態になります。

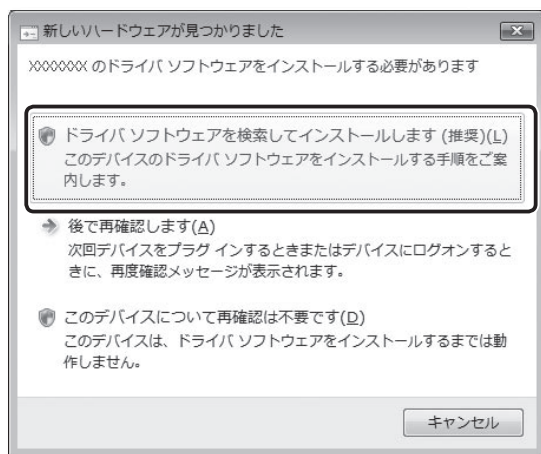
1. **周辺機器を取り付けたあとに、本機の電源をONにします。**
デスクトップ画面右下の通知領域に、「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と吹き出しが表示されます。
しばらくして、「デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされました。」と表示されると、周辺機器が使えるようになります。

プラグアンドプレイに対応した周辺機器でも、設定が自動でおこなわれない場合があります。

■ デバイスドライバがWindowsにない場合

周辺機器に対応したデバイスドライバがWindowsにない場合、周辺機器に付属しているデバイスドライバをWindowsにインストールします。

1. **周辺機器を取り付けたあとに、本機の電源をONにします。**
【新しいハードウェアが見つかりました】ダイアログが表示されます。

2. **ユーザーアカウント制御の画面が表示されるので、[続行]ボタンをクリックします。**

3. **[ドライバソフトウェアを検索してインストールします]をクリックします。**

4. **表示される指示に従って操作します。**
デバイスドライバが正常にインストールされたことを示すメッセージが表示されたら、設定は終了です。

5. **[閉じる]ボタンをクリックします。**

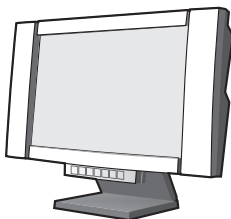
プラグアンドプレイに対応していない周辺機器の場合、デバイスドライバの組み込みや、リソースの設定を自分でおこなう必要があります。また、周辺機器側のディップスイッチなどを変更する必要があります。詳細は、お使いの周辺機器メーカへお問い合わせください。

使用できる周辺機器

本機には、さまざまな周辺機器が接続できます。次にその一例を紹介します。

左側面＆前面

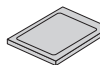
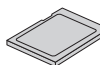
DVI-I 外部ディスプレイ端子

外部ディスプレイ（☞56ページ）

光デジタル（S/PDIF）出力端子（丸型）

光デジタル対応のレコーダブルMDなど
（☞45ページ）

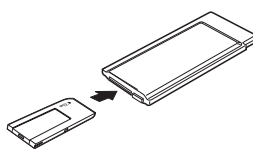
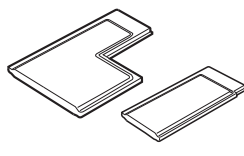
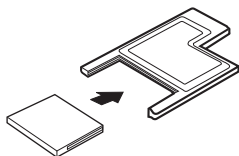
メモリーカードスロット

メモリーカード（☞47～48ページ）

・メモリースティック
・メモリースティック PRO
・SDメモリーカード
・MMC

オーディオ出力端子

ヘッドホン/スピーカ
（☞44ページ）

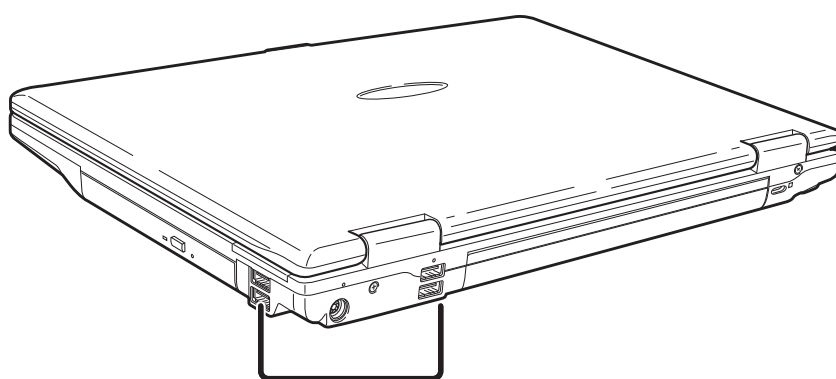
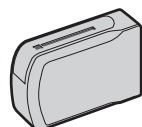
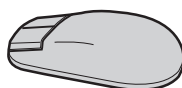
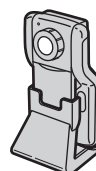
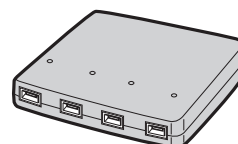
ExpressCardスロット

ExpressCard（☞49～50ページ）

・コンパクトフラッシュ
（カードアダプタが必要）
・フラッシュメモリーカード
・メモリースティック
・SDカード　など
（カードアダプタが必要）

マイク端子

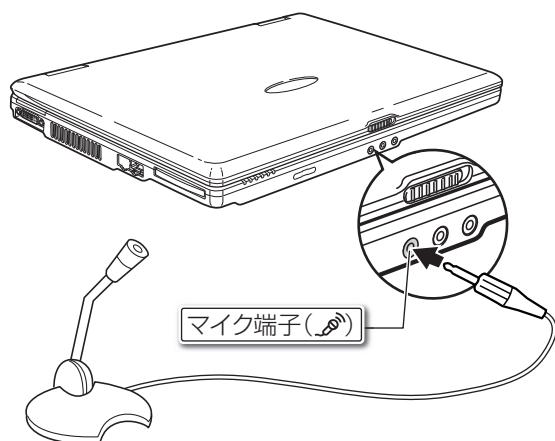
マイクロホン
（☞44ページ）

その他、周辺機器の紹介を電子マニュアルでしています。

右側面＆背面

USBポート
USB2.0対応の周辺機器（☞46ページ）
・カードリーダ/ライタ
・USB対応マウス
・CCDカメラ
・USBハブ など

AV機器と接続する

本機と接続できるAV機器の接続方法を説明します。

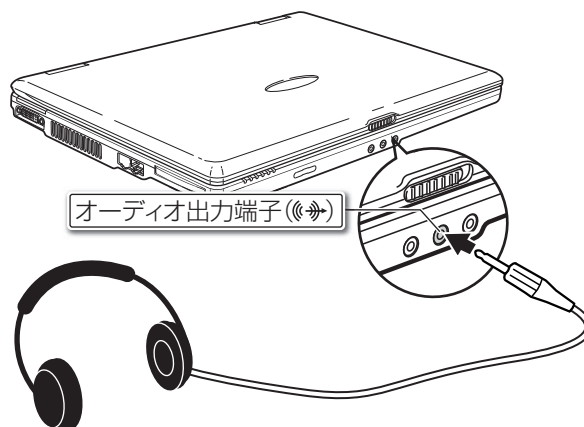
マイクロホンと接続する

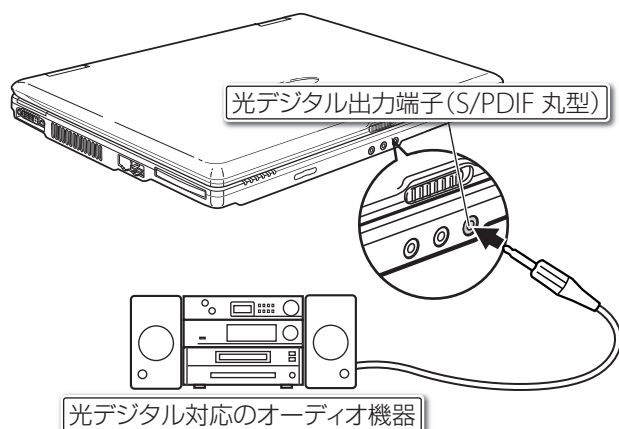
市販のマイクロホンのプラグを、本機のマイク端子( )に接続すると、マイクロホンから音声を録音できます。

- ・マイクロホンはステレオタイプのミニピンプラグ付きマイクロホンを、電器店などでお求めください。
- ・スピーカにマイクロホンを近づけると、スピーカとマイクロホンが共振し、キーンという音が出ることがあります。これを「ハウリング」と呼びます。ハウリングは、マイクロホンをスピーカから遠ざけるか、入力レベルを小さくする(ボリュームコントロールで調整)ことで防ぐことができます。

ヘッドホンと接続する

市販のヘッドホンを接続すると、スピーカから音声を出力しないでヘッドホンから出力できます。

ヘッドホンはミニピンプラグ付きヘッドホンを、電器店などでお求めください。

市販のヘッドホンのプラグを、本機のオーディオ出力端子( )に接続します。

光デジタル対応の機器と接続する

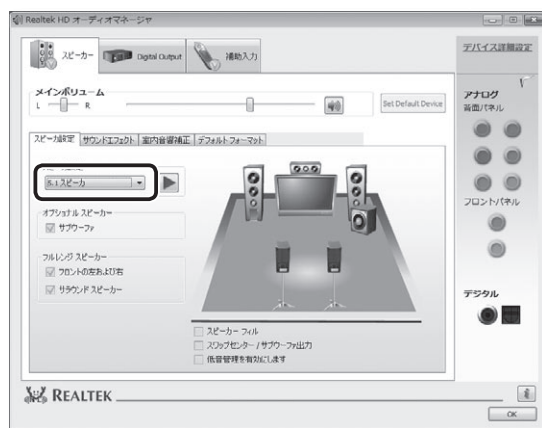
光デジタル入力端子を装備しているオーディオ機器を、本機の光デジタル出力端子（S/PDIF 丸型）に接続すると、クリアなサウンドが楽しめます。

- 光デジタルケーブルは、電器店などでお求めください。
- 光デジタル対応のオーディオ機器にはMDレコーダのほかにスピーカやオーディオコンポなどがあります。
- 本機側に接続する光デジタルケーブルのプラグは、丸型をご使用ください。

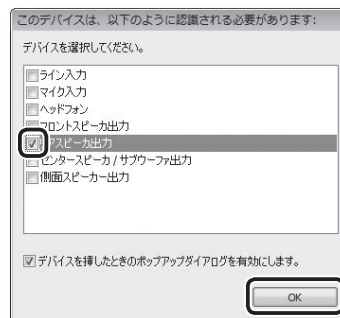
- 本機の光デジタル出力サンプリングレートは48KHzに固定されています。音声を録音するときは、サンプリングレート48KHz対応の光デジタル対応の機器を使用してください。
- S/PDIFで再生をおこなうには、コントロールパネルの「サウンド」で、Realtek Digital Outputを既定値に設定する必要があります。ただし、Realtek Digital Outputを既定値に設定すると、内蔵スピーカおよびオーディオ出力端子から音が出なくなります。

5.1chスピーカシステムと接続する

本機は、5.1chアナログ出力に対応しており、5.1chスピーカシステムを接続すれば、臨場感あふれるサウンドを楽しむことができます。

1. **[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[モバイルコンピュータ]→[電源オプション]をクリックします。**

2. **「スピーカ設定」で「5.1スピーカ」を選択します。**

3. **リアスピーカを、本機のマイク端子（）に接続します。**

デバイスの選択画面が表示されますので、「リアスピーカ出力」を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

4. **フロントスピーカを、本機のオーディオ出力端子（）に接続します。**

5. **センタースピーカ/サブウーファーを、本機の光デジタル（S/PDIF）出力端子（丸型）に接続します。**

はじめに
セットアップ
使用する
周辺機器を使用する
困ったときには
リカバリ
付録

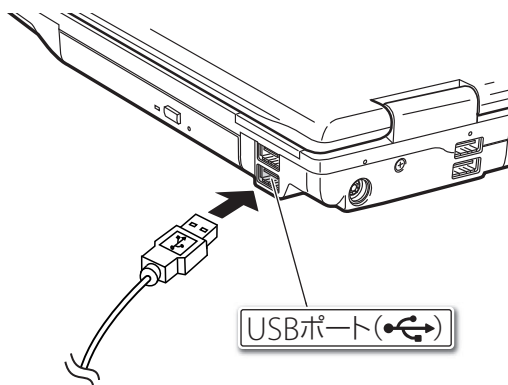
USB対応の周辺機器を使う

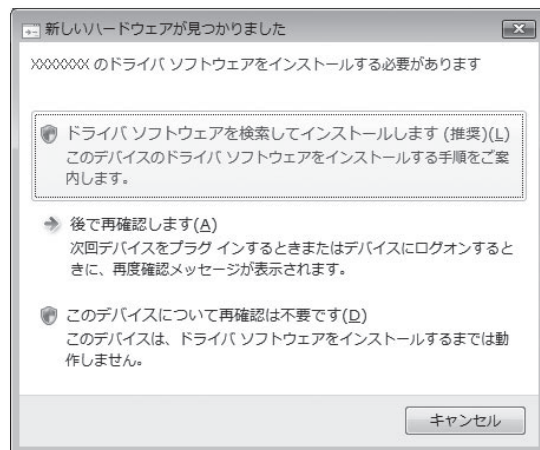
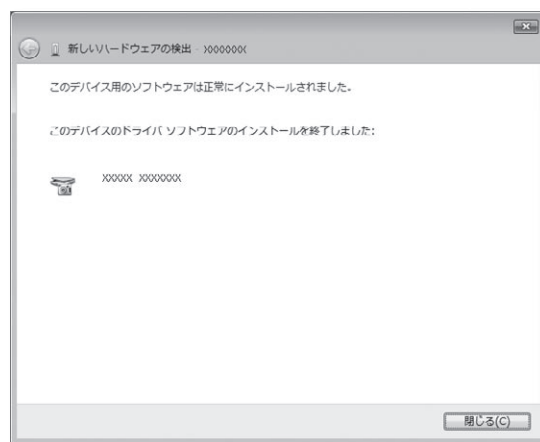
USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

USB機器を接続する前に

- 接続前に、デバイスドライバのインストールが必要なUSB機器があります。
- ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
- 本機には、複数のUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても構いません。
- USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

USB対応の周辺機器を接続する

1. **本機のUSBポート(⭠)に、USB機器のケーブルを差し込みます。**

USB機器の接続後、しばらく待つと、画面の表示が切り替わり、【新しいハードウェアが見つかりました】ダイアログが表示されます。

2. **表示される指示に従って操作します。**

デバイスのインストールが終了したことを示すメッセージが表示されれば、設定は終了です。

- 表示されないときは、USBポートからコネクタを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでください。
- USB機器に、Windows Vista対応のデバイスドライバが付属されていない場合、USB機器をWindows Vistaで使うための専用デバイスドライバが別途必要になります。

3. **［閉じる］ボタンをクリックします。**

接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

- 次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。
- 異なるUSBポートにUSB機器を接続すると、【新しいハードウェアが見つかりました】ダイアログが表示される場合があります。その場合は、設定を再度おこなってください。

メモリーカードを使う

本機にはメモリーカードを読み書きするスロットがあります。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードの種類と機能は、次のとおりです。メモリカードを使用すると、画像ファイルなどのファイルデータの読み出し・書き込みができます。

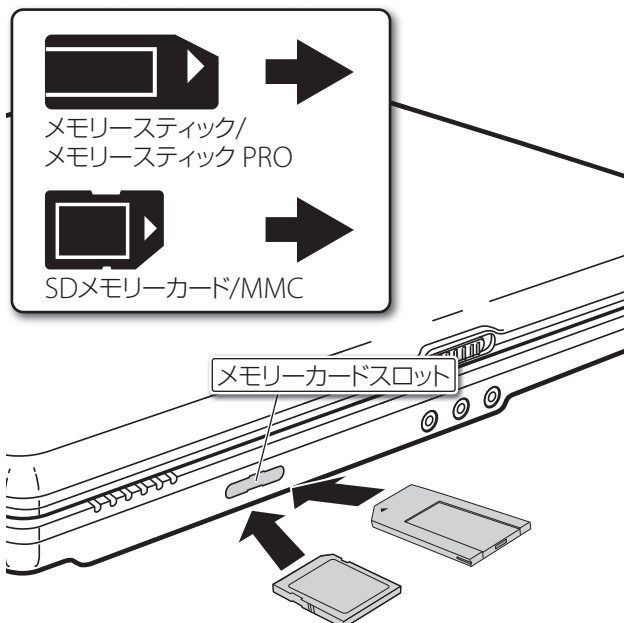
使用できるメモリーカード	記憶容量	著作権保護機能	誤消去防止スイッチ
SDメモリーカード	～2GB	あり	あり
MMC	～1GB	なし	なし
メモリースティック	～128MB	あり	あり
メモリースティックPRO	～4GB	あり	あり

（本書作成時点の情報です）

・マジックゲートメモリースティックに著作権保護（暗号化）を施して記録された音声ファイルは、本機のメモリーカードスロットでは再生できません。
・本機でのSDメモリーカード使用にあたっては、SD I/Oおよび著作権保護機能には対応していません。

メモリーカードの差し込み方向

各種メモリーカードの差し込み方向は、次のとおりです。各種メモリーカードのラベルの向きや切り欠きの位置を確認して、正しく差し込んでください。

ラベルの向きと差し込み方向

メモリーカードの差し込み

メモリーカードを差し込み、使用するまでの手順を説明します。

ここでは、メモリーカードに「MEMORY CARD」という名前（ボリュームラベル）が付いていることを前提に、手順を説明します。

1. **差し込む向きを確認して、本機のメモリーカードスロットにメモリーカードを確実に差し込みます。**

しばらくするとメモリーカードが本機に認識され、ダイアログが表示されます。

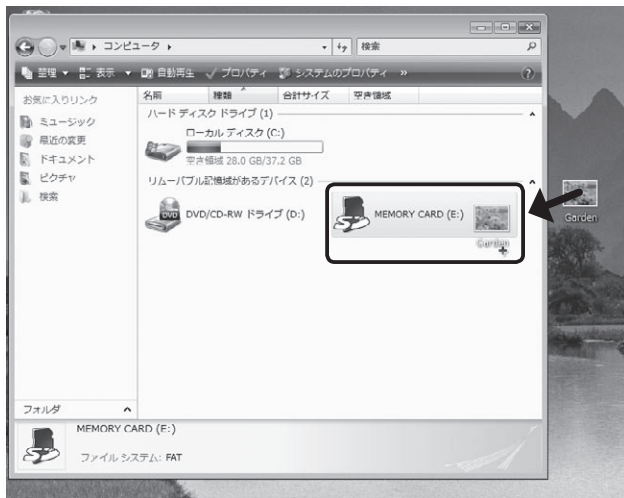
・メモリーカードには、それぞれ差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。
・「miniSDカード」または「メモリースティックデュオ」など、表に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。
メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。

2. **実行させたい動作をクリックします。**

表示されるダイアログは、メモリーカードに入っているファイルによって異なります。

これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。

■ ファイルをコピーする

正しく認識されたメモリーカードのアイコンに、ほかのディスクからファイルをドラッグアンドドロップすると、メモリーカードにデータをコピーできます。

■ 誤消去防止スイッチについて

SDメモリーカードの側面、およびメモリースティックの背面には、誤消去防止スイッチがあります。スイッチを「LOCK」に合わせると、データを誤って消去することを防止できます。

メモリーカードの取り出し

メモリーカードの取り外しの手順は次のとおりです。

1. **メモリーカードの動作が終了していること（データの読み書きがおこなわれていない状態）を確認し、［スタート］ボタン→［コンピュータ］を開き、メモリカードドライブを右クリックして表示されるメニューから、［安全に取り出す］を選択します。**

メモリカードドライブのアイコンが消えます。

2. **メモリーカードドライブのアイコンが消え、「コンピュータから安全に取り外すことができます。」というポップアップメッセージが表示されたことを確認した後、メモリーカードを取り出します。**

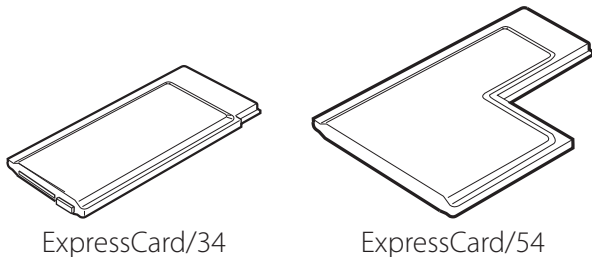
各種メモリーカードをWindows上で使用している間は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリースロットの故障や、データが破損する恐れがあります。

ExpressCardを使う

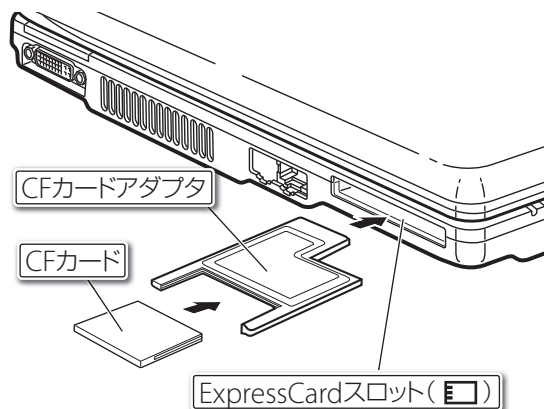
ExpressCardスロットには、市販のExpressCardを差し込んで使用することができます。ここではExpressCardの接続方法について説明します。
PCカード（CardBus）は使用できません。

ExpressCardの種類

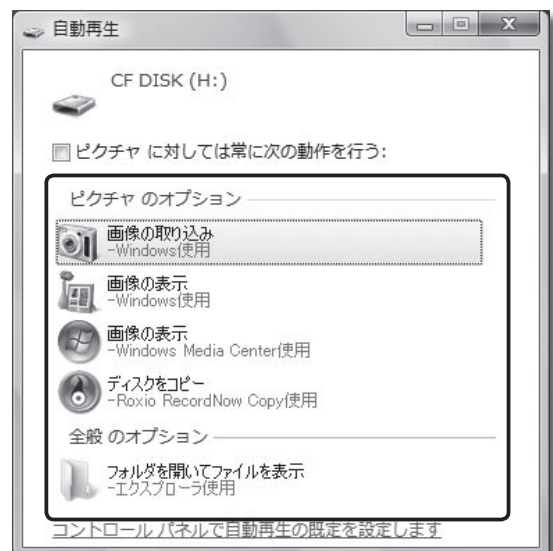
ExpressCardには、幅が34mmの「ExpressCard/34」と、幅が54mmの「ExpressCard/54」の2種類の規格があります。本機は、どちらの規格にも対応しています。

ExpressCard/34　　ExpressCard/54

ExpressCardの差し込み

ここでは、デジタルカメラの画像の記憶媒体として使用されるコンパクトフラッシュを例に、本機に差し込んで使用するまでの手順を説明します。

1. **本機のExpressCardスロット（ ）に、ExpressCardを差し込みます。**
ここでは、コンパクトフラッシュアダプタに差し込んだコンパクトフラッシュをExpressCardと呼びます。

しばらくすると、自動的に認識されます。

・ExpressCardは差し込む向きがあります。
無理に差し込もうとせず、方向を確認して正しく差し込んでください。
差し込む方向については、ExpressCardに付属の取扱説明書を参照してください。
・ExpressCardを差し込む際は、スロットに対し平行に差し込んでください。無理な角度で差し込むと、スロットが機能しなくなることがあります。

2. **実行させたい動作をクリックします。**

ExpressCardによっては、接続後、さらに別の設定をおこなうものがあります。
ExpressCardに付属の取扱説明書を参照してください。

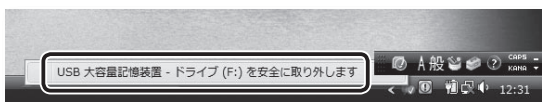
これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。

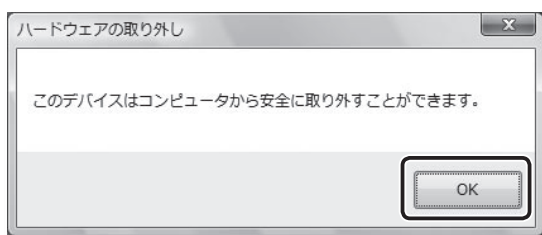
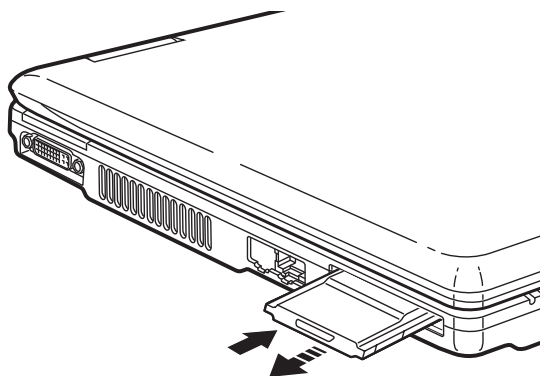
ExpressCardの取り出し

ExpressCardへのアクセス中に、本機からExpressCardを取り出すと、コンパクトフラッシュなどに記録されているデータが壊れる場合があります。
取り外しは必ず次の手順でおこなってください。

電源がスリープ状態または休止状態でExpressCardを取り出すと、本機が正常に動作しない恐れがあります。ExpressCardの取り出しは、スリープ状態または休止状態から元の状態に戻して（電源をON）から、必ず次の手順で取り出してください。

1. **デスクトップ右下（通知領域）のアイコンをクリックします。**

2. **USB大容量記憶装置ードライブを安全に取り外します」を選択します。**

表示されるメッセージは、差し込んでいるExpressCardによって異なります。

3. **次のようなダイアログが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。**

4. **ExpressCardを押し込みます。**
ExpressCardがExpressCardスロットから少し出てきます。

ExpressCard/34は、スロットに対して幅が狭いため、スロットの端に寄って差し込まれます。取り出すときにカードの端を押すと、取り出せない場合があります。取り出すときは、カードの中央を押してください。

5. **ExpressCardをゆっくりと引き抜きます。**

メモリの増設

複数のアプリケーションソフトを使っているときなどに、処理速度が遅いと感じるようになってきたら、メモリを増やしてみましょう。ここでは、メモリについての基本的な知識と、メモリの増設方法について説明します。

メモリについて

メモリは、作業をするときの「作業机」のようなものです。机の上が広いと作業がしやすいように、メモリの総容量が大きいとアプリケーションソフトの動作も快適になります。

メモリ増設/交換作業の流れ

●本機の電源OFF
●バッテリパック・ACアダプタの取り外し

↓

●メモリの交換(☞52ページ)

↓

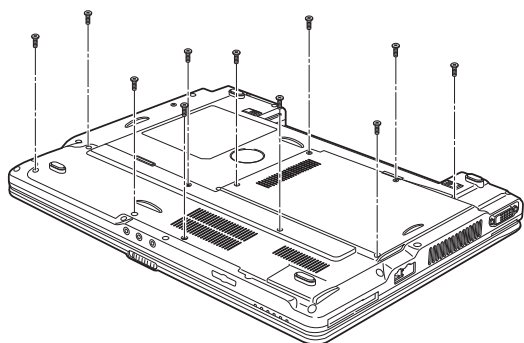
●交換したメモリの確認(☞53ページ)

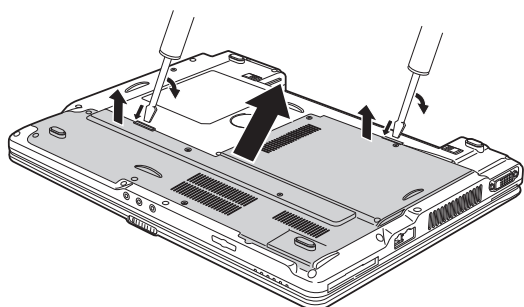
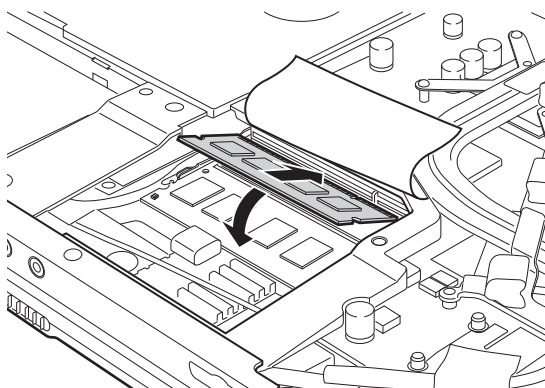
メモリを取り扱うときに気をつけること

- 装着の前には、必ず本機の電源をOFF(シャットダウン)にしてください。
- 装着の前には、必ずバッテリパックとACアダプタを取り外してください。
- メモリは静電気にたいへん弱い部品です。
  静電気を帯びた物や人の手でメモリに触れると、メモリが壊れる恐れがあります。メモリを取り扱うときは、体の静電気を取り除いてください。
  (☞40ページ)
- メモリの端子部には触れないでください。
  端子部分に手を触れると、接触不良によりメモリが壊れる恐れがあります。
- メモリはたいへん壊れやすい部品です。取り外したメモリは大切に保管してください。

メモリの増設

1. ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返しにします。

2. ボトムカバーを固定しているネジを取り外します。

3. ボトムカバーのつめ(2つ)に、マイナスドライバーなどを差し込み、「てこの原理」でメモリモジュールカバーを軽く持ち上げます。

4. ボトムカバーを取り外します。

5. 新しいメモリをメモリスロットのコネクタ部へ差し込み、メモリのコネクタに差し込まれていない部分を「カチッ」と音がするまで下に押し込みます。

・メモリの向きを間違えないようにしてください。
・メモリ下部の切り欠きがメモリスロットの凸部に合うようにしてください。

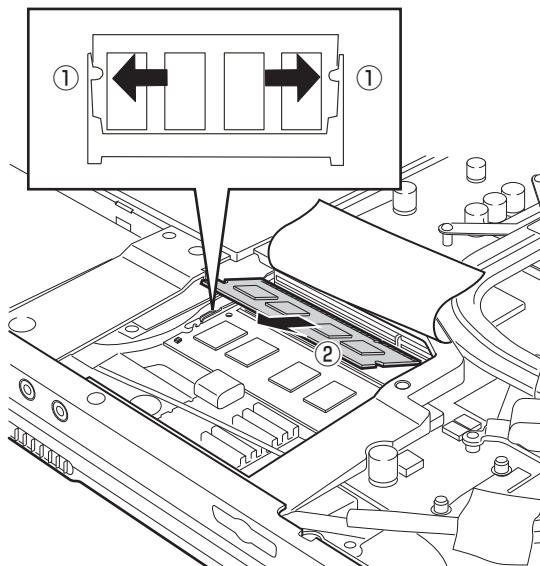
6. ボトムカバーを取り付け、ネジで固定します。

ボトムカバー全体を上から軽く押し、確実に取り付けらていることを確認してから、ネジを取り付けてください。

7. バッテリパックを装着し、ACアダプタを接続します。

メモリの交換

1. 「メモリの増設」(☞左段)の手順1 ～ 4をおこないます。

2. メモリを固定しているフックを開いて(①)、メモリスロットからメモリを取り外します(②)。

フックを開くときは、無理な力を入れず慎重におこなってください。力を入れすぎると、曲がる恐れがあります。

3. 「メモリの増設」(☞左段)の手順5 ～ 6をおこないます。

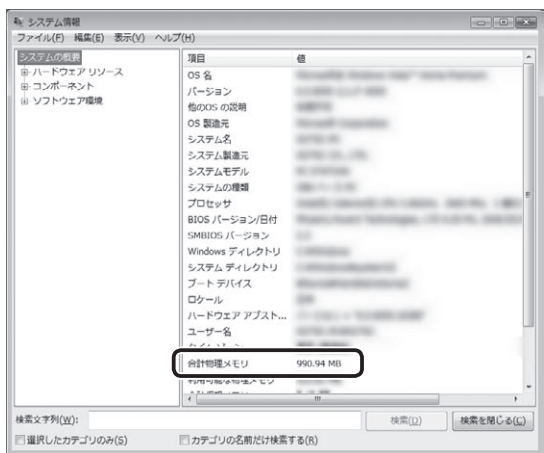
増やしたメモリを確認する

電源をONにして、メモリが増えているか確認しましょう。

1. **本機の電源をONにします。**

2. **［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］を選択します。**

【システム情報】ウィンドウが表示されます。ウィンドウの表示後しばらくすると、システム情報の各項目が表示されます。

3. **ここに表示されている数値を確認します。**

表示されたメモリの数値が増えていない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、また、このパソコンで使えるメモリかどうかを確認してください。

その他のモジュールの交換

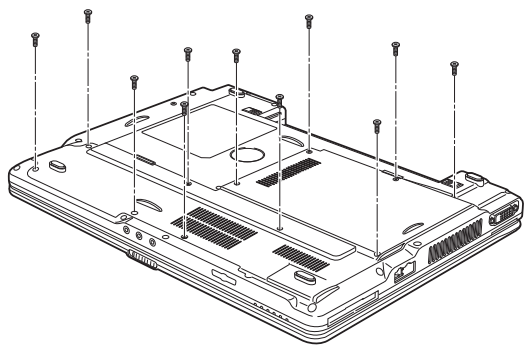
メモリ以外にも、本製品には交換できるモジュールがあります。ここでは、モジュールの交換方法を説明します。

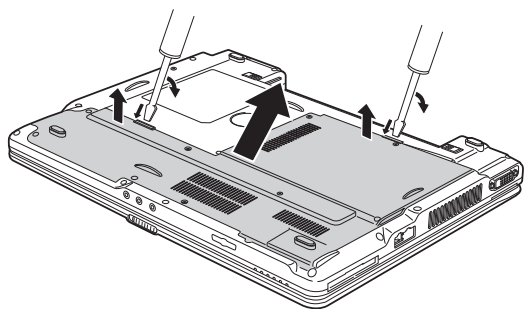
注意

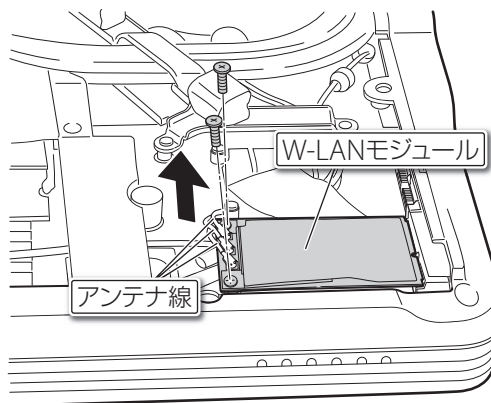
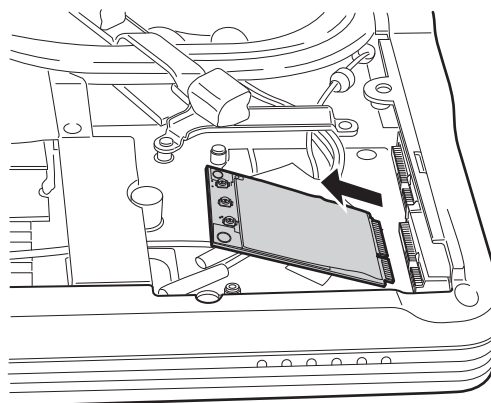
「メモリの増設」と同じように、モジュールの取り扱いは慎重におこなってください。(☞51ページの注意)

ワイヤレスLAN(W-LAN)の交換

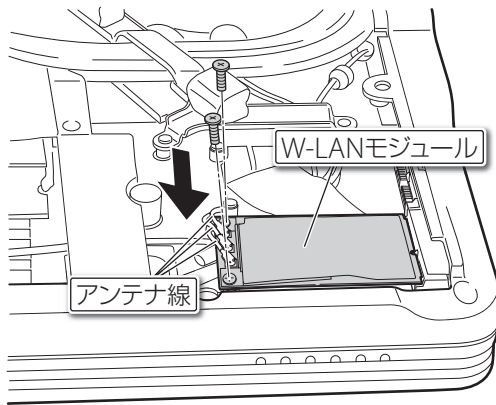
1. ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返しにします。

2. ボトムカバーを固定しているネジを取り外します。

3. ボトムカバーのつめ(2つ)に、マイナスドライバーなどを差し込み、「てこの原理」でボトムカバーを軽く持ち上げます。

4. ボトムカバーを取り外します。

5. W-LANモジュールに接続されているアンテナ線を取り外します。

6. W-LANモジュールを固定しているネジを取り外します。

7. W-LANスロットから、W-LANモジュールを取り外します。

8. 新しいW-LANモジュールを、W-LANスロットに取り付けます。

9. 手順6で取り外したネジを取り付け、W-LANモジュールを固定します。

10. アンテナ線をW-LANモジュールに接続します。

- W-LANモジュールには、アンテナ線を接続するコネクタが、2箇所あるものと3箇所あるものがあります。
- コネクタが2箇所ある場合は、「MAIN」のコネクタに黒色ケーブル、「AUX」のコネクタに灰色ケーブルを接続し、白色ケーブルは他のスペースに固定してください。
- コネクタが3箇所ある場合は、「1」のコネクタに黒色ケーブル、「2」のコネクタに灰色ケーブル、「3」のコネクタに白色ケーブルを接続してください。

11. ボトムカバーを取り付け、ネジで固定します。

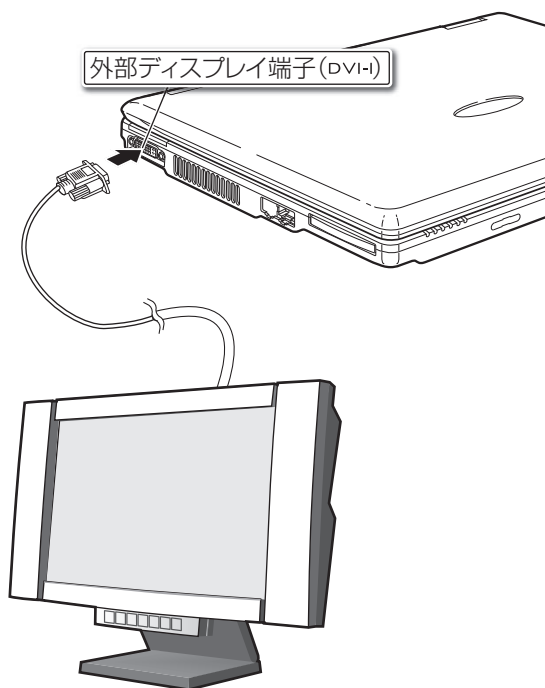
ボトムカバー全体を上から軽く押し、確実に取り付けられていることを確認してから、ネジを取り付けてください。

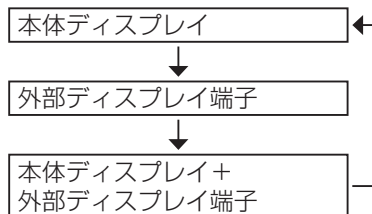
外部ディスプレイを接続する

本機には、外部ディスプレイを接続するためのコネクタが装備されています。

1. 本機の電源をOFFにします。

・機器の接続の前に、本機の電源は必ずOFFにしてください。
・スリープや休止状態といった省電力機能が働いている状態では接続しないでください。
省電力機能の状態の場合は、再度電源をONにし、[シャットダウン]を選択しパソコンの電源をOFFにしてください。(☞16ページ)

2. 本機の外部ディスプレイ端子(DVI-I)に、DVI-D/DVI-A/DVI-I対応の外部ディスプレイのケーブルを接続します。

・本機の電源をONにしてから、外部ディスプレイの電源をONにしてください。
・外部ディスプレイを接続した場合Windowsのコントロールパネルの[画面]で、「ディスプレイの種類」の設定変更が必要なときがあります。
・本体ディスプレイと外部ディスプレイを同時表示する場合、接続する外部ディスプレイは、設定したデスクトップ領域(解像度)をサポートするものを使用してください。

[Fn]+[F5]キーを1回押すごとに、次の順に映像の表示先が切り替わります。

「おかしいな?」と思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください

トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。すぐに電源を切ったり、むやみにタッチパッドのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。
なんらかのメッセージが表示された場合は、そのメッセージを書きとめてください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「困ったときのチェックリスト」(59ページ)

本書に該当する項目があれば、本書の指示に従って解決してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」(58ページ)

本書以外にも、弊社Webサイト「ソーテックオンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフトヘルプとサポート」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows Vistaおよびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞「リカバリ」(64 ~ 79ページ)

本機をご購入時の状態に戻します。(この作業をリカバリといいます)
リカバリの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 ソーテックカスタマセンタに連絡しましょう

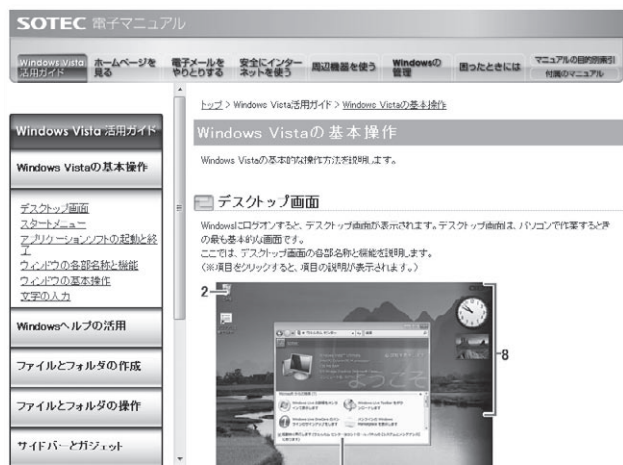
以上の方法でどうしても解決できないときは、ソーテックカスタマセンタに連絡してください。
お電話の前に、「ケア・シート」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebページおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ SOTEC電子マニュアル

（デスクトップ画面上の[SOTEC電子マニュアル]アイコンをダブルクリック）
Windows Vistaの基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

■ マイクロソフトヘルプとサポート

（http://www.microsoft.com/japan/support/）
Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebページからダウンロードできます。

■ ソーテックオンラインサポート

（http://www.sotec.co.jp/support/）
弊社製品の仕様の公開や、ソーテックカスタマセンタに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

■ ヘルプとサポート

（[スタート]ボタン→[ヘルプとサポート]）
Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。

困ったときのチェックリスト

トラブルが発生した、または発生したと思ったら、次のチェックリストでパソコンの症状をチェックしてください。

1 パソコンの電源はONになりますか？

●ONになりません（☞60ページ）

ONになります

2 Windowsは起動しますか?

●セーフモードで起動します（☞60～61ページ）
●起動しません（☞61ページ）

正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか?

●表示されますが、正常ではありません（☞60～62ページ）
●セーフモードで表示されます（☞60～61ページ）

正常に表示されます

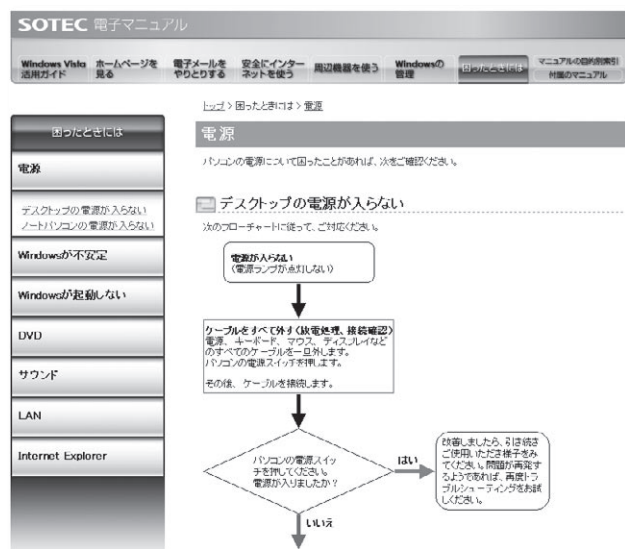
4 タッチパッド･マウス･キーボードは正常ですか?

●正常ではありません（☞62～63ページ）

正常に動作します

SOTEC電子マニュアルを起動してください。

SOTEC電子マニュアルで調べる

Windowsの使用中に起こるトラブルや質問は、「SOTEC電子マニュアル」の「困ったときには」に記載しています。必要に応じて参照してください。

よくある質問集

本機の使用中に遭遇する、よくある質問や問題をまとめました。ソーテックカスタマセンタへお問い合わせいただく前に、確認してください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

A. ・**電源が交流100V～240Vであれば使用できます(プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要)。**
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

パソコンが動かない

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

A. ・**ACアダプタは正しく接続されていますか?**
ACアダプタのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプタの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・**バッテリは十分に充電されていますか?**
ACアダプタを接続して、バッテリを充電してからご使用ください。

・**ACアダプタが故障している可能性があります。**
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプタが故障している可能性があります。ソーテックカスタマセンタへお問い合せください。

・**本機が故障している可能性があります。**
ソーテックカスタマセンタへお問い合せください。

Q.3 画面に何も表示されない

A. ・**本機の電源はONになっていますか?**
本機の電源スイッチをONにしてください。

・**表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか?**
本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。または、Fn+F5キーを同時に押して、表示モードを本体ディスプレイに戻してみてください。

Q.4 パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

A. ・**パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。**
リカバリを試してください。
ただし、リカバリを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクドライブに保存されたデータは全て消去されてしまいます。リカバリ方法は、「リカバリ」をご参照ください。(☞64～79ページ)
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。

・**フロッピーディスクドライブを接続している場合、フロッピーディスクが入っている可能性があります。**
フロッピーディスクを取り出して、キーボードのいずれかのボタンを押してください。

・**これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクドライブの物理的な接触不良の可能性もありますので、ソーテックカスタマセンタまでお問い合わせください。**

Q.5 パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A. ・**この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。**
セーフモードで起動した場合、ドライバや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.6 周辺機器を取り付けたらWindows Vistaが起動しない

A. ・**周辺機器のデバイスドライバが原因で、Windows Vistaが起動できなくなった可能性があります。**
「セーフモード」でWindows Vistaを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバを無効にしてください。この方法でWindows Vistaが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバをインストールするか、デバイスドライバ自体を削除する必要があります。

「セーフモード」でデバイスドライバを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

①本機の電源をONにすると、「SOTEC」ロゴが表示されます。
②「SOTEC」ロゴが消えた直後、画面が黒くなったら F5 キーを数回押すと、[Windows ブートマネージャ]が表示されます。
③次に F8 キーを押すと[詳細ブート　オプション]が表示されますので、キーボードを操作して[セーフモード]を選択し、 Enter キーを押します。
④ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindows Vistaが起動します。
⑤[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[デバイスマネージャ]より、[デバイスマネージャ]ダイアログを表示させます。
⑥最近追加した周辺機器の項目を選択し、ダブルクリックします。
⑦表示されたダイアログの[ドライバ]タブをクリックし、[無効]ボタンをクリックします。
⑧「このデバイスを無効にしますか？」と表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

再起動すると、通常モードでWindows Vistaが起動します。

・**この方法でもWindows Vistaが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。**

Q.7 終了できない

A. ・**電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。**
その際、必ず各種アクセスLEDがついていないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合は、電源ケーブルを抜き、バッテリパックを取り外してください。

パソコンを使っていたら

■ 画面上のトラブル

Q.8 表示される日付や時刻が正しくない

A. ・**日付や時刻が間違った設定になっている可能性があります。**
通知領域の時刻をクリックして「カレンダー」を起動し、[日付と時刻の設定の変更]をクリックします。表示された【日付と時刻】ダイアログで正しい日付や時刻を設定します。

・**本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。**
マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、ソーテックカスタマセンタに修理依頼をおこなってください。

Q.9 日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A. ・**電池が容量切れになっている可能性があります。**
日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。

電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、ソーテックカスタマセンタに修理依頼をおこなってください。

■ ディスプレイのトラブル

Q.10 いきなり画面が消えた

A. ・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。
電源スイッチを押してください。

・ACアダプタのプラグが電源コンセントから外れていませんか？
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・バッテリが充電されていない可能性があります。
バッテリを十分に充電してから、接続してください。

Q.11 画面表示にムラがある

A. ・ディスプレイを見やすい角度に調整してください。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。ムラがあるのは故障ではありません。

■ タッチパッド、マウス、キーボードのトラブル

Q.12 マウスポインタが動作しない

A. ・接続ケーブルが外れている可能性があります。
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。

・本機の電源をONにしたあとにマウスを接続している可能性があります。
一度パソコンの電源をOFFにしてマウスを接続した後、パソコンの電源をONにしてください。

・適正なマウスドライバを使用していない可能性があります。
付属のマウス以外を使用する場合は、専用のマウスドライバが必要なものがあります。使用するマウスに付属のマウスドライバを正しくインストールしてください。

Q.13 キー入力中に突然カーソルが別の場所に移動してしまう

A. ・タッチパッドの表面付近では、小さな反動でもカーソルが移動してしまうことがあります。
親指がタッチパッドの表面付近にあるときなど、タッチパッドの表面のタッピング機能が反応することがあります。

Q.14 タッチパッドを使用したとき、マウスカーソルの動きが悪いことがある

A. ・タッチパッドの表面が埃や汗などによって汚れていると、このような現象が発生することがあります。
清潔な布などで、タッチパッドの表面の汚れをふき取ってからご使用ください。

Q.15 デバイスマネージャ上で日本語106（109）キーボードが、英語101（102）キーボードと表示されてしまう

A. ・この現象は、Windowsのシステムがプラグアンドプレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。
回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。

①[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[キーボード]を選択して【キーボードのプロパティ】ダイアログを表示させます。
②[ハードウェア]タブを選択し「101/102英語キーボード」の項目をダブルクリックします。
③[ドライバ]タブを選択し、[ドライバの更新]を選択します。
④「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」を選択します。
⑤「コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択します」を選択します。
⑥「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外してください。
⑦「モデル」欄から「日本語PS/2キーボード（106/109キー）」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
⑧[はい]ボタンをクリックしてドライバを更新し、パソコンを再起動してください。

Q.16 押したキーと違う文字が表示される

A. ・**CapsLock、ひらがな／カタカナなどが間違って押されている可能性があります。**
目的の文字がタイプされるようにShift＋CapsLock、Shift＋Ctrl＋ひらがな／カタカナキーを押してください。

・**キーボードのドライバが適正でない可能性があります。**
キーボードのドライバがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバを更新してください。

・**NumロックLEDが点灯していませんか？**
NumロックLEDが点灯している時は、キーボードの一部がテンキーとして動作します。テンキー機能を使用しない時は、Fn＋NumLkキーを押し、ロック状態を解除してください。

Q.17 テンキーが入力できない

A ・**テンキーが無効になっている可能性があります。**
Fn＋NumLkキーを押し、テンキーを有効にします。

リカバリの準備をする

使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリ後に同じ環境で使えるようにします。

ファイルのバックアップ

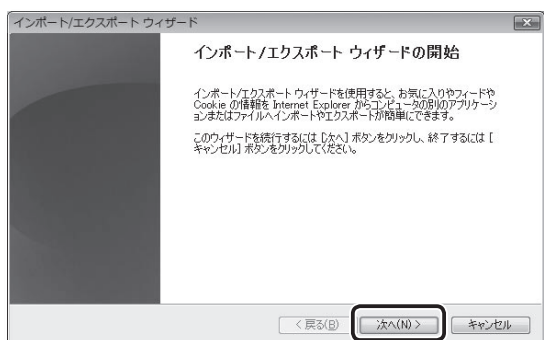
リカバリを実行すると、ご購入後にお客様が作成・追加したデータはすべて消去され、製品出荷時の状態に戻ります。お客様が作成・追加したデータは、外部記憶メディア(フロッピーディスク、光ディスク、USBドライブなど)に保存してください。

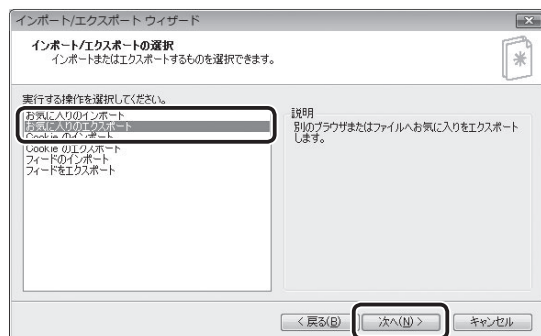
『お気に入り』のバックアップ

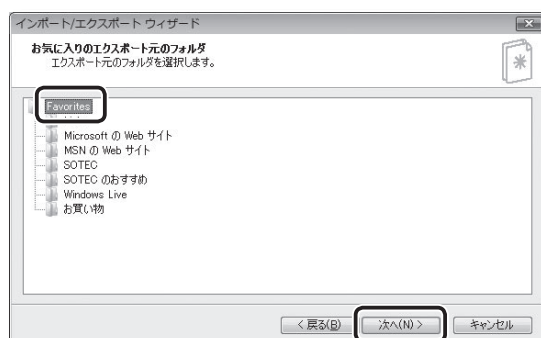
Internet Explorerの『お気に入り』は、次の手順でバックアップを作成します。

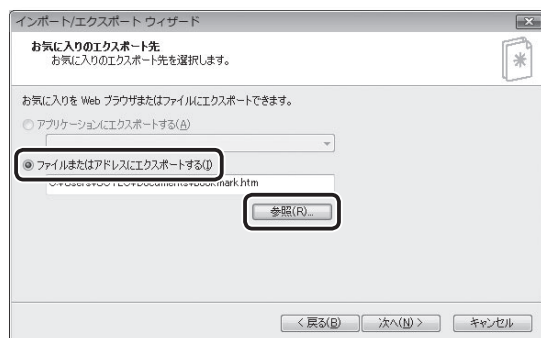
1. **Internet Explorerが起動した状態で、 ボタンをクリックし、表示されるメニューから[インポートおよびエクスポート]を選択します。**

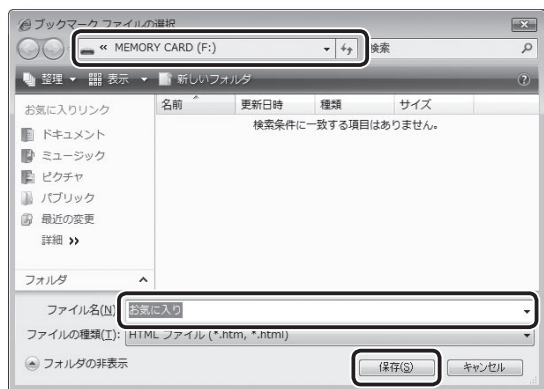
【インポート/エクスポート ウィザード】ダイアログが表示されます。

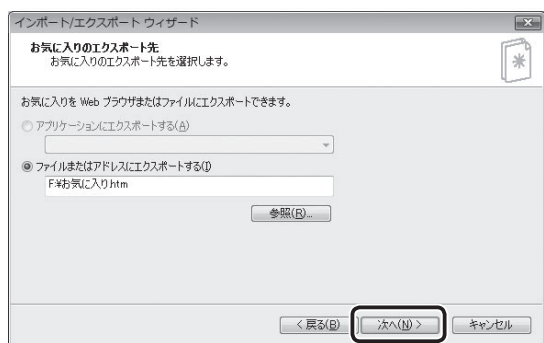
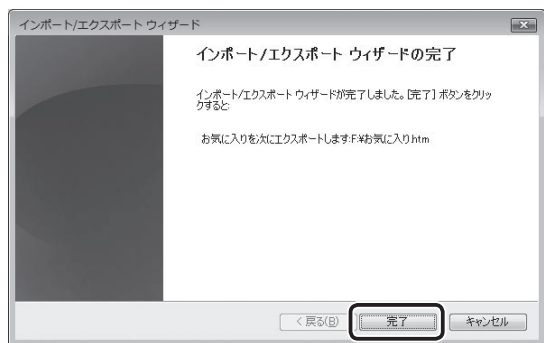
2. **[次へ]ボタンをクリックします。**

【インポート/エクスポートの選択】ダイアログが表示されます。

3. **一覧より[お気に入りのエクスポート]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

【お気に入りのエクスポート元のフォルダ】ダイアログが表示されます。

4. **[Favorites]フォルダを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

【お気に入りのエクスポート先】ダイアログが表示されます。

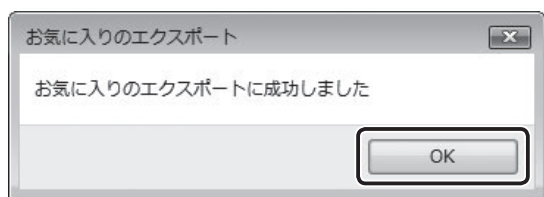
5. **[ファイルまたはアドレスにエクスポートする]を選択して、[参照]ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

6. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。**

【お気に入りのエクスポート先】ダイアログに戻ります。

7. **[次へ]ボタンをクリックします。**

【インポート/エクスポートウィザードの完了】ダイアログが表示されます。

8. **[完了]ボタンをクリックします。**

お気に入りのエクスポートを開始します。

終了すると、【お気に入りのエクスポートに成功しました】ダイアログが表示されます。

9. **[OK]ボタンをクリックします。**

以上で『お気に入り』のバックアップ作成は完了です。

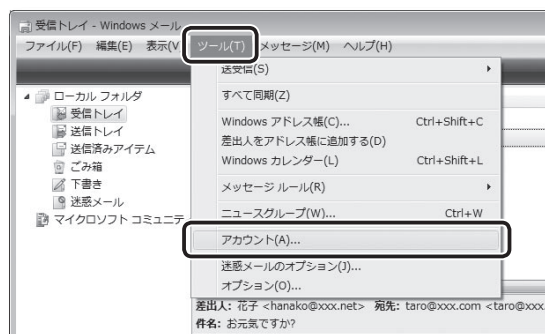
Windows メールのバックアップ

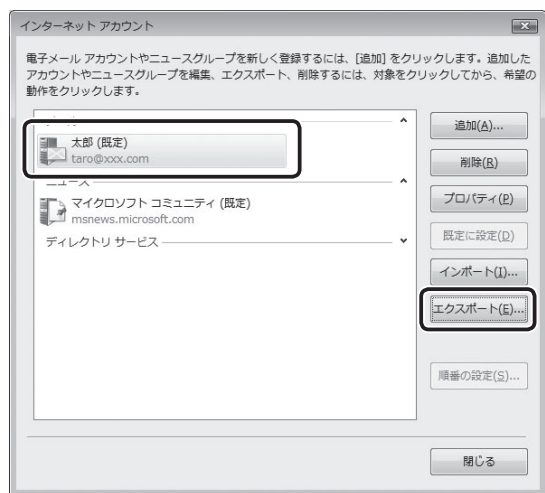
Windows メールのバックアップは、メールアカウント、メッセージ、アドレス帳に分けておこないます。

複数のユーザーでWindows Vistaを使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

■ メールアカウントのバックアップ

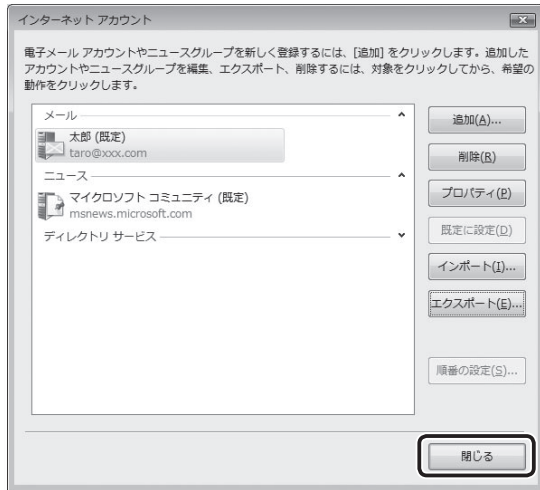
メールアカウントのバックアップは、次の手順で作成します。

1. **Windows メールが起動した状態で、[ツール]→[アカウント]の順に選択します。**

【インターネット アカウント】ダイアログが表示されます。

2. **アカウントの一覧から、バックアップを作成したいメールアカウントを選択して、[エクスポート]ボタンをクリックします。**

【インターネット アカウントのエクスポート】ダイアログが表示されます。

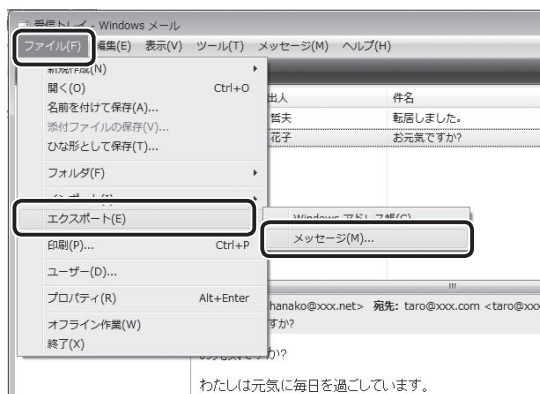
3. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。**

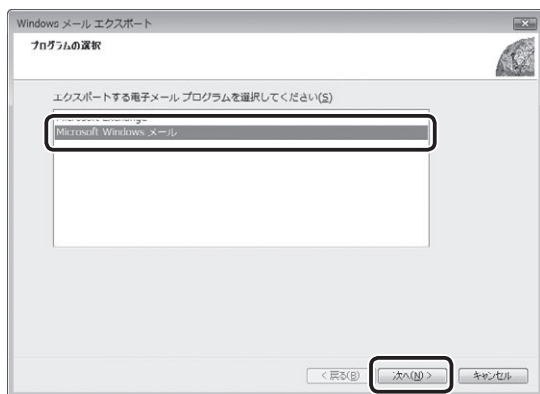
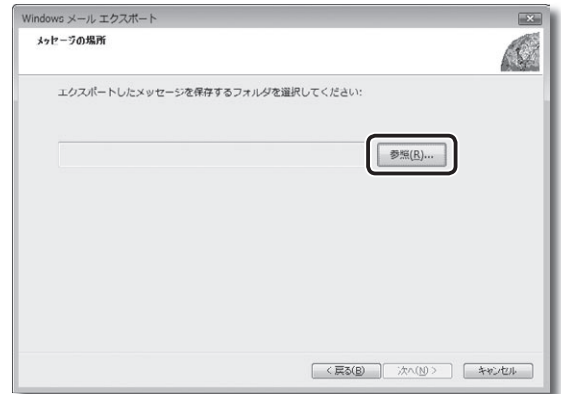
【インターネット アカウント】ダイアログに戻ります。

4. ［閉じる］ボタンをクリックします。

以上でメールアカウントのバックアップ作成は完了です。

■ メッセージのバックアップ

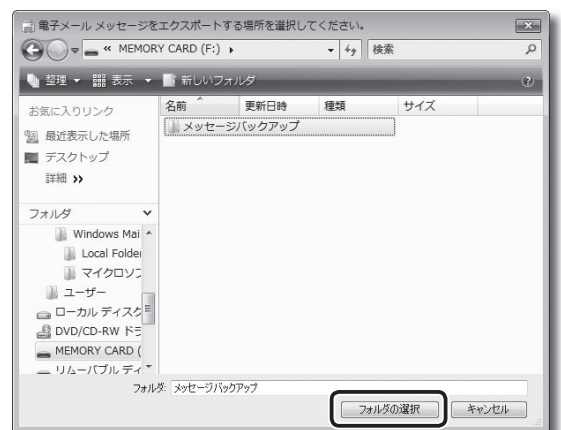
メッセージのバックアップは、次の手順で作成します。

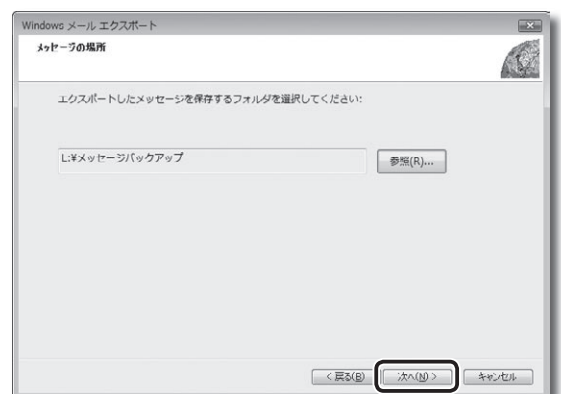
1. Windows メールが起動した状態で、［ファイル］→［エクスポート］→［メッセージ］の順に選択します。

【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

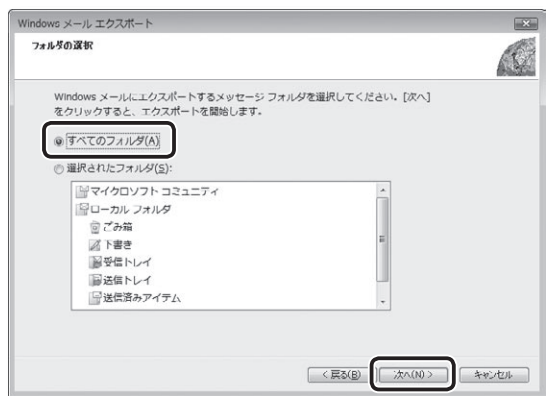
2. 一覧から［Microsoft Windows メール］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

3. ［参照］ボタンをクリックします。

【電子メール メッセージをエクスポートする場所を選択してください。】ダイアログが表示されます。

4. ツールバーに表示されている［新しいフォルダ］ボタンをクリックして、外部記憶メディア内に任意の名前でフォルダを作成します。

5. 作成したフォルダを選択して、［フォルダの選択］ボタンをクリックします。

【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

6. ［次へ］ボタンをクリックします。

【フォルダの選択】ダイアログが表示されます。

7. **[すべてのフォルダ]にチェックが入っていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。**

メッセージのエクスポートが開始されます。

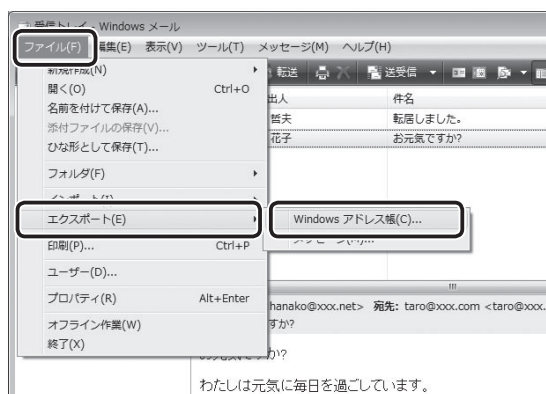
終了すると【エクスポートの完了】ダイアログが表示されます。

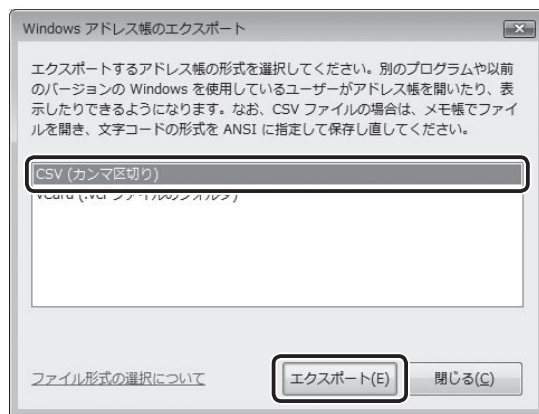
8. **[完了]ボタンをクリックします。**

以上でメッセージのバックアップ作成は完了です。

■ アドレス帳のバックアップ

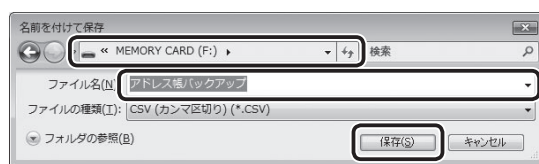
アドレス帳のバックアップは、次の手順で作成します。

1. **Windows メールが起動した状態で、[ファイル]→[エクスポート]→[Windows アドレス帳]の順に選択します。**

【Windows アドレス帳のエクスポート】ダイアログが表示されます。

2. **一覧より[CSV(カンマ区切り)]を選択して、[エクスポート]ボタンをクリックします。**

【CSVのエクスポート】ダイアログが表示されます。

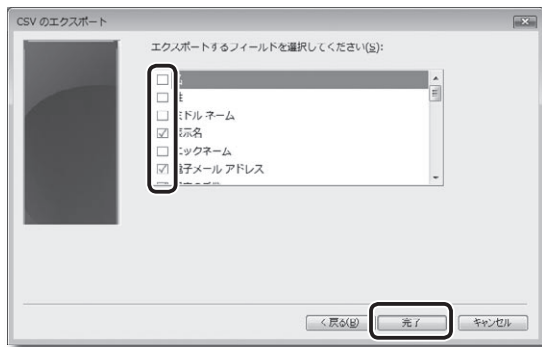
3. **[参照]ボタンをクリックします。**

【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

4. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。**

【CSVのエクスポート】ダイアログに戻ります。

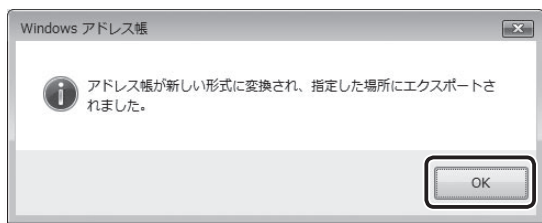
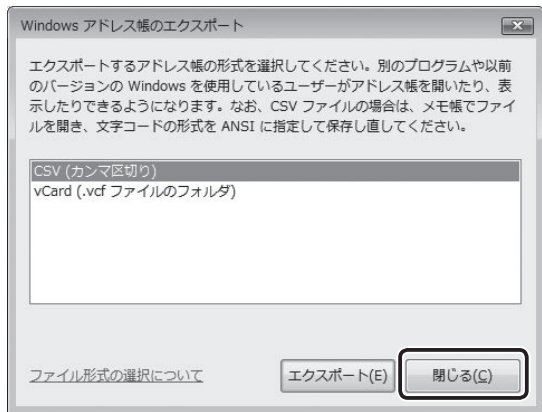
5. **[次へ]ボタンをクリックします。**

【エクスポートするフィールドを選択してください】ダイアログが表示されます。

6. **エクスポートするフィールド(項目)にチェックをいれて、[完了]ボタンをクリックします。**

アドレス帳のエクスポートが開始されます。

終了するとエクスポートが完了したことを知らせるダイアログが表示されます。

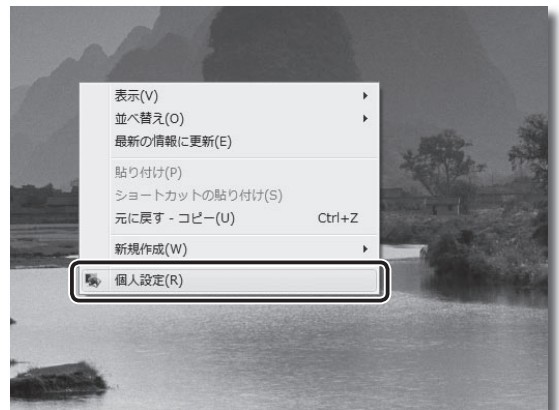
エクスポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま[完了]ボタンをクリックしてください。

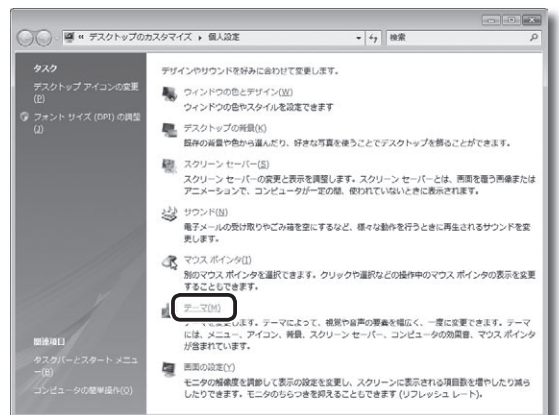
7. **[OK]ボタンをクリックします。**

8. **[閉じる]ボタンをクリックします。**

以上でアドレス帳のバックアップ作成は完了です。

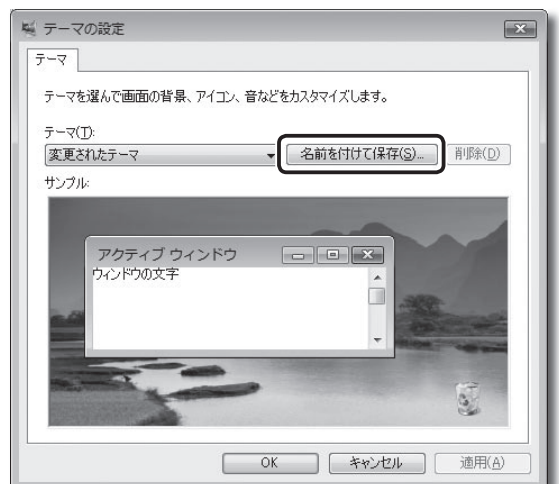
デスクトップ画面設定のバックアップ

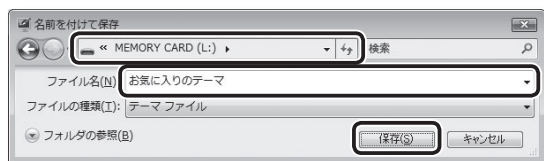
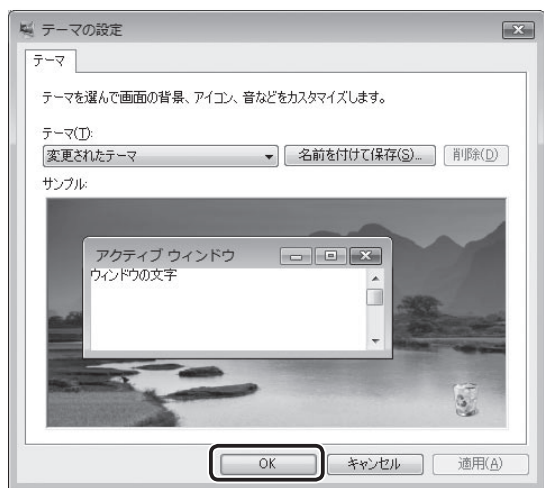
現在使用しているデスクトップ画面の設定は、次の手順でバックアップを作成します。

お客様が作成した画像を壁紙に使用している場合は、別途画像ファイルのバックアップを取ってください。

1. **デスクトップ上で右クリックして、表示されるメニューから[個人設定]を選択します。**

【個人設定】ウィンドウが表示されます。

2. **[テーマ]をクリックします。**

【テーマの設定】ダイアログが表示されます。

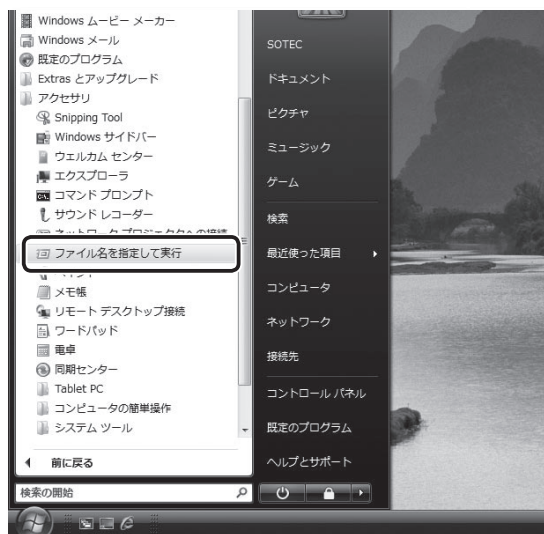
3. **[名前を付けて保存]ボタンをクリックします。**

【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

4. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存]ボタンをクリックします。**

【テーマの設定】ダイアログに戻ります。

5. **[OK]ボタンをクリックします。**

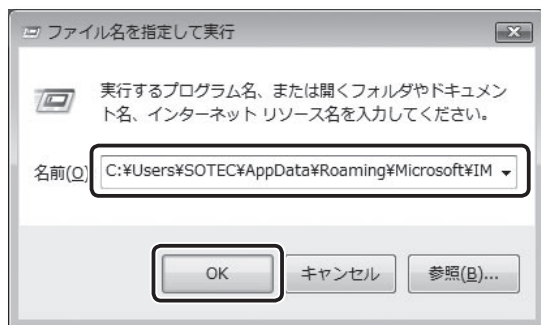
以上でデスクトップ画面設定のバックアップ作成は完了です。

ユーザー辞書のバックアップ

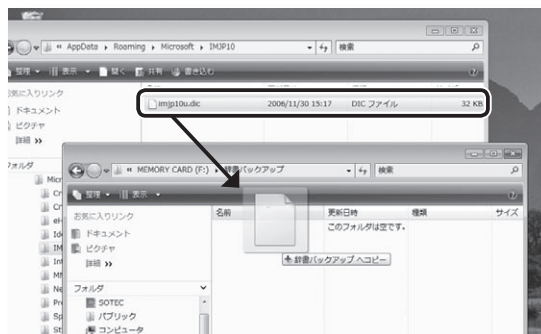
現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. **[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。**

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. **[名前]欄に[C：¥Users¥*****¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10]と入力して、[OK]ボタンをクリックします。**

(*****には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「SOTEC」など)

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

・ユーザー辞書の保存先をほかの任意のフォルダへ変更している場合は、変更先のフォルダを開きます。
・ユーザー辞書の保存先は下記の方法で確認することができます。
言語バーのボタンをクリックして、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
[辞書/学習]タブをクリックし、画面中段の[辞書名]に表示されているのが、ユーザー辞書の保存先です。

3. **[imjp10u]ファイルを、異なる任意のファイル名で外部記憶メディアに保存します。**

ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

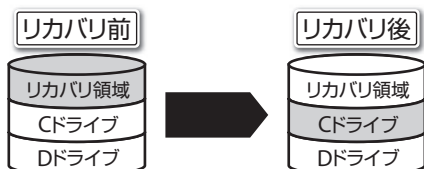
リカバリを実行する

ハードディスク内にあるリカバリ領域を使用して、パソコンを復旧します。
リカバリを実行すると、工場出荷時の状態に戻ります。
（別途アプリケーションソフトのインストールを必要とする場合があります。）

リカバリのモードについて

復旧方法には、「標準」モードと、「高度」モードの2種類があります。

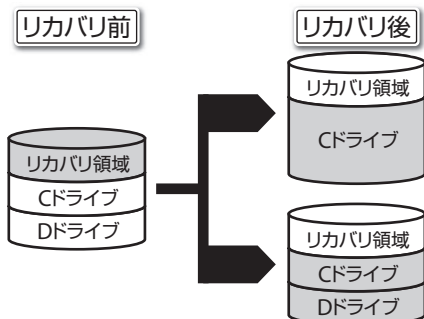
■ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。

この方法でリカバリした場合、リカバリ後はCドライブのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

■ 高度モード

Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。復旧方法(リカバリのタイプ)は、2つの方法から選択することができます。

・HDDの全体をCドライブとする
ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。

・HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする
ハードディスク全体を2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。

この方法でリカバリした場合、リカバリ後はCドライブ、Dドライブ両方のデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

リカバリを実行する

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、パソコンの電源をONにします。**

"SOTEC"ロゴの入った画面が表示されます。

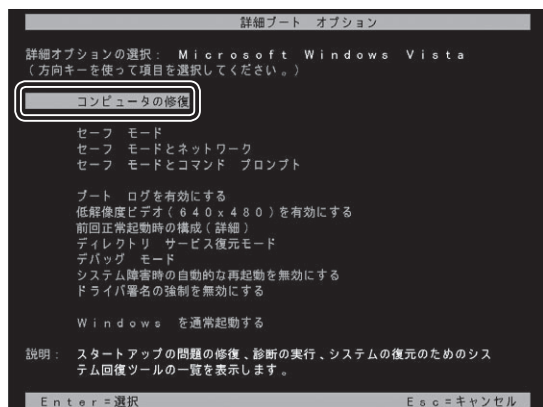
本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリを実行できません。必ず[終了オプション]→[シャットダウン]を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリを実行してください。

2. **"SOTEC"ロゴが消えた直後、画面が黒くなりましたらF5キーを数回押し、【Windows ブートマネージャ】が表示されたあとF8キーを押します。**

【詳細ブート　オプション】画面が表示されます。

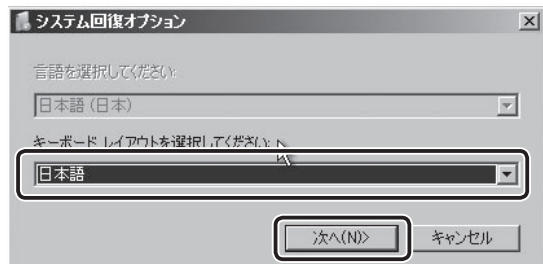
・Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度上記手順をおこなってください。
・"SOTEC"ロゴの入った画面は、表示時間が大変短いです。F5キーを押すタイミングは"SOTEC"ロゴが消えた直後ですが、押すタイミングが合わない場合は、"SOTEC"ロゴが表示されてから【Windows ブートマネージャ】画面が表示されるまでの間、F5キーを断続的に押し続けてみてください。

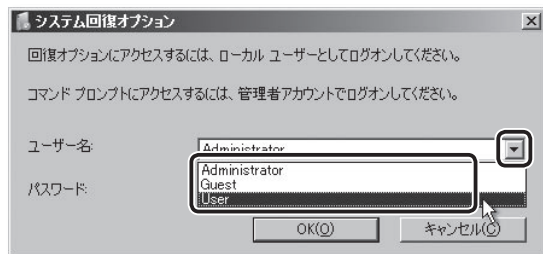
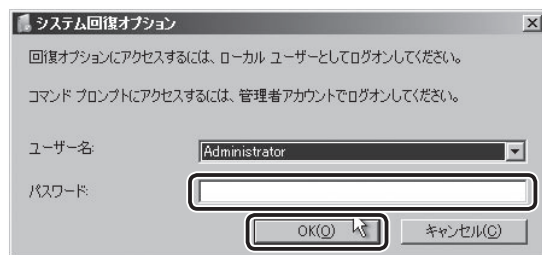
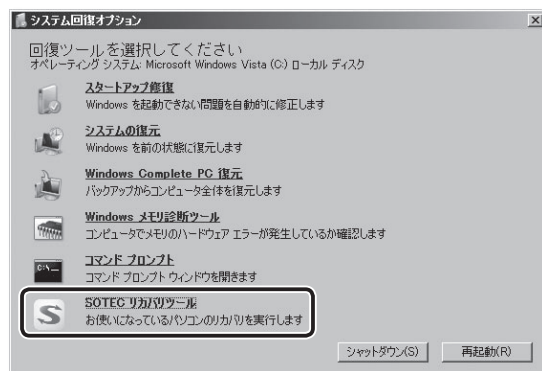
BIOSの設定を変更した場合、リカバリが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリを実行してください。

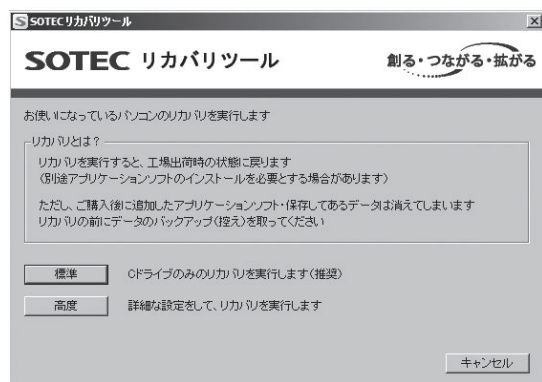
3. [コンピュータの修復]を選択して、Enter キーを押します。

Windowsが、コンピュータの修復モードで起動します。
起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。

4. 次のように設定されていることを確認してください。

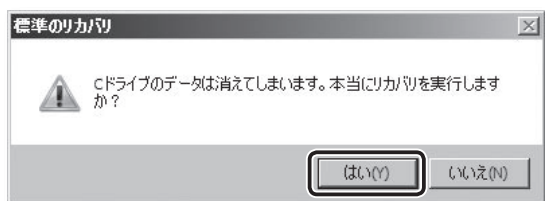
「言語を選択してください」：日本語
※既に[日本語]が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

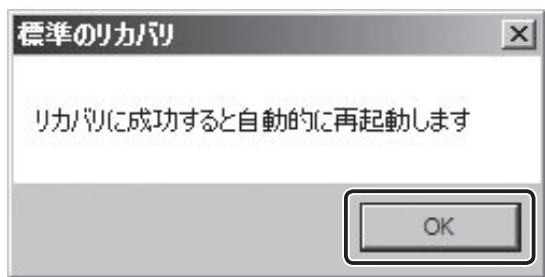
「キーボード レイアウトを選択してください」：日本語

確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

5. ▼をクリックして、表示されるユーザー一覧からユーザーを選択します。

6. パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。

7. 回復ツールの選択一覧から、[SOTEC リカバリツール]をクリックします。

【SOTECリカバリツール】が起動します。

8. [標準]または[高度]ボタンのいずれかをクリックします。

リカバリを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので[はい]をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン]もしくは[再起動]をクリックして、リカバリを終了してください。

■ [標準]を選択したとき

1. [はい]ボタンをクリックします。

リカバリを中止する場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK]ボタンをクリックして、【SOTEC リカバリツール】に戻ります。
[キャンセル]ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい]をクリックして、71ページー手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン]もしくは[再起動]をクリックして、リカバリを終了してください。

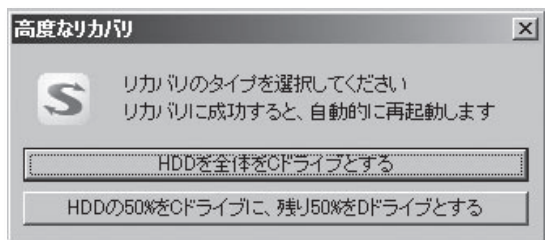
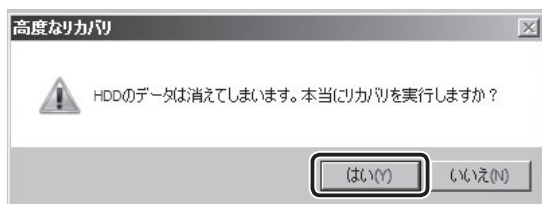
2. [OK]ボタンをクリックします。

リカバリが開始されます。

リカバリ完了直後に、Dドライブフォルダが表示されることがあります。Dドライブフォルダが表示された場合は、右上の☒をクリックしてウィンドウを閉じてください。

リカバリが完了すると、コンピュータが自動的に再起動します。

再起動後に、Windowsセットアップが始まります。
セットアップ終了後に、再起動をもとめるダイアログが表示されます。画面指示にしたがって再起動してください。

■ [高度]を選択したとき

1. [HDDを全体をCドライブとする]または[HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする]のいずれかを選択してください。

2. [はい]ボタンをクリックします。

リカバリが開始されます。開始後、X:¥windows¥system32¥cmd.exeが表示される場合があります。表示された場合は、Enterキーを押します。

リカバリを中止する場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK]ボタンをクリックして、【SOTEC リカバリツール】に戻ります。
[キャンセル]ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい]をクリックして、71ページー手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン]もしくは[再起動]をクリックして、リカバリを終了してください。

リカバリ完了直後に、Dドライブフォルダが表示されることがあります。Dドライブフォルダが表示された場合は、右上の☒をクリックしてウィンドウを閉じてください。

リカバリが完了すると、コンピュータが自動的に再起動します。

再起動後に、Windowsセットアップが始まります。
セットアップ終了後に、再起動をもとめるダイアログが表示されます。画面指示にしたがって再起動してください。

・Windows Vista修復CDについて

ハードディスクのリカバリができない場合や、Windowsが起動しない場合は、本製品に付属の「Windows Vista修復CD」を使います。
①本機の電源がONの状態で、Windows Vista修復CDを光ディスクドライブに挿入します。
②「Press any key boot from CD or DVD...」と表示されたら、Spaceキーを押します。
※Windows Vistaが起動した場合は、[スタート]ボタン→▶→[再起動]を選択します。
③【システム回復オプション】画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
④次の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
⑤次の画面が表示されたら、以降の手順は「リカバリを実行する」(☞70ページ)にしたがってリカバリを行います。

パソコンの環境を元に戻す

リカバリ終了後、パソコンの環境をリカバリ前に使用していた状態に戻します。

アプリケーションソフトの設定

本製品に付属のソフトウェアは、「SOTECセットアップランチャ」を使用してインストールします。

1. **デスクトップにある、「SOTECセットアップランチャ」アイコンをダブルクリックします。**

【SOTECセットアップランチャ】が起動します。

2. **インストールしたいアプリケーションをクリックし、[実行]ボタンをクリックします。**

インストールが開始されます。

3. **画面の指示にしたがってインストールをおこないます。**

・[実行]ボタンをクリックすると、途中で中断した場合でも、状態欄には[実行済み]と表示されます。
・本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。

バックアップしたファイルを元に戻す

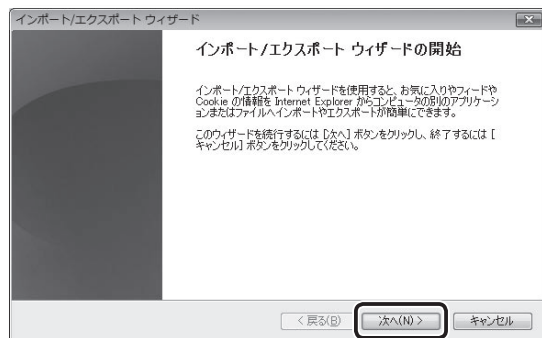
「リカバリの準備をする」(☞64ページ)でバックアップをとったデータを元に戻します。外部記録メディアにバックアップをとったデータは、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

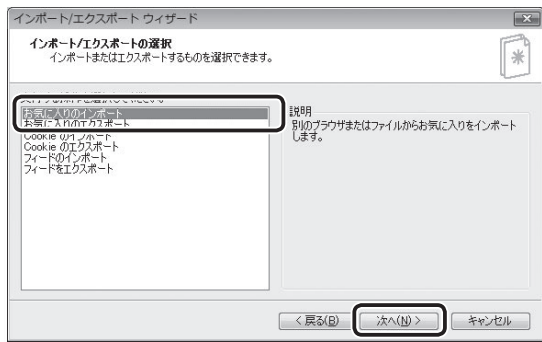
『お気に入り』を元に戻す

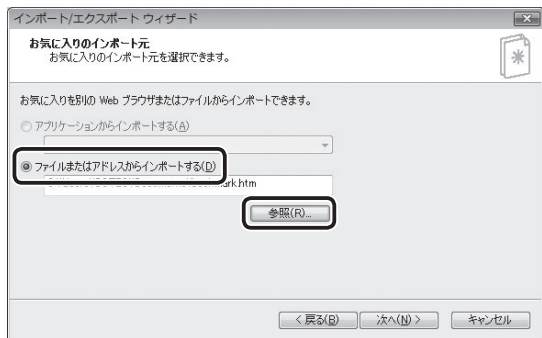
Internet Explorerの『お気に入り』バックアップは、次の手順で元に戻します。

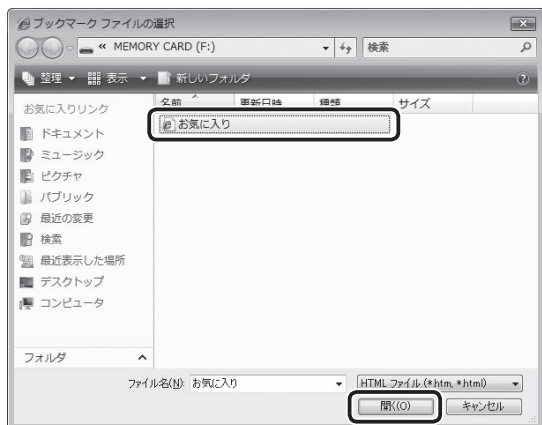
1. **Internet Explorerが起動した状態で、ボタンをクリックし、表示されるメニューから[インポートおよびエクスポート]を選択します。**

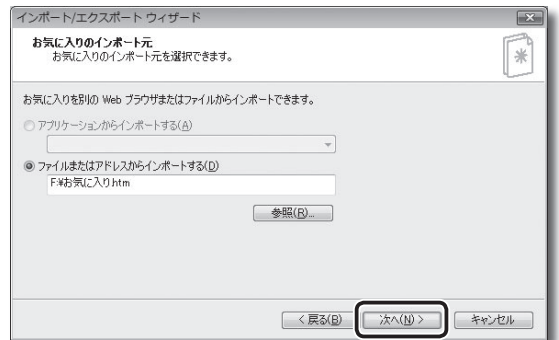
【インポート/エクスポート ウィザードの開始】ダイアログが表示されます。

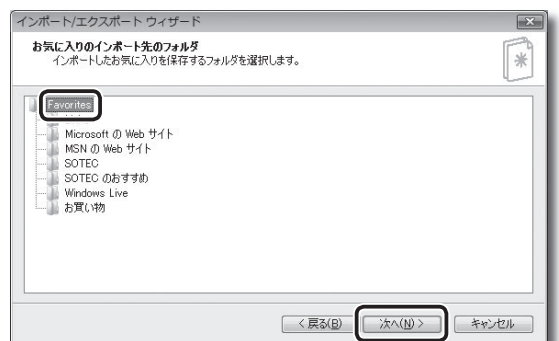
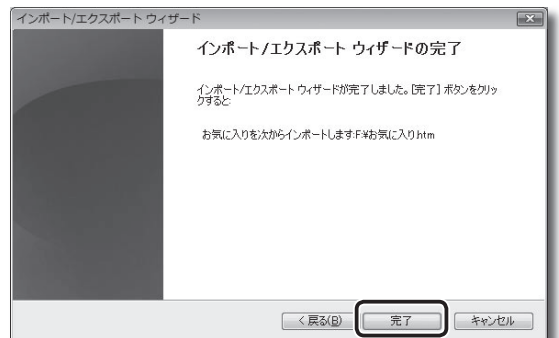
2. **[次へ]ボタンをクリックします。**

【インポート/エクスポートの選択】ダイアログが表示されます。

3. 一覧から[お気に入りのインポート]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

【お気に入りのインポート元】ダイアログが表示されます。

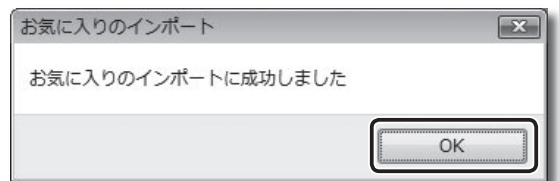
4. [ファイルまたはアドレスからインポートする]を選択して、[参照]ボタンをクリックします。

【ブックマーク ファイルの選択】ダイアログが表示されます。

5. バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

【お気に入りのインポート元】ダイアログに戻ります。

6. [次へ]ボタンをクリックします。

【お気に入りのインポート先のフォルダ】ダイアログが表示されます。

7. [Favorites]フォルダを選択して[次へ]ボタンをクリックします。

【インポート/エクスポートウィザードの完了】ダイアログが表示されます。

8. [完了]ボタンをクリックします。

お気に入りのインポートが開始されます。

終了すると、【お気に入りのインポートに成功しました】ダイアログが表示されます。

9. [OK]ボタンをクリックします。

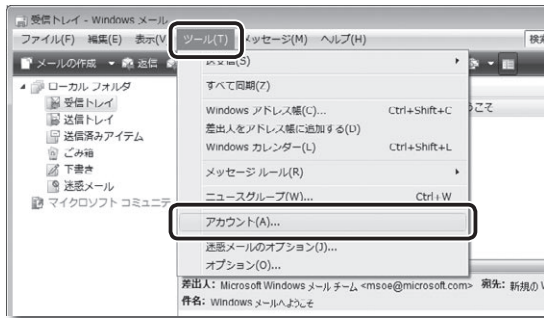
以上でお気に入りのバックアップの読み込みは完了です。

Windows メールを元に戻す

メールアカウント、メッセージ、アドレス帳のバックアップを元に戻します。

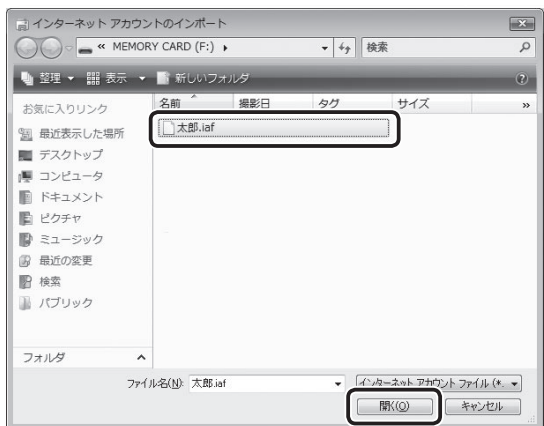
■ メールアカウントのバックアップを読み込む

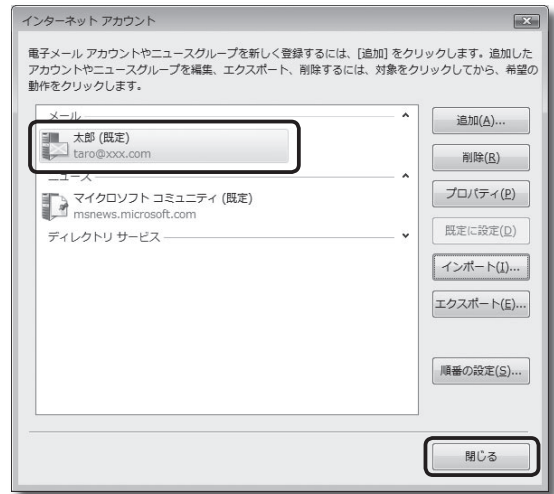
メールアカウントのバックアップは、次の手順で元に戻します。

1. **Windows メールが起動した状態で、[ツール]→[アカウント]の順に選択します。**

【インターネット アカウント】ダイアログが表示されます。

2. **[インポート]ボタンをクリックします。**

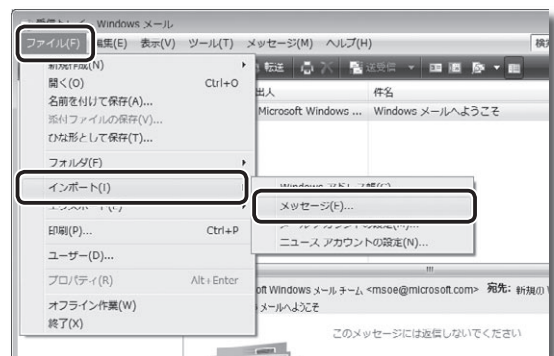
【インターネット アカウントのインポート】ダイアログが表示されます。

3. **バックアップをとったメールアカウントファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。**

【インターネット アカウント】ダイアログに戻ります。

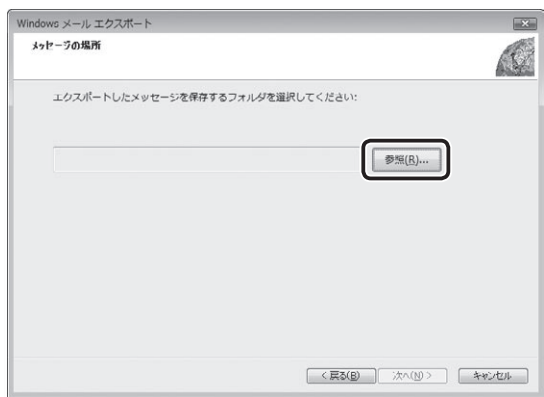
4. **インポートしたメールアカウントが追加されていることを確認し、[閉じる]ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です。

■ メッセージのバックアップを読み込む

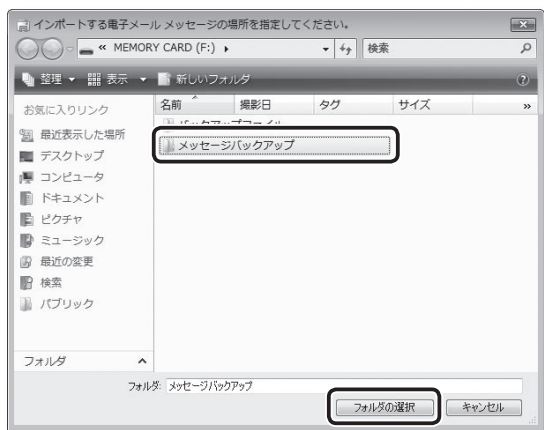
メッセージのバックアップは、次の手順で元に戻します。

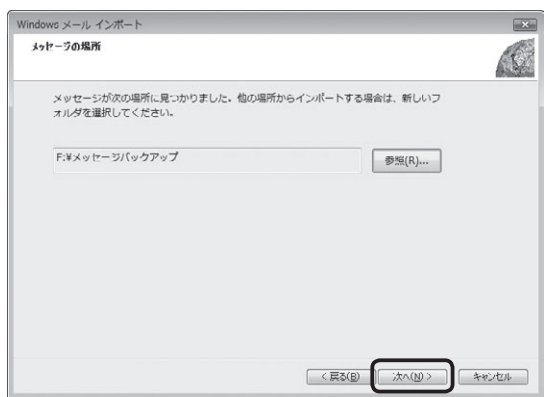
1. **Windows メールが起動した状態で、[ファイル]→[インポート]→[メッセージ]の順に選択します。**

【Windows メール インポート】ダイアログが表示されます。

2. **一覧から、[Microsoft Windows メール 7]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

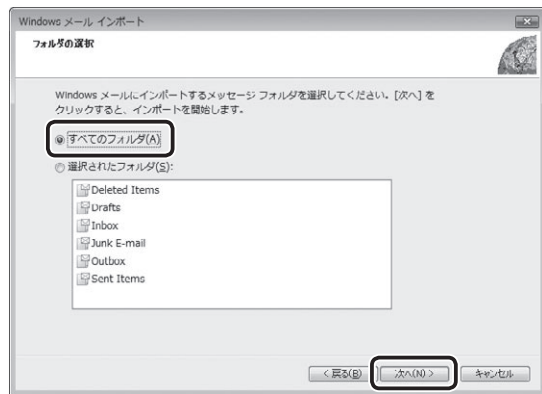
【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

3. **[参照]ボタンをクリックします。**

【インポートする電子メール メッセージの場所を指定してください。】ダイアログが表示されます。

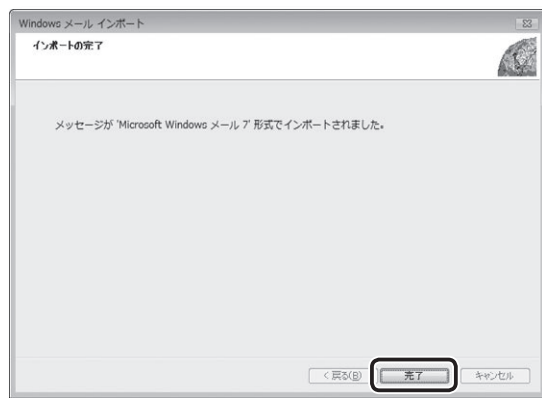
4. **バックアップをとったメッセージフォルダを指定して、[フォルダの選択]ボタンをクリックします。**

【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

5. **[次へ]ボタンをクリックします。**

【フォルダの選択】ダイアログが表示されます。

バックアップを読み取り専用のメディア(CD-Rに書き込んだファイルなど)からおこなうと、エラーが発生する場合があります。
そのため、あらかじめハードディスクにコピーしておき、コピーしたファイルからインポートをおこなうようにしてください。

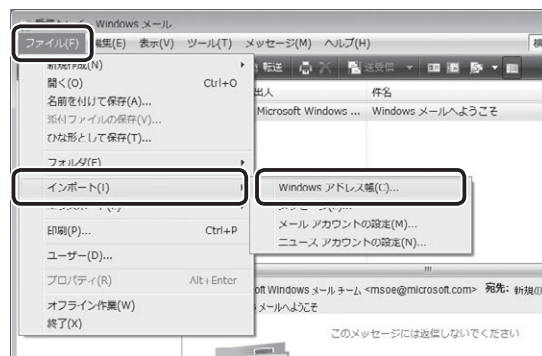
6. **[すべてのフォルダ]にチェックを入れて、[次へ]ボタンをクリックします。**

メッセージのインポートが開始されます。

終了すると、【インポートの完了】ダイアログが表示されます。

7. **[完了]ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です。

■ アドレス帳のバックアップを元に戻す

アドレス帳のバックアップは、次の手順で元に戻します。

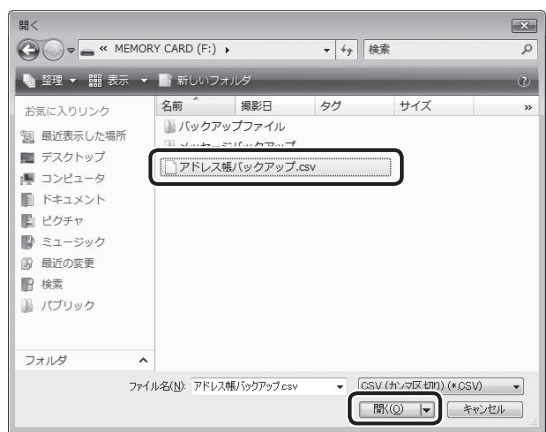
1. **Windows メールが起動した状態で、[ファイル]→[インポート]→[Windows アドレス帳]の順に選択します。**

【Windows アドレス帳にインポート】ダイアログが表示されます。

2. **一覧より[CSV(カンマ区切り)]を選択して、[インポート]ボタンをクリックします。**

【CSVのインポート】ダイアログが表示されます。

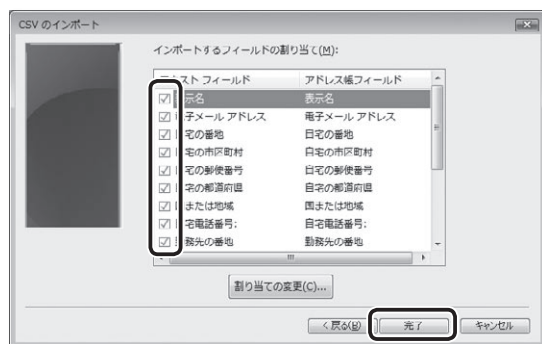
3. **[参照]ボタンをクリックします。**

【開く】ダイアログが表示されます。

4. **バックアップをとったアドレス帳ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。**

【CSVのインポート】ダイアログに戻ります。

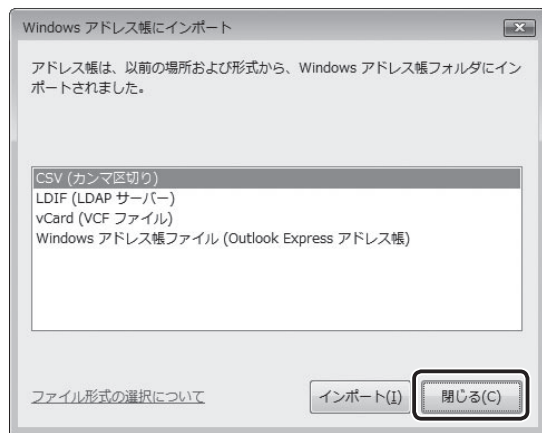
5. **[次へ]をクリックします。**

【インポートするフィールドの割り当て】ダイアログが表示されます。

6. **インポートするフィールド(項目)にチェックをいれ、[完了]ボタンをクリックします。**

アドレス帳のインポートが開始されます。

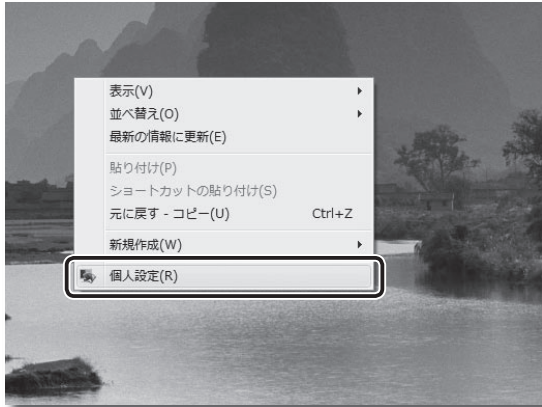
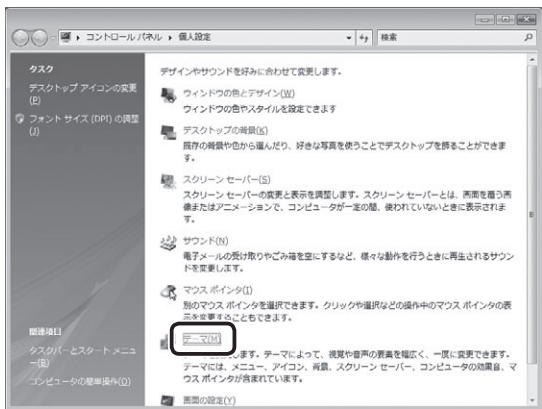
終了すると、【Windows アドレス帳にインポート】ダイアログが表示されます。

インポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま[完了]ボタンをクリックしてください。

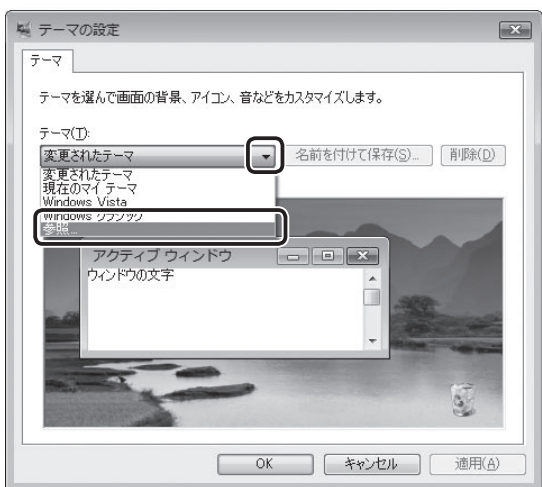
7. **[閉じる]ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です。

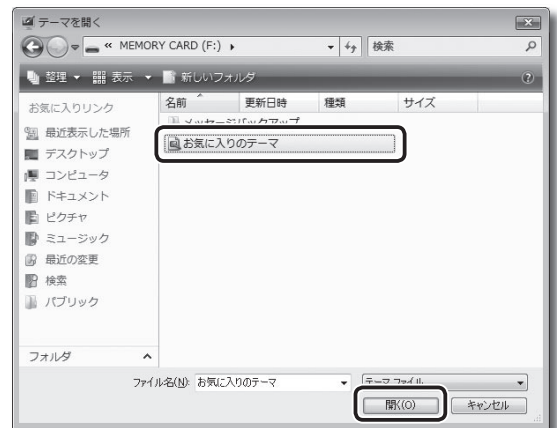
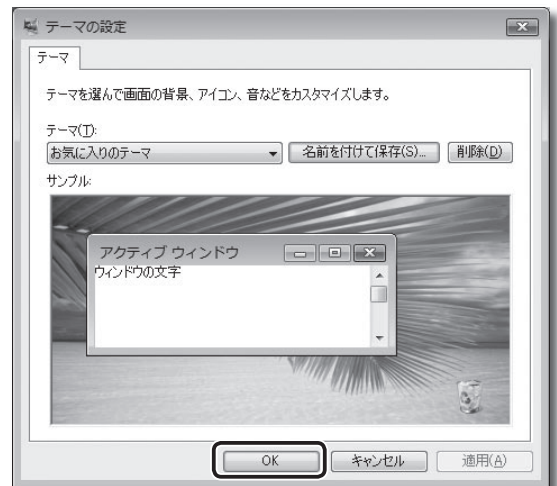
デスクトップの画面設定を元に戻す

デスクトップ画面設定のバックアップは、次の手順で元に戻します。

1. デスクトップ上で右クリックして、表示されるメニューから［個人設定］を選択します。

【個人設定】ウィンドウが表示されます。

2. ［テーマ］をクリックします。

【テーマの設定】ダイアログが表示されます。

3. ［テーマ］の▼をクリックして、表示される一覧から［参照］をクリックします。

【テーマを開く】ダイアログが表示されます。

4. バックアップをとった、デスクトップの画面設定ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。

【テーマの設定】ダイアログに戻ります。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

読み込んだテーマがデスクトップに反映されます。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

ユーザー辞書を元に戻す

ユーザー辞書のバックアップは、次の手順で元に戻します。

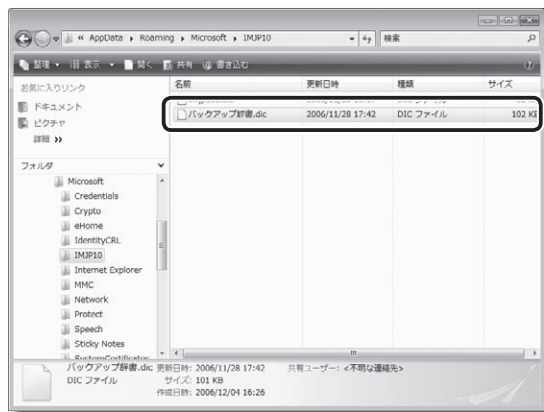
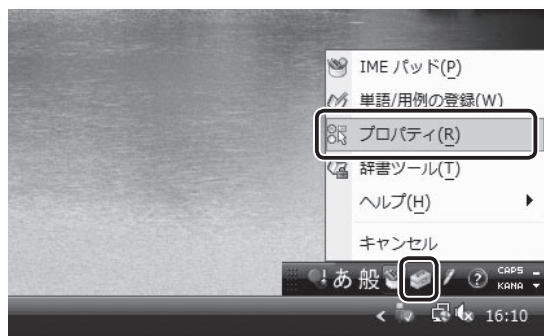
1. ［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］の順に選択します。

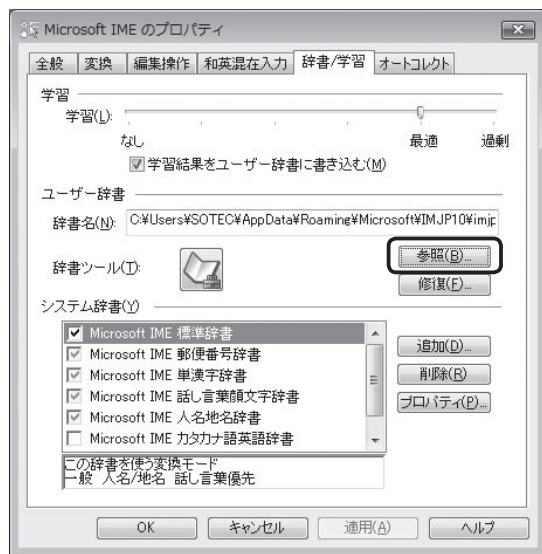
【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

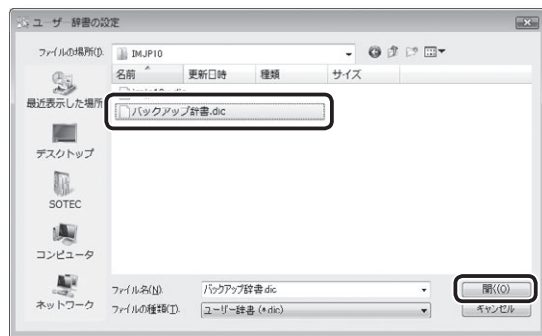
2. **[名前]欄に[C：¥Users¥＊＊＊＊＊¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10]と入力して、[OK]ボタンをクリックします。**

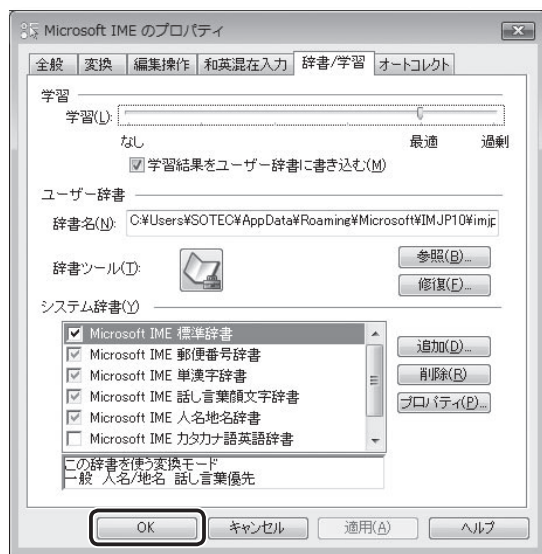
（＊＊＊＊＊には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「SOTEC」など）

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

3. **バックアップを取ったユーザー辞書ファイルを、【IMJP10】ウィンドウ内に移動します。**

4. **言語バーの をクリックして、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログが表示されます。

5. **[ユーザー辞書]欄の、[参照]ボタンをクリックします。**

【ユーザー辞書の設定】ダイアログが表示されます。

6. **手順3で【IMJP10】ウィンドウ内に移動したユーザー辞書ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログに戻ります。

7. **[OK]ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作方法について説明します。

BIOSとは

BIOSとはBasic Input Output Systemの略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。

BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。

BIOSセットアッププログラムの起動方法

1. **パソコンの電源をONにします。**
SOTECロゴが入った画面が表示されます。

2. **SOTECロゴが入った画面が表示されている間に、F2キーを押します。**
しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

■ 項目の選択・設定の方法

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

操作	キー
・メインメニューの項目を左右に移動する	←→キー
・項目を上下に移動する ・設定値を変更する	↑↓キー
・サブメニューへ移動する ・項目選択時、別ウィンドウを開く/閉じる	Enter↵キー
・次項目へジャンプする	Tabキー
・BIOSセットアッププログラムを終了する ・前メニューに戻る（サブメニューの場合） ・ウィンドウを閉じる（別ウィンドウが開いている場合）	Escキー

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

ソーテックは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始いたしております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピュータの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。
回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンタにて受付。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンタへ運搬。
4. リサイクルセンタ及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、下記の電話番号にてご案内しております。

事業系専用リサイクルコールセンタ

TEL 03-5493-3756

月曜～金曜　9：00 ～ 17：00

（土・日・祝日および弊社指定休業日を除く）

この電話番号は、リサイクル専用です。
製品に関するサポートには対応しておりません。

■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵政公社と提携して構築した回収システムを利用いたします。

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。
PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。
「再資源化料金」は、「家庭系パソコンの再資源化料金」(☞82ページ)をご参照ください。

・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社ホームページでも紹介しております。ぜひご覧ください。
http://www.sotec.co.jp/recycle/index.html
・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」
(http://www.sotec.co.jp/direct/guide/used/index.html)
で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

■ 回収の仕組み

事業者から排出

お申込

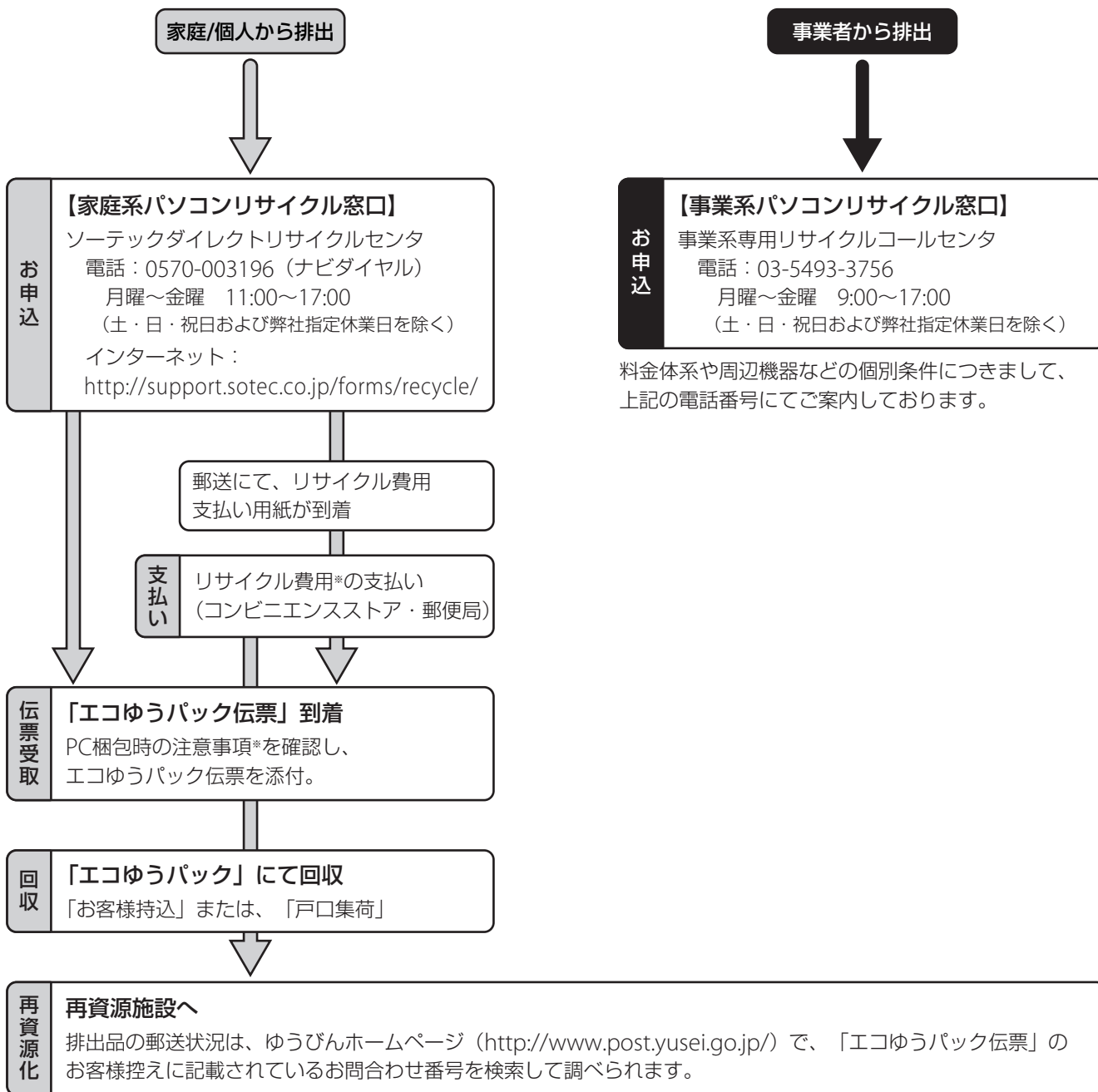
【事業系パソコンリサイクル窓口】

事業系専用リサイクルコールセンタ
電話：03-5493-3756
月曜～金曜　9:00～17:00
（土・日・祝日および弊社指定休業日を除く）

料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、
上記の電話番号にてご案内しております。

再資源化

再資源施設へ

排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ（http://www.post.yusei.go.jp/）で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合わせ番号を検索して調べられます。

■ リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金（税込）
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

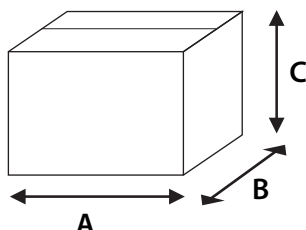
（本書制作時）

※なお、お支払い時には各種振込手数料（コンビニエンスストア：￥63、郵便局（窓口）：￥90、郵便局（ATM）：￥60）が発生します。予めご了承ください。

■ PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で構いません。
■無梱包での輸送はできません。

◎ 梱包する際の条件は以下の通りです

・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A＋B＋Cの長さ＝1.7m以内

＜条件を満たさない場合＞

梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、ソーテックダイレクトリサイクルセンタ(☞82ページ)受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

◯	マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど、購入時に同梱されていた標準添付品
×	プリンタなどの周辺機器、取扱説明書/マニュアル、フロッピーディスク、CD-ROM等の媒体

■ 回収時の条件(回収規約)

ソーテック製パーソナルコンピュータまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(http://www.sotec.co.jp/recycle/images/20031001.pdf)をご確認いただき、同意していただいた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

■ 家庭系パソコンリサイクル窓口

【ソーテックダイレクトリサイクルセンタ】

電話：0570-003196(ナビダイヤル)
月曜～金曜　11:00 ～ 17:00
（土・日・祝日および弊社指定休業日を除く）
この電話番号は、リサイクル専用です。製品に関するサポートはおこなっておりません。
インターネット：
http://support.sotec.co.jp/forms/recycle/

■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピュータの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピュータの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】

市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピュータの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。

●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。

●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピュータを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。

※回収再資源化料金については、「家庭系パソコンの再資源化料金」(☞82ページ)をご確認ください。

■ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合に、一般に

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「削除」操作をおこなう
・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ソフトで初期化(フォーマット)する
・ハードディスクのリカバリをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

索　引

あ
アプリケーションキー……28
アルファベット……28、30

い
イジェクトボタン……20、33
インサートキー……30

え
英数キー……30
エスケープキー……30
エフエヌキー……29、31
エンターキー……30

お
大文字モード……30
オーディオ出力端子……22、42、44
オルトキー……31
音量の調整……29

か
解像度……34
外部ディスプレイ……29、42、56
外部ディスプレイ端子……21、42、56
カーソルキー……31
カタカナ……28、31
カタカナ/ひらがなキー……31
画面
　色数……34
　解像度……34
　壁紙……35
　デザイン……35
　マウスポインタ……35

き
輝度……29
キーボード……18～19、28～31
キャップスロックキー……30
休止状態……25

く
クリック……27

け
ケンジントンロックキーホール……20

こ
小文字モード……30
困ったときには……57～63
コントロールキー……31

さ
再起動……17
サブウーファー……22

し
シフトキー……31
シャットダウン……16
周辺機器……42～43
充電……24

す
スクロールロックキー……31
ステータスLED……18～19、23、24
ステレオスピーカ……18～19
スピーカ……29
スペースキー……31
スリープ……17、25、29

せ
制御キー……28

た
タッチパッド……18～19、27
タッチパッドボタン……18～19、27
タブキー……30
ダブルクリック……27

て
ディスプレイ……18～19
ディスプレイカバーの開け閉め……18
デスクトップ……14～15、16
デバイスドライバ……40～41
デリートキー……30
テンキー……29
電源スイッチ……10、16、18～19
電源のOFF……16
電源のON……16
電源LED……23、24
電子マニュアル……2

な

内蔵マイク……18～19

に

日本語入力モード……31
ニューメリックロックキー……31

は

廃棄……81～84
ハウリング……44
バックスペースキー……30
バッテリ
　交換……26
　充電……24
　バッテリ取り外し用ラッチ……22、26
　バッテリパック……8、22、26
　バッテリロック用ラッチ……22、26
　バッテリLED……23、24
半角/全角キー……31

ひ

光ディスクドライブ……20、32～33
光ディスクドライブ強制排出孔……20、33
光ディスクドライブLED……20
光ディスクの出し入れ……33
光デジタル出力端子……22、42、45
左クリック……27
左ボタン……27
ひらがな……28、31

ふ

ファンクションキー……28、29、30
プラグアンドプレイ……41
プリントスクリーンキー……30

へ

ヘッドホン……42、44
ヘルプ……10、58
変換キー……31

ほ

ポーズ/ブレークキー……30

ま

マイク端子……22、42、44
マイクロホン……42、44

み

右クリック……27
右ボタン……27

む

無変換キー……31

め

メモリ
　交換……52
　確認……53
　増設……52
メモリーカード……22、42、47～48
メモリーカードスロット……22、42、47
メモリースティック……22、42、47
メモリースティックPRO……22、42、47

も

文字入力キー……28

ら

ライセンス条項……11

り

リカバリ
　バックアップ
　　アドレス帳……67
　　お気に入り……64
　　デスクトップ画面設定……68
　　ファイル……64
　　メッセージ……66
　　メールアカウント……65
　　ユーザー辞書……69
　元に戻す
　　アドレス帳……76
　　アプリケーションソフトの設定……73
　　お気に入り……73
　　デスクトップ画面設定……78
　　ファイル……73
　　メッセージ……75
　　メールアカウント……75
　　ユーザー辞書……78

ろ

ログオフ……17
ログオン……16
ロック状態……31

ゆ

ユーザーの切り替え……17

わ

ワイヤレスLAN……36～39
ワイヤレスLAN LED……23、37
ワイヤレスLAN（W-LAN）の交換……54～55

A

ACアダプタ……8、24
Altキー……31

B

Backspaceキー……30
BIOS……80
BIOSセットアッププログラム……80

C

CapsロックLED……23
CapsLockキー……30
CD-ROM……32
Ctrlキー……31

D

DC入力端子……8、20、24
Delキー……30
DVD……32
DVI-A……21、56
DVI-D……21、56
DVI-I……21、56

E

ECOボタン……18～19
Enterキー……30
Escキー……30
ExpressCardスロット……21、42、49

F

Fnキー……29、31

H

HDD LED……23

I

Insキー……30

L

LANポート……21

M

Microsoft IME……31
MMC……22、42、47

N

NumロックLED……23
NumLkキー……31

P

Pause/Breakキー……30
PrtScキー……30

S

ScrLkキー……31
SDメモリーカード……22、42、47
Shiftキー……31
S/PDIF……22、42、45

T

Tabキー……30

U

USB
接続……46
USBハブ……43、46
USBポート……20、43、46

W

Windowsキー……28
Windows Vista
セットアップ……10～13
Windows クラシック……35
W-LANモジュール……54～55

数字

5.1chスピーカシステム……45

はじめに
セットアップ
使用する
周辺機器を使用する
困ったときには
リカバリ
付 録

・本書の仕様、情報（本製品、ソフトウェアを含む）は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows Vista以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。株式会社ソーテックの許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器（医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など）や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

©2007 株式会社ソーテック
WinBook DN7シリーズ
2007年6月 初版